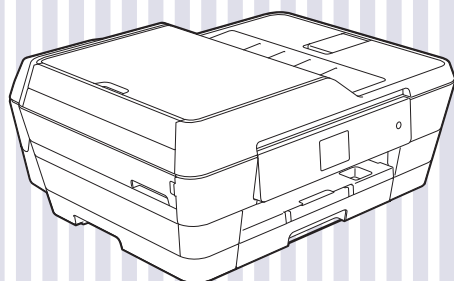


PRIVIO

MFC-J6573CDW ユーザーズガイド －応用編－



ブラザーのサポートサイトにアクセスして
最新の情報を調べる

<http://support.brother.co.jp/>

サポート ブラザー

検索



オンラインユーザー登録をお勧めします。

Brother Online ▶ <https://online.brother.co.jp/>

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

第1章
はじめに

第2章
お好みで設定する

第3章
コピー

第4章
デジカメプリント

第5章
ファクス

第6章
電話帳

第7章
転送・リモコン機能

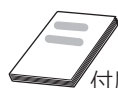
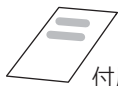
第8章
こんなときは

第9章
付録 (索引)

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	 付属
2. かんたん設置ガイド 本製品の設置・接続に関する手順を説明しています。	 付属

■用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について説明しています。	 付属
4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	Windows®  付属
5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて説明しています。	Macintosh  サポートサイト
6. ユーザーズガイド ネットワーク編（PDF 形式） 本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	http://support.brother.co.jp/d/b4m2/

■サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

クラウド接続ガイド（PDF 形式） パソコンを介さずに、本製品でスキャンしたデータを直接ウェブサービスにアップロードする方法や、ウェブサービス上のデータを本製品で直接印刷する方法を説明しています。	 サポートサイト http://support.brother.co.jp/d/b4m2/
AirPrint ガイド（PDF 形式） iOS を搭載した携帯端末や、OS X v10.8.5 以降の Macintosh からデータを直接印刷する方法などを説明しています。	
Google クラウドプリントガイド（PDF 形式） 本製品に Google アカウント情報を登録し、Google クラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。	
Wi-Fi Direct ガイド（PDF 形式） Wi-Fi Direct® 対応の携帯端末と本製品を無線 LAN アクセスポイントなしで接続する方法を説明しています。	
モバイルプリント&スキャンガイド（PDF 形式） Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
<http://support.brother.co.jp/d/b4m2/>

目次

マニュアルの構成	2
目次	3
本書の見かた	6
編集ならびに出版における通告	6
ソフトウェアは最新の状態でお使いいただく ことをお勧めします	6

第 1 章 はじめに 7

画面の操作方法	8
用紙のセット	10
使用できる用紙	10
用紙の印刷範囲	12
用紙トレイにセットする	12
手差しトレイにセットする	17
原稿のセット	20
原稿の読み取り範囲	20
ファクス送受信テストをする	21

第 2 章 お好みで設定する23

日付と時刻を設定する	24
音量を設定する	26
画面の設定を変更する	27
画面の明るさを設定する	27
キーボードの文字配列を変更する	27
表示言語を「英語」に変更する	27
電力を節約する	28
スリープモードに入る時間を設定する	28
印刷音を軽減する	29
お気に入りを登録する	30
お気に入りに機能や設定条件を登録する	30
登録したお気に入りを呼び出す	32
お気に入りを編集する	32
セキュリティ機能ロックを設定する	34
セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する	35
管理者パスワードを登録する	36
ユーザーを登録する	36
セキュリティ機能ロックをオン/オフにする	37
ユーザーを切り替える	37
電話 / ファクス回線種別を設定する	38
電話 / ファクス回線のいろいろな接続	39
ひかり電話をご利用の場合	40
ADSL をご利用の場合	40
ISDN をご利用の場合	41
デジタルテレビを接続する場合	41
構内交換機 (PBX) ・ビジネスホン ご利用の場合	42

第 3 章 コピー43

いろいろなコピー	44
設定を変えてコピーするには	44
スタック / ソートコピーする	46
レイアウトコピーする	47
原稿の傾きを補正してコピーする	50
両面コピーする	51
インクを節約してコピーする	52
コピー時の裏写りを抑える	53
ブックコピーする	53
コピーに文字を重ねる	54
原稿の地色を除去してコピーする	54
A3 用紙を使った便利なコピー	55

第 4 章 デジカメプリント57

写真をプリントする	58
使用できるメモリーカードと USB フラッシュ メモリー	58
設定を変えてプリントするには	59
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内 の画像を 1 枚ずつまとめてプリントする	61
インデックスシートをプリントする	62
インデックスシートの写真の番号を指定して プリントする	63
多様な補正機能を使ってプリントする	64
証明写真プリントをする	67
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内 の画像を自動で順番に表示する	68
DPOF を使用してプリントするには	69
PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから 直接プリントする	70
PictBridge とは	70
デジタルカメラで行う設定	70
写真をプリントする	70

第 5 章 ファクス73

送信

ファクスの便利な送りかた	74
設定を変えてファクスするには	74
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る	76
相手先の受信音を確認してから送る	77
複数の相手先に同じ原稿を送る	78
内容を確認してから送る	80
時間を指定して送る	82
同じ相手への「タイマー送信」を 1 回の通信に まとめる	83
原稿をすぐに送る	84
相手の操作で原稿を送る	85

海外へ送る	86
パソコンからファクスを送る	88
自動再ダイヤルを解除する / 設定する	89
外線発信番号を設定する	90
ファクス誤送信防止機能を設定する (ダイヤル制限機能)	91
IP ファクスの設定をする (データコネクト設定)	92

受信

ファクスの見かた	93
受信したファクスを画面で見る (みるだけ受信) / 印刷する	93
ファクスを自動的に印刷する (みるだけ受信を解除する)	96
ファクスの便利な受けかた	97
電話に出ると自動的に受ける (親切受信)	97
自動的に縮小して受ける	98
本製品の操作で相手の原稿を受ける	99
本製品と接続している電話機の操作で ファクスを受信する	102
ファクスをメモリーで受信する	103

通信管理

通信状態を確かめる	107
送信待ちファクスを確認・中止する	107
通信管理レポートを印刷する	108
送信結果レポートを印刷する	109
着信履歴リストを印刷する	110

第 6 章 電話帳 111

電話帳を利用する	112
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	112
電話帳の内容を変更する	114
グループダイヤルに登録する	115
パソコンを使って電話帳に登録する	116

第 7 章 転送・リモコン機能 117

外出先から本製品を操作する	118
暗証番号を設定する	118
外出先から本製品を操作する	119
外出先に転送する	121
ファクスが届いたことを電話で知らせる	121

第 8 章 こんなときは 123

日常のお手入れ

本製品が汚れたら	124
タッチパネルを清掃する	124
本製品の外側を清掃する	124
排紙ローラーを清掃する	125
本体内部を清掃する	126

インクがなくなったときは	128
インクカートリッジを交換する	129
インク残量を確認する	130
印刷品質が良くないときは	131
定期メンテナンスについて	131
プリントヘッドをクリーニングする	131
用紙送り量を補正する	131

困ったときは

こんなときは	132
本製品の設定内容や機能を確認する	132

第 9 章 付録 133

文字の入力方法	134
入力画面例	134
機能一覧	136
仕様	154
使用環境	160
用語解説	161
索引	163

Memo

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。

 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2015 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行っております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。<http://support.brother.co.jp/>

第 1 章

はじめに

画面の操作方法	8
操作例	8
用紙のセット	10
使用できる用紙	10
用紙の印刷範囲	12
用紙トレイにセットする	12
手差しトレイにセットする	17
原稿のセット	20
原稿の読み取り範囲	20
ファクス送受信テストをする	21

画面の操作方法

画面に表示された項目やアイコンを押して操作します。画面上に▲/▼/◀/▶が表示されているときは、▲/▼/◀/▶を押すとその方向に画面を送ります。

◀/▶を押して画面を送ります。



項目のボタンを押すと次の画面が表示されます。



ボタンを押すと設定が有効になります。



キーボードを押して入力します。



入力値を確定します。

◀/▶を押して、目的のメニューアイコンを中央に移動させます。



目的のメニューアイコンを押します。



灰色表示は、続きがないことを示します。

重要

■ タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

お願い

■ 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や電源ボタンを押したあすぐには、操作パネルに触れないでください。エラーを引き起こすおそれがあります。本製品の操作は待ち受け画面が表示されてから行ってください。

操作例

【基本設定】の【画面の明るさ】の設定方法を例に説明します。

1 【メニュー】を押す



操作パネル上の◀を押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

2 【全てのメニュー】を押す



メニュー画面が表示されます。

3 【基本設定】を押す



次の階層が表示されます。

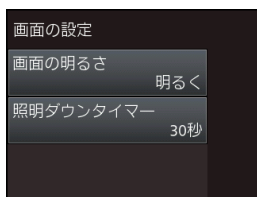
4 【画面の設定】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

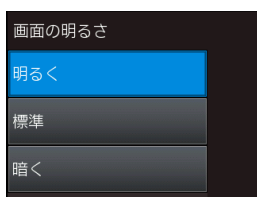


次の階層が表示されます。

5 【画面の明るさ】を押す



6 希望の明るさを選ぶ



ボタンを押すと、その明るさにすぐに画面が変わります。

7 を押して設定を終了する

用紙のセット

印刷品質は用紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った用紙を選んでください。
印刷品質維持のため、弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。
⇒ユーザーズガイド 基本編「専用紙・推奨紙」

使用できる用紙

種類 (紙種 / 素材 / 形状)	坪量 (厚さ)	一度に セット できる 枚数 *1	サイズ			
			ファクス	コピー	デジカメ プリント	プリンター
普通紙	64g/m ² ~ 120g/m ² (0.08mm ~ 0.15mm)	250 *2	A3 B4 (JIS) A4	A3 B4 (JIS) A4 B5 (JIS) A5 2L 判 *4 L 判	A3 A4 2L 判 *4 L 判	A3 B4 (JIS) レジャー リーガル A4 B5 (JIS) A5 A6 US レター エグゼクティブ 2L 判 *4 L 判
インクジェット紙	64g/m ² ~ 200g/m ² (0.08mm ~ 0.25mm)	20	—	—	—	—
光沢紙	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下) *3	20	—	—	—	—
OHP フィルム	(0.13mm 以下)	10	—	A4 A5 B5 (JIS)	—	A3 B4 (JIS) A4 B5 (JIS)
はがき	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下)	20	—	ハガキ	ハガキ	ハガキ
往復はがき (折って いないもの)	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下)	20	—	—	—	往復ハガキ
ポストカード (101.6mm × 152.4mm)	(0.25mm 以下)	20	—	—	—	ポストカード
インデックスカード (127mm × 203.2mm)	120g/m ² 以下 (0.15mm 以下)	30	—	—	—	インデックス カード
封筒	75g/m ² ~ 95g/m ²	10	—	—	—	角形 2 号封筒 長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒 Com-10 DL 封筒

*1 用紙トレイに一度にセットできる枚数です。手差しトレイには、いずれの用紙も一度に 1 枚しかセットできません。

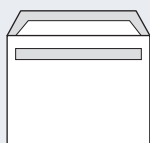
*2 80g/m² の用紙の目安です。実際には、トレイ内側の上限マーク (△の目印) を超えないようにセットしてください。

*3 ブラザー BP71 写真光沢紙の坪量は 260g/m² ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。また、手差しトレイであれば、0.28mm までの光沢紙がご使用いただけます。

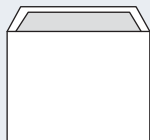
*4 127mm × 178mm

重要

- 指定された用紙でも、以下の状態の用紙は使用できません。
傷がついている用紙、カールしている用紙、シワのある用紙、留め金のついた用紙
- 指定以外の用紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。
- ラベル用紙は使用できません。誤って使用すると、正しく印刷されなかったり、ラベルが内部に付着し、故障の原因となることがあります。
- 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。
 - ・ 窓付き封筒
 - ・ エンボス加工がされたもの
 - ・ 留め金のついたもの
 - ・ 内側に印刷がほどこされているもの
 - ・ ふたにのりが付いているもの



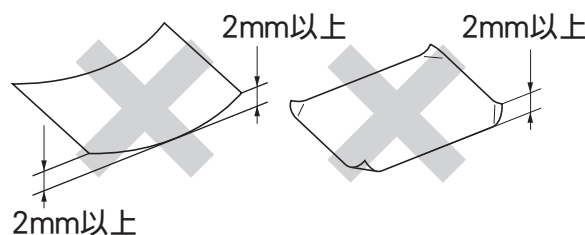
- ・ 二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）



お願い

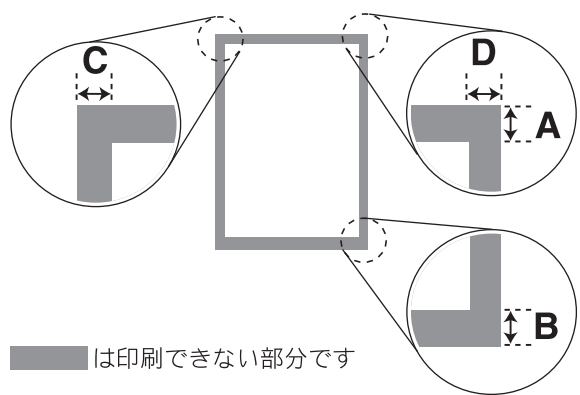
- 使用していない用紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。

- 📎 カールしている用紙について
特に、はがきや光沢紙（L判、2L判）はカールしている場合があるため、曲がりや反りを直して使用してください。
カールしている用紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、用紙づまりが発生します。

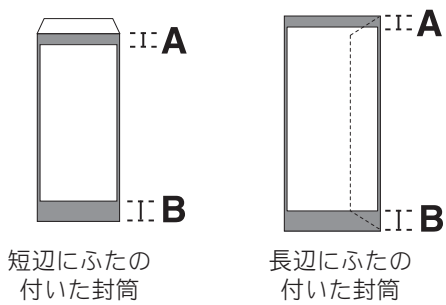


用紙の印刷範囲

用紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。



封筒の A、B の位置は下図のようになります。



(単位 : mm)

用紙	A	B	C	D
A3/B4 (JIS) /A4/B5 (JIS) /A5/A6 レジャー /リーガル /US レター / エグゼクティブ 2L 判 /L 判 インデックスカード ポストカード ハガキ /往復ハガキ	3	3	3	3
角形 2 号封筒 長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒	12	22	3	3
Com-10 封筒 DL 封筒	22	22	3	3

※印刷できない部分の数値 (A、B、C、D) は、概算値です。この数値はお使いの用紙によっても変わることがあります。

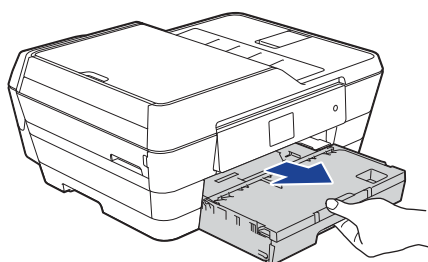
用紙トレイにセットする

- お願い
- 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。
 - インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。用紙の取扱説明書をお読みください。
 - 種類の異なる用紙を一緒にセットしないでください。
 - 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
 - ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。
※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。

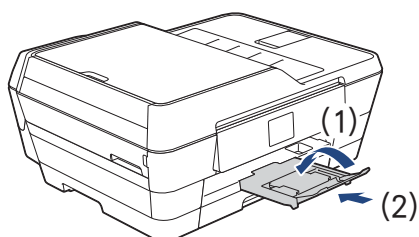
● 用紙のサイズによってセットする向きが異なります。

• A4 • US レター • エグゼクティブ • B5	横方向
• A5 • A6 • 2L 判 • L 判 • 往復ハガキ • ハガキ • ポストカード • インデックスカード • 封筒 (角形2号を除く)	縦方向
• A3 • B4 • レジャー • リーガル • 封筒 (角形 2 号)	縦方向 (トレイを拡張して使用)

1 用紙トレイを引き出す

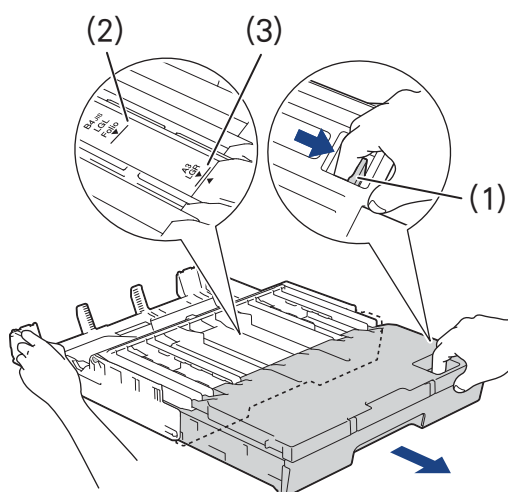


用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納 (2) してからトレイを引き出します。



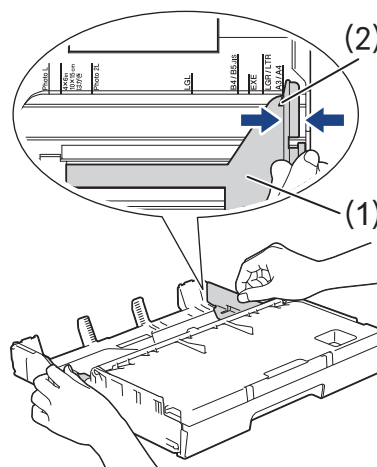
2 A3、B4、レジャー、リーガルサイズ用の紙をセットする場合は、用紙トレイを引き伸ばす

リリースボタン (1) をつまんだままトレイを引き伸ばして、トレイカバーの▲の目印を、B4 とリーガルサイズは (2) に、A3 とレジャーサイズは (3) の目盛りに合わせてセットします。



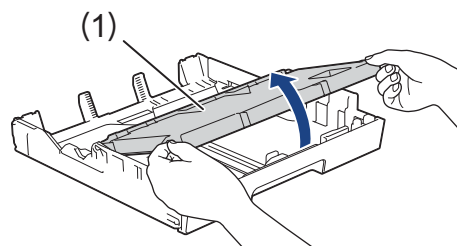
3 幅のガイド (1) の△の目印 (2) を、用紙サイズを目盛りに合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。

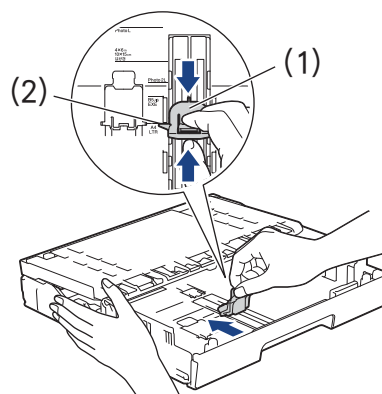


L判サイズの用紙をセットする場合は、⇒手順 6 へ

4 トレイカバー (1) を開く



5 長さのガイド (1) の▽の目印 (2) を、用紙サイズを目盛りに合わせる



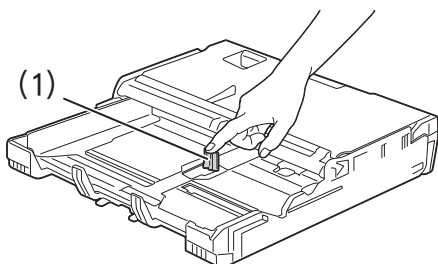
《第1章 はじめに》

ここから先の手順は、用紙の種類によって異なります。それぞれのタイトルに飛んでお読みください。

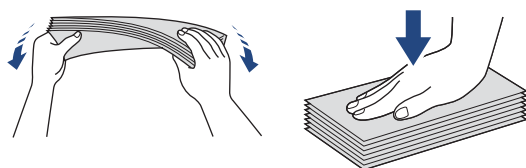
- L判サイズ of 用紙
- A4 サイズ以下の用紙（L判サイズを除く）
- A3、B4、レジャー、リーガルサイズの用紙

L判サイズの用紙

6 L判ストッパー（1）を起こす

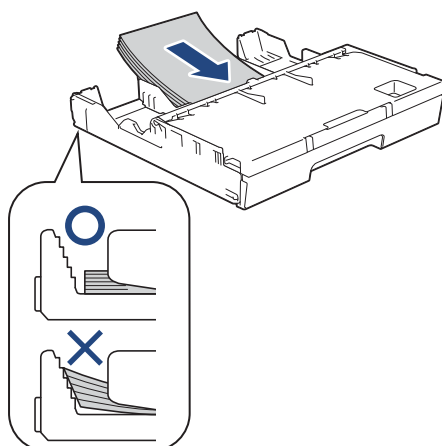


7 用紙にゆがみや折れがあればよくなりし、上下左右をそろえる



8 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

用紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

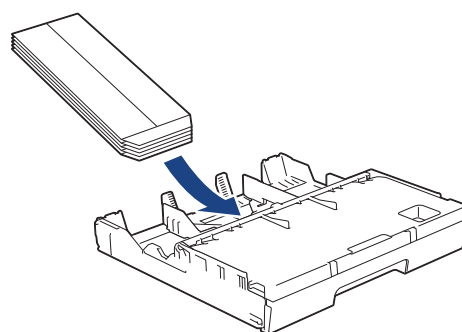


⇒手順 9 へ

A4 サイズ以下の用紙（L判サイズを除く）

お願い

- インクジェット紙はがきと写真用光沢はがきは自動両面印刷できません。宛先面、通信面ともに印刷する場合は、片面ずつ印刷してください。この場合、宛先面から先に印刷し、よく乾かしたのち、通信面を印刷することをお勧めします。
- 普通紙はがきは自動両面印刷できます。この場合、通信面から先に印刷すると、印刷速度や印刷品質が落ちる場合があります。宛先面から先に印刷することをお勧めします。
- 短辺にふたの付いた封筒は、ふたを開いた状態で、ふたのある方向からセットしてください。



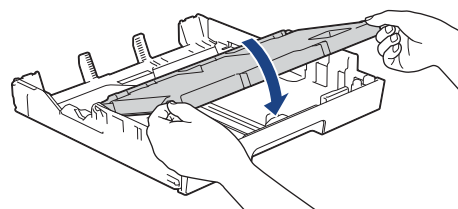
また、上下が反転して印刷されますので、プリンタードライバーで次の設定をしてください。

Windows® の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「[拡張機能] タブの設定」で [上下反転]

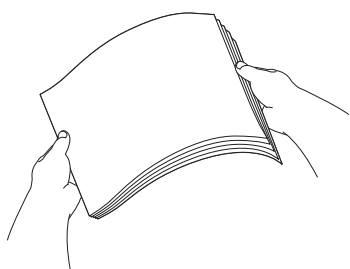
Macintosh の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「レイアウト」で [ページの方向を反転]

- 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。重なって吸い込まれるなどうまく給紙されない場合は、手差しトレイを使って、封筒を 1 枚ずつセットしてください。

6 トレイカバーを閉じる

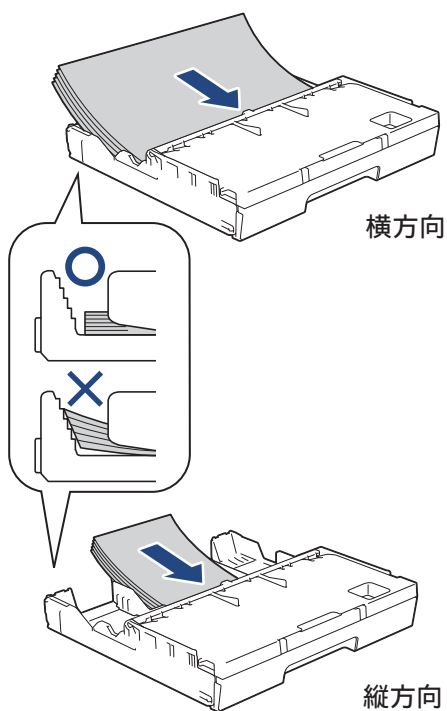


7 用紙をさばく



8 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

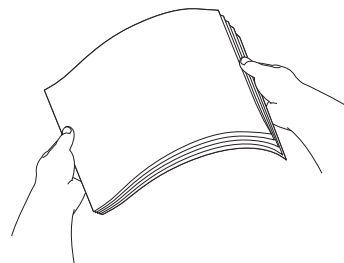
用紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。



⇒手順 9 へ

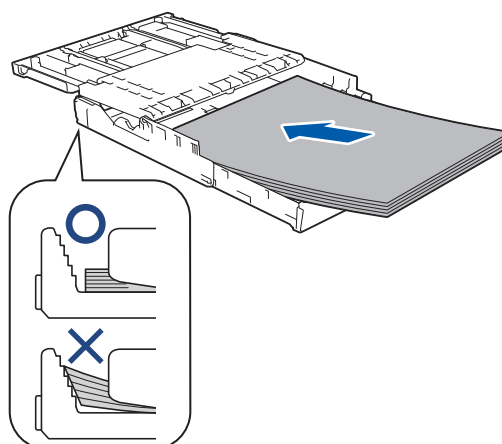
A3、B4、レジャー、リーガルサイズ の用紙

6 用紙をさばく

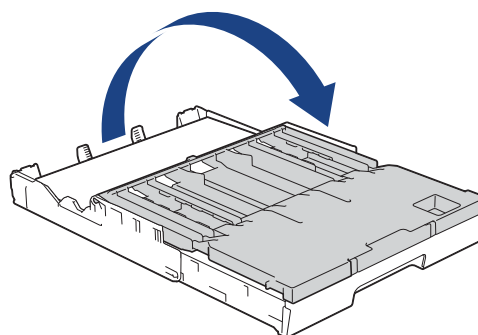


7 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

用紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。



8 トレイカバーを閉じる



⇒手順 9 へ

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

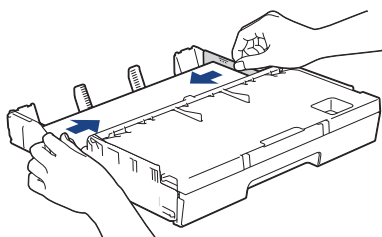
録
付

《第1章 はじめに》

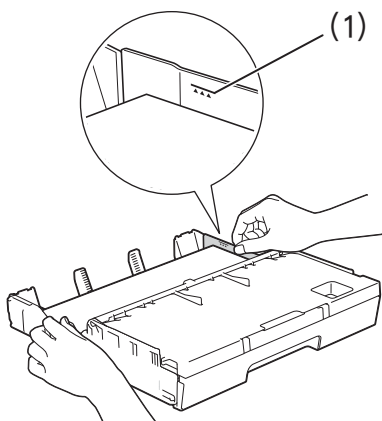
ここから先は、用紙の種類を問わず共通の手順になります。イラストは、A4サイズを代表で使っています。

9 幅のガイドを、用紙にぴったりと合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。

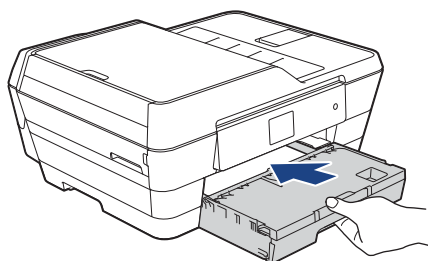


10 用紙がトレイ内側の△マーク (1) を超えていないことを確認する

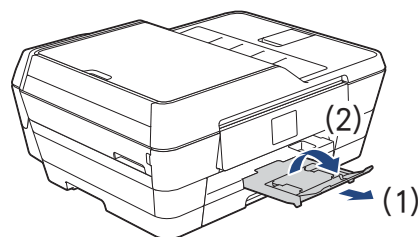


11 用紙トレイを元に戻す

用紙トレイをゆっくりと確実に本体に戻します。



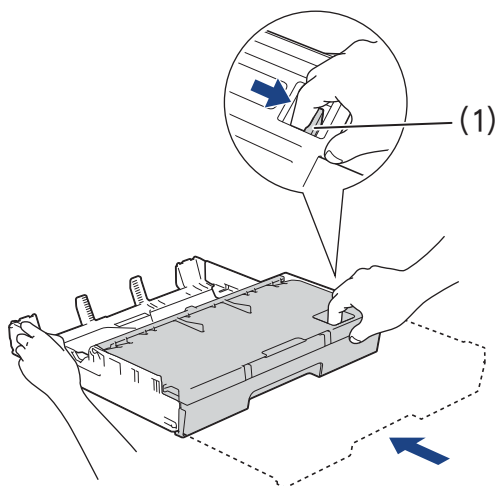
12 用紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



13 必要に応じて、用紙の種類とサイズを設定する

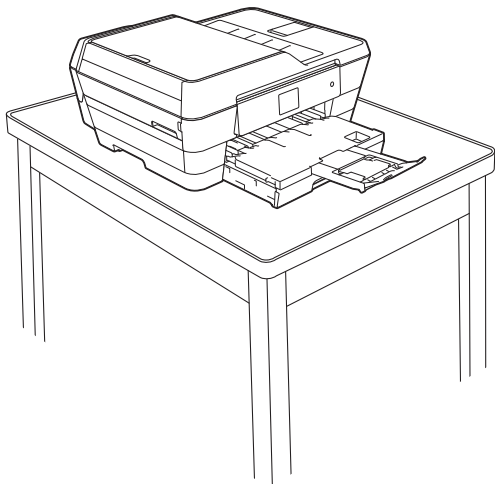
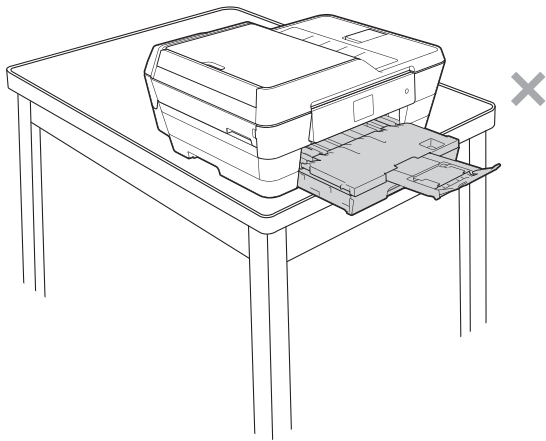
⇒ユーザズガイド 基本編「用紙の種類を設定する」、「用紙のサイズを設定する」

 拡張したトレイを元に戻すには、以下の手順で行います。
本体から用紙トレイを引き出し、トレイカバーを開いてセットされている用紙を取り除きます。
カバーを閉じ、リリースボタン (1) をつまんで、引き伸ばしたトレイを元の位置に戻します。



！ 注意

- A3 や B4 サイズなどの大きな用紙は、用紙トレイを拡張して使用します。その場合は、拡張した用紙トレイを含む本製品全体が収まる広さの、平らな場所に設置してください。拡張した用紙トレイは本体から突き出すため、設置面からはみ出していると、通りがかりにぶつかるなどして、けがや本製品の落下による事故につながるおそれがあります。



手差しトレイにセットする

用紙トレイの用紙を入れ替えることなく、すぐに 1 枚だけ印刷したいときにセットします。本製品で対応可能なすべての用紙がセットできます。一度にセットできるのは 1 枚です。

- 用紙のサイズによってセットする向きが異なります。

● A4 ● US レター ● エグゼクティブ ● B5	横方向 長辺 短辺 真上から見たところ
● A3 ● B4 ● レジャー ● リーガル ● A5 ● A6 ● 2L 判 ● L 判 ● 往復ハガキ ● ハガキ ● ポストカード ● インデックスカード ● 封筒	縦方向 短辺 長辺 真上から見たところ

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

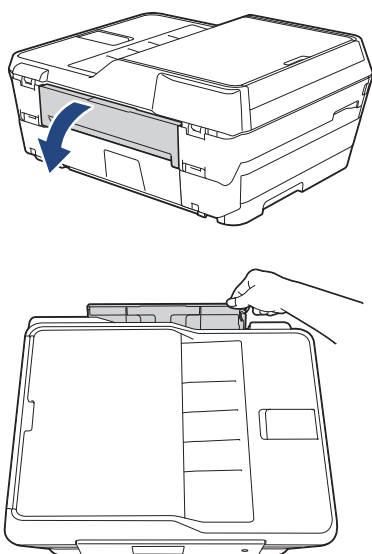
電話帳

転送・
リモコン機能

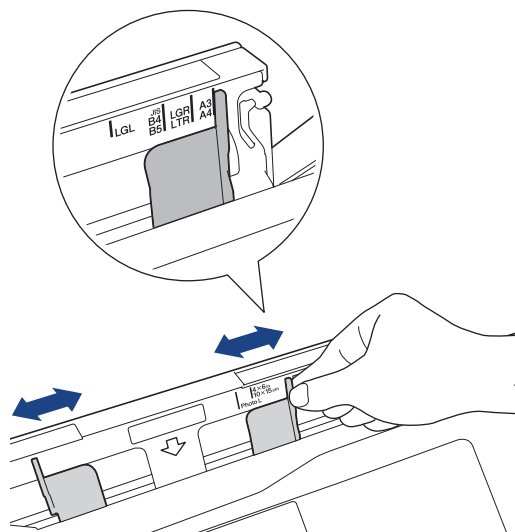
こんなときは

付録

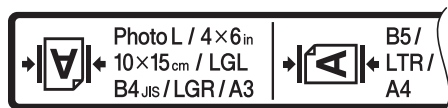
1 背面の手差しトレイを開く



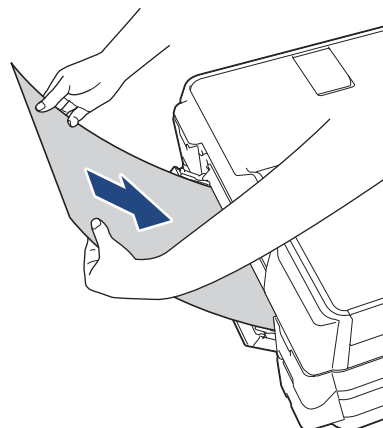
2 ガイドをつまんで動かし、用紙のサイズを目盛りに合わせる



 手差しトレイの右側にセット方向を示すラベルがありますので、方向を確認しながらガイドを動かしてください。



3 印刷する面を上にして、用紙を 1 枚だけセットする

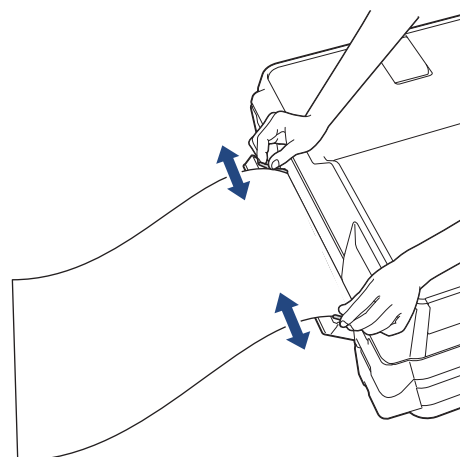


お願い

- 用紙を 2 枚以上セットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙トレイからの印刷中に、手差しトレイに用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

4 ガイドを用紙のサイズに合わせる

用紙がトレイの中央にセットされるように、両手でガイドを調節します。



お願い

- ガイドで用紙を強くはさまないでください。用紙が折れて、うまく給紙されない場合があります。
- 中央にセットされなかった場合は、用紙をいったん取り出してセットし直してください。

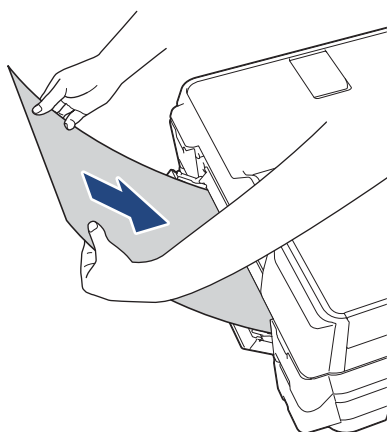
5 両手で用紙を挿入し、用紙が奥に当たるまで差し込む

用紙が奥に当たって、用紙が本製品に少し引き込まれたら手を離してください。

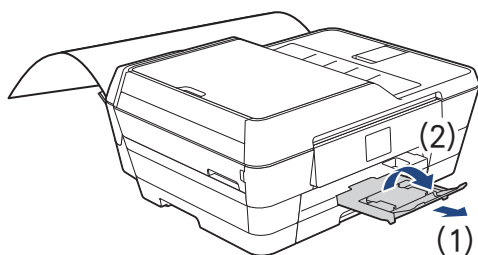
画面に【手差しトレイに用紙がセットされました】と表示されます。

お願い

- 封筒や厚紙は、本製品に引き込まれにくいことがあります。引き込まれるまで、まっすぐに差し込んでください。



6 用紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



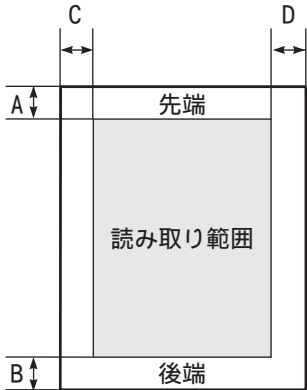
用紙の準備ができました。印刷（またはコピー）をスタートします。

- ④ 印刷が終了してから手差しトレイを閉じてください。
- ④ 用紙が手差しトレイにセットされていると、常に手差しトレイから給紙されます。

原稿のセット

原稿の読み取り範囲

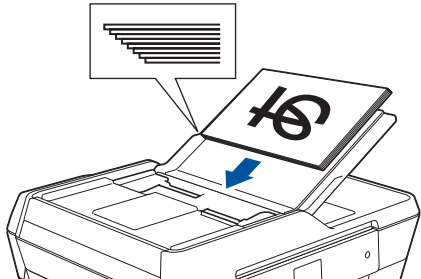
ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに、原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。



(単位：mm)

機能	原稿サイズ	A	B	C	D
ファクス	A3、B4	3		4.5	
	A4	3		原稿台ガラス：3 ADF（自動原稿送り装置）：1	
コピー	セット可能な全てのサイズ	3		3	
スキャン		2		2	

【ADF 高速モード】を使って、A4 サイズや B5 サイズの原稿をコピーまたはスキャンする場合は、原稿を横向き（原稿の長辺を ADF（自動原稿送り装置）に挿入）にセットします。



【ADF 高速モード】については、下記をご覧ください。

- コピー⇒44 ページ「設定を変えてコピーするには」
- スキャン⇒ユーザズガイド パソコン活用編

ファクス送受信テストをする

ファクスを送受信できるかを、弊社専用回線でテストできます。
下記テスト用ファクス番号にファクスを送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスをお送りします。

テスト用ファクス番号 : 052-824-4773

発信者番号を非通知で送信すると、自動返信されません。ファクス番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

Memo

第 2 章

お好みで設定する

日付と時刻を設定する	24	電話 / ファクス回線のいろいろな接続	39
タイムゾーンを変更する	24	ひかり電話をご利用の場合	40
音量を設定する	26	ADSL をご利用の場合	40
画面の設定を変更する	27	IP 電話などの IP 網をご利用の場合	41
画面の明るさを設定する	27	ISDN をご利用の場合	41
キーボードの文字配列を変更する	27	電話番号が 1 つの場合	41
表示言語を「英語」に変更する	27	電話番号が 2 つの場合	41
電力を節約する	28	デジタルテレビを接続する場合	41
スリープモードに入る時間を設定する	28	構内交換機 (PBX) ・ビジネスホン	
印刷音を軽減する	29	ご利用の場合	42
お気に入り登録	30	本製品の外付け電話としてビジネスホンを	
お気に入りに機能や設定条件を登録する	30	接続する	42
登録したお気に入りを呼び出す	32	本製品を構内交換機 (PBX) の内線電話として	
お気に入りを編集する	32	使用する	42
お気に入りの登録名を変更する	32		
お気に入りの設定条件を変更する	32		
登録したお気に入りを削除する	33		
セキュリティ機能ロックを設定する	34		
セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する	35		
管理者パスワードを登録する	36		
管理者パスワードを登録する	36		
管理者パスワードを変更する	36		
ユーザーを登録する	36		
セキュリティ機能ロックをオン / オフにする	37		
セキュリティ機能ロックをオンにする	37		
セキュリティ機能ロックをオフにする	37		
ユーザーを切り替える	37		
電話 / ファクス回線種別を設定する	38		

日付と時刻を設定する

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、発信元登録をしてあればファックスを送信したときに相手側の用紙にも印刷されます。

発信元登録について、詳しくは⇒ユーザーズガイド 基本編「発信元を登録する」

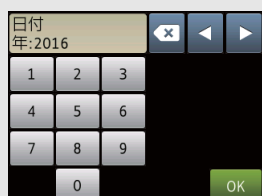
1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【時計セット】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【日付】を押す

年の入力画面が表示されます。



4 画面に表示されているテンキーで西暦の下2桁を押し、【OK】を押す

2016 年の場合は、【1】【6】と押します。

月の入力画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで月を2桁で押し、【OK】を押す

1 月の場合は、【0】【1】と押します。

日付の入力画面が表示されます。

6 画面に表示されているテンキーで日付を2桁で押し、【OK】を押す

21 日の場合は、【2】【1】と押します。

7 【時刻】を押す

時刻の入力画面が表示されます。

8 画面に表示されているテンキーで時刻を24時間制で押し、【OK】を押す

午後0時45分の場合は、
【1】【2】【4】【5】と押します。

9 を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。



タイムゾーンを変更する

タイムゾーン設定とは、世界標準時間と日本時間の時差の設定です。お買い上げ時は、日本国用のタイムゾーン（時差+9時間）が設定されているので、特に設定し直す必要はありません。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【時計セット】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【タイムゾーン】を押す

4 画面に表示されているテンキーで【0】、【9】と押す

世界標準時間に対し日本は 9 時間早いため、09:00 の前に「+」が表示されていることを確認してください。世界標準より早いかわいかは【+/-】で切り替えることができます。

 時刻の前に表示されている「UTC」は、協定世界時 (Universal Time, Coordinated) のことで、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な国際標準時として使用されています。

5 【OK】を押す

時差 + 9 時間が設定されます。

6 を押して設定を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

音量を設定する

本製品の音量を調整します。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【音量】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 変更したい音を選ぶ

- 【着信音量】：
着信時のベルの音量を調整します
- 【ボタン確認音量】：
操作パネル上のボタンを押したときに鳴る確認音を調整します。
- 【スピーカー音量】：
オンフック時の音量を調整します。

4 好みの音量を選ぶ

【切／小／中／大】から選びます。

5 必要に応じて手順③、④を繰り返し、他の音も調整する

6 を押して設定を終了する

 着信音量を【切】に設定していても、下記の音は最小音量で鳴ります。

- 本製品が自動着信したあと、相手が電話だということを知らせる「トゥルッ、トゥルッ」という再呼出音

 ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

画面の設定を変更する

本製品の画面の設定を変更します。

画面の明るさを設定する

【画面の設定】

画面の明るさと、バックライトを暗くするまでの時間を設定できます。

- 1  【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【画面の設定】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 変更したい項目を選ぶ
 - 【画面の明るさ】：
画面の明るさを調整します。
 - 【照明ダウタイマー】：
画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。(暗くなっても画面の表示は確認できます。)
- 4 目的の設定を選ぶ
 - 画面の明るさ：
【明るく／標準／暗く】から選びます。
 - 照明ダウタイマー：
【切／10秒／20秒／30秒】から選びます。
- 5 必要に応じて、手順③、④を繰り返し、画面設定を変更する
- 6  を押して設定を終了する

キーボードの文字配列を変更する

【キーボード設定】

アルファベットキーボードの文字配列を2種類の中から選べます。お買い上げ時は、市販されている一般的なパソコンのキーボードで使われる、QWERTY配列に設定されています。

- 1  【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【キーボード設定(英字入力)】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 【QWERTY入力】または【かなめくり入力】を押す
- 4  を押して設定を終了する

表示言語を「英語」に変更する

【表示言語設定】

画面の表示言語を英語に切り替えることができます。

- 1  【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【表示言語設定】、【英語】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3  を押して設定を終了する

電力を節約する

スリープモードに入る時間を設定する

【スリープモード】

設定した時間内にファクスの送受信やパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、本製品は自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもファクスやパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに印刷します。この待機状態（スリープモード）に切り替わるまでの時間を設定します。

1  **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【基本設定】、【スリープモード】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 **希望の時間を選ぶ**

【1分／2分／3分／5分／10分／30分／60分】から選びます。

4  **を押して設定を終了する**

印刷音を軽減する

静音モードを【オン】に設定すると、印刷速度を遅くして印刷音を減らすことができます。

- 1  【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【基本設定】、
【静音モード】を押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 【オン】を押す
- 4  を押して設定を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

お気に入りを登録する

「お気に入り」としてお好みの設定条件を登録することができます。
お気に入りに登録できるメニューおよび設定条件は次の通りです。設定条件を変更すると、さらに細かくお気に入りを登録できます。

機能	第1選択項目（メニュー）	第2選択項目（設定条件）
コピー	ADF 高速モード、コピー画質、用紙タイプ、用紙サイズ、拡大/縮小、コピー濃度、スタック/ソート、レイアウトコピー、レイアウト選択、傾き補正、両面コピー、便利なコピー設定	各項目の設定値については下記をご覧ください。 ⇒ 44 ページ「設定を変えてコピーするには」
ファクス	相手先の電話番号	ファクス画質、原稿濃度、ガラス面読取サイズ、同報送信、みてから送信、カラー設定、リアルタイム送信、海外送信モード
スキャン	ファイル OCR イメージ E メール添付	PC 名
	メディア	ADF 高速モード、カラー設定、解像度、ファイル形式、スキャンサイズ、ADF 長尺原稿モード、ファイル名、おまかせ一括スキャン、地色除去
	ネットワーク FTP サーバー	プロファイル名
クラウド	ウェブサービスに、スキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができる機能をお気に入りに登録することができます。クラウドをお気に入りに登録するには、あらかじめ、ご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。）	

お気に入りに機能や設定条件を登録する

1 待ち受け画面の  お気に入りを押す

2  を押す



3 登録したい機能を選ぶ

【コピー／ファクス／スキャン／クラウド】から選びます。

コピーを選んだ場合

4 【OK】を押す

5 コピーメニューを選ぶ

6 必要に応じて設定条件を変更する

本製品の機能にあっても、お気に入りに登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。

⇒手順 7 へ

ファクスを選んだ場合

4 【OK】を押す

同報送信をお気に入り登録する場合は、このあと【設定変更】、【同報送信】を順に押し、送信先をすべて選択後、手順 7 に進みます。

5 ダイアルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

【電話帳】または【履歴】から相手先を選ぶ場合は、【送信先に設定】または【送信先に設定】 / 【設定】と表示された画面で【送信先に設定】を押して番号を確定させます。

- 設定条件を変更する場合は、【設定変更】を押す
- 設定条件を変更しない場合は、⇒手順 7 へ

6 設定条件を変更し、【OK】を押す

本製品の機能にあっても、お気に入り登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。

⇒手順 7 へ

スキャンを選んだ場合

スキャン機能をお気に入りに登録する場合は、あらかじめ以下のように準備をしておいてください。

- ファイル / OCR / イメージ / E メール添付：本製品をパソコンに接続してください。
- メディア：メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットしてください。
- ネットワーク / FTP サーバー：本製品をパソコンのネットワークに接続してください。

4 スキャンメニューを選ぶ

メニューが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。

5 【OK】を押す

6 選んだスキャンメニューに応じた項目を設定する

- ファイル / OCR / イメージ / E メール添付：保存するパソコンを選び、【OK】を押します。⇒手順 8 へ
- メディア：ファイルの保存条件を変更したい場合は【設定変更】を押して設定し直し、【OK】を押します。灰色表示される項目は設定できません。⇒手順 7 へ
- ネットワーク / FTP サーバー：プロファイル名を選び、【OK】を押します。プロファイル名は、パソコンのウェブブラウザからあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは、ユーザーズガイドパソコン活用編「スキャンキー操作（共通編）」をご覧ください。⇒手順 8 へ

クラウドを選んだ場合

クラウドをお気に入りに登録するには、あらかじめ、ご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。

詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラウザソリューションセンター）からダウンロードできます。）

4 【OK】を押す

 を押すと、設定は中断されます。

5 クラウド サービスを選ぶ

メニューが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。

6 アカウントを選択して、【OK】を押す

アカウントが PIN コードを必要とする場合は、PIN コードも入力してください。また、選んだサービスによっては、更にアップロードやダウンロードを選択する必要があります。画面の指示に従って設定してください。

⇒手順 8 へ

- 7 設定できたら【お気に入り登録】、【OK】を順に押す
- 8 画面に表示されたキーボードで名前を入力して、【OK】を押す

を押してすでに付いている名前（お気に入り 01 など）はいったん消してください。
⇒ 134 ページ「文字の入力方法」

【ファクス】を登録した場合は、登録した相手先が電話帳にも反映されるため【ヨミガナ】の編集画面が表示されます。必要に応じて読みがなを編集し、【OK】を押してください。

- 9 【OK】を押して登録を終了する
- ### 登録したお気に入りを呼び出す

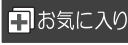
- 1 待ち受け画面の  を押す
- 2 呼び出したいお気に入りを押す



画面に設定条件が表示されます。スタートキーを押すと機能を実行できます。

お気に入りを編集する

お気に入りの登録名を変更する

- 1 待ち受け画面の  を押す
- 2 名前を編集したいお気に入りを2秒以上押す
- 3 【お気に入り名の編集】を押す
- 4 を押して古い名前を消去する
長押しすると登録名は一度に消去されます。
- 5 画面に表示されたキーボードで名前を再入力して、【OK】を押す

- 6 を押して設定を終了する

お気に入りの設定条件を変更する

- 1 変更したいお気に入りを呼び出す
⇒ 32 ページ「登録したお気に入りを呼び出す」

- 2 設定条件を変更する
機能により、変更画面が違います。
⇒ 30 ページ「お気に入りを登録する」

このあと設定条件を保存せずにスタートすると、変更を一時的に有効にして機能を実行できます。

- 3 【お気に入り登録】、【OK】を順に押す

- 4 【はい（上書き）】を押す

【いいえ（新規作成）】を押すと、条件を変更した設定で新たにお気に入りを登録します。名前をつけて保存してください。

- 5 【OK】を押して設定を終了する

登録したお気に入り削除する

- 1 待ち受け画面の  お気に入り を押す
- 2 削除したいお気に入りを 2 秒以上押す
- 3 【消去】を選ぶ
- 4 【はい】を押す
- 5  を押して設定を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

セキュリティ機能ロックを設定する

管理者が「ユーザー名 (ID 名)」と「パスワード」を登録して利用者に割り振り、利用できる機能をユーザーごとに制限することができます。セキュリティ機能ロックは、初期の設定や利用制限管理をネットワーク上のパソコンから行うため、本製品もネットワークに接続されている必要があります。ご利用になる場合は、本製品をいったんネットワークに接続してください。⇒[かんたん設置ガイド](#)
設定後は、本製品単独でセキュリティ機能ロックのオン/オフを切り替えたり、ユーザーを切り替えたりできます。制限がかけられる機能は次のとおりです。

- PC プリント
- コピー
- スキャン
- ファクス送信
- ファクス受信
- メディア：プリント
- メディア：スキャン
- クラウド接続 アップロード
- クラウド接続 ダウンロード
- 印刷の枚数制限
- カラープリント

-  管理者だけが各ユーザーの機能ロックのオン/オフ、制限管理、変更を行えます。設定または変更するには、管理者パスワードが必要です。パスワードを忘れた場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
-  セキュリティ機能ロックを利用する場合は、個別ユーザー以外の一般ユーザー用に、「一般モード」の利用制限を設定してください。
-  セキュリティ機能ロックがオンの場合でも、【ファクス画質 / 原稿濃度 / ガラス面読取サイズ / 同報送信 / みてから送信 / カラー設定 / タイマー送信 / とりまとめ送信 / リアルタイム送信 / 海外送信モード / ポーリング送信・受信（ファクス送信とファクス受信の両方を利用制限せず、有効にしているときのみ）】は設定できます。ただし、すべてのユーザーにファクス送信が制限されている場合は、すべてのファクス設定がロックされます。
-  ファクス受信無効のユーザーが設定されているとき、受信ファクスはメモリーに蓄積されます。その後、ファクス受信が有効なユーザーに切り替わったときに、蓄積されたファクスを印刷するか確認するメッセージが表示されます。

セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する

ネットワーク上のパソコンでウェブブラウザを起動し、セキュリティ機能ロックの設定画面を表示させます。

ここで設定するパスワードは、本製品の設定画面を表示するためのものです。セキュリティ機能ロックの管理者パスワードではありません。

1 本製品の IP アドレスを調べる

設定には、本製品の IP アドレス情報が必要です。あらかじめ、「ネットワーク設定リスト」を印刷して、IP アドレスをご確認ください。

⇒ 132 ページ「本製品の設定内容や機能を確認する」

2 パソコンでウェブブラウザを起動する

3 アドレス欄に、本製品の IP アドレスを入力する

例：192.168.1.2 の場合は、「<http://192.168.1.2/>」と入力します。

4 [ログイン] にパスワードを入力し、→をクリックする



はじめて設定画面を表示したときは、ここでパスワードを設定します。

パスワードを設定してください。

- (1) [パスワードを設定してください] をクリックする
- (2) [新しいパスワードの入力] にパスワードを入力する
32 文字まで入力できます。
- (3) [新しいパスワードの確認] に、パスワードをもう一度入力する
- (4) [OK] をクリックする

5 [管理者設定] タブー [セキュリティ機能ロック] をクリックする



セキュリティ機能ロックの設定画面が表示されます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

管理者パスワードを登録する

管理者パスワードを登録する

「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」(⇒ 35 ページ) で設定画面を表示したあと、管理者パスワードを登録します。

セキュリティ機能ロックは、パスワードを知る管理者だけが設定できます。

パスワードを変更することもできます。

- 1 セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する**
⇒ 35 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」
- 2 [新しいパスワードの入力] に、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力する**
- 3 [新しいパスワードの確認] に、管理者パスワードをもう一度入力する**
- 4 画面下部の [OK] をクリックし、管理者パスワードを登録する**

管理者パスワードを変更する

 パスワードを忘れた場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

- 1 セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する**
⇒ 35 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」
- 2 [新しいパスワードの入力] に、新しい管理者パスワードを 4 桁の数字で入力する**
- 3 [新しいパスワードの確認] に、新しい管理者パスワードをもう一度入力する**
- 4 画面下部の [OK] をクリックする**

ユーザーを登録する

一般モードと個別のユーザーを登録します。個別のユーザーは 10 人（ユーザー）まで登録できます。それぞれ名前とパスワード、利用できる機能を設定してください。セキュリティ機能ロックを【オン】にすると、個別のユーザーに切り替えない限り、本製品は常時一般モードとなります。

- 1 セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する**
⇒ 35 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」
- 2 [セキュリティ機能ロック] の [オン] をクリックする**
- 3 [一般モード] で制限したい機能のチェックを外す**
一般モードは、本製品を利用するときにパスワード入力を必要としないモードです。
- 4 未登録のユーザーを選び、[制限 ID 番号 /ID 名] に、ユーザー名を入力する**
7 文字まで入力できます。
- 5 [パスワード] に、このユーザー用のパスワードを 4 桁の数字で入力する**

 他のユーザーと同じパスワードは設定できません。
- 6 このユーザーに制限したい機能のチェックを外す**
印刷できるページ枚数を制限するには、[印刷制限] の [オン] にチェックを入れて、[最大ページ数] に枚数を入力します。
- 7 必要に応じて、手順 ④ ～ ⑥ を繰り返し、他のユーザーを登録する**
- 8 画面下部の [OK] をクリックして登録を終了する**

セキュリティ機能ロックをオン / オフにする

セキュリティ機能ロックをオンにする

セキュリティ機能ロックをオンにすると、一般モードが有効になります。個別ユーザーの設定を有効にするには、⇒ 37 ページ「ユーザーを切り替える」を参照してください。

- 1  【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【セキュリティ 機能ロック】を押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 【ロック オフ⇒オン】を押す
- 4 画面に表示されているテンキーで、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力し、【OK】を押す

セキュリティ機能ロックがオンに設定されます。



セキュリティ機能ロックをオフにする

- 1 待ち受け画面の  または【ユーザー切替】を押す
- 2 【ロック オン⇒オフ】を押す
- 3 画面に表示されているテンキーで、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力し、【OK】を押す

ユーザーを切り替える

セキュリティ機能ロックがオンのときに、登録されている個別のユーザーが本製品を使用できるように切り替えます。

- 1 待ち受け画面の  または【ユーザー切替】を押す
- 2 【ユーザー切替】を押す
- 3 切り替えたいユーザーを選ぶ
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 4 画面に表示されているテンキーで、このユーザー用に設定されたパスワードを入力し、【OK】を押す

-  一般モードに戻るには、 または【ユーザー切替】を押し、【一般モードへ切替】を押します。
-  個別のユーザーが本製品を使用したあと、一般モードに戻さず放置しても、1 分後に自動で一般モードに戻ります。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

電話 / ファクス回線種別を設定する

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

- 1** 、【オンフック】を順に押し、「ツー」という音が聞こえることを確認する

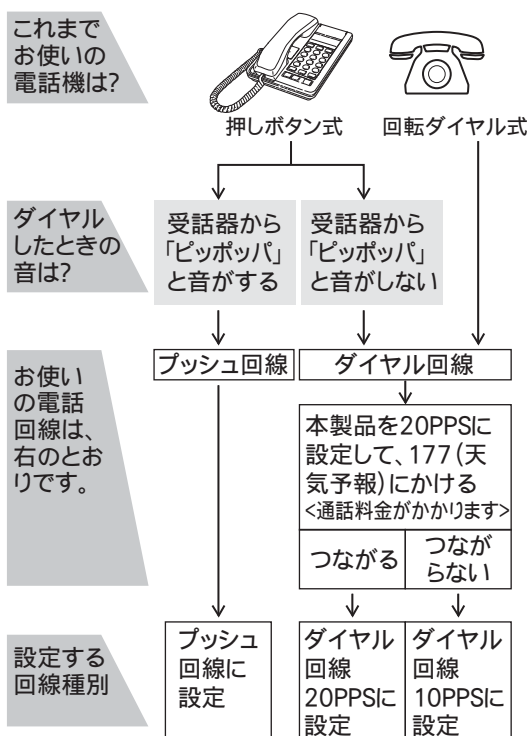
お願い

■ みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定している場合は、、【ファクス送信】、【オンフック】の順に押し確認してください。

- 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。
⇒かんたん設置ガイド
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

- 2** 【オンフック】を押して回線を切り、を押す

- 3** 回線種別を確認する



- 4** 【メニュー】を押す

- 5** 【全てのメニュー】、【初期設定】、【回線種別設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

- 6** 回線種別を選ぶ

- ☞ 回線種別がわからないときは、【ダイヤル 20PPS】、【プッシュ回線】、【ダイヤル 10PPS】の順に設定してみてください。
- ☞ ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ回線】に設定してください。

- 7** を押して設定を終了する

回線種別の手動設定終了後、「177」(天気予報)などにつながることをご確認ください。(通話料金がかかります)

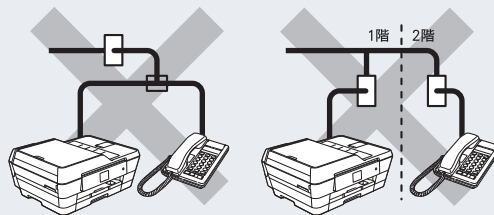
電話 / ファクス回線のいろいろな接続

本製品をファクスとして使用したり、本製品に外付け電話を接続してファクスや電話を使用したりする場合のいろいろな接続を説明します。

重要

- ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
 - ・ ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の手話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起こる場合があります。
 - ・ 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できない場合があります。
 - ・ コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えるようになる可能性があります。
 - ・ 本製品で保留にした場合、並列電話機では本製品の保留状態を解除できません。
 - ・ 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
 - ・ ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
 - ・ パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。

ブランチ接続（並列接続）



 ブランチ接続（並列接続）とは、一つの電話回線を分岐して複数台の電話機を接続することです。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

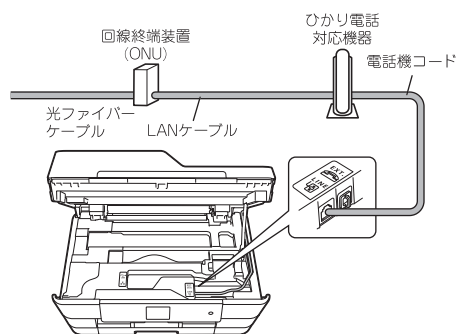
電話帳

転送・
リモコン機能

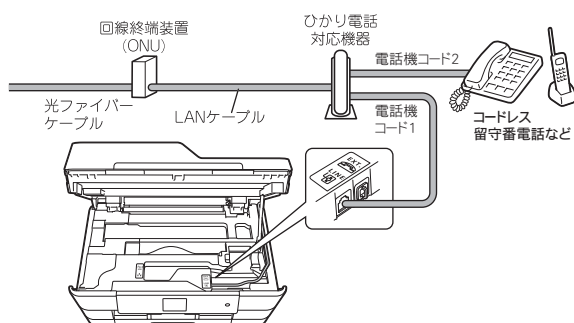
こんなときは

付録

ひかり電話をご利用の場合



● ひかり電話で複数番号を使う場合



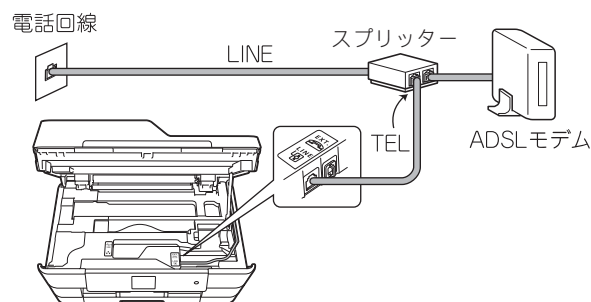
お願い

- ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。
⇒ 38 ページ「電話 / ファクス回線種別を設定する」
- 特定の番号だけつながらない、音量が小さい、ファクスを送受信できない、非通知相手からの着信ができないなどの問題がありましたら、ご利用の光回線の電話会社にお問い合わせください。

- ☞ ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ☞ ひかり電話対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。
- ☞ 回線終端装置 (ONU)、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ☞ お住まいの環境やご利用の電話会社により、配線方法や接続する機器がイラストと異なる場合があります。

ADSL をご利用の場合

本製品を ADSL 環境で使用する場合は、本製品を ADSL スプリッターの TEL 端子または PHONE 端子に接続してください。
スプリッターに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。



- ☞ お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されている場合があります。
- ☞ 詳しい設定については、スプリッターや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。
- ☞ ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッターを交換すると改善する場合があります。

お願い

- ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されていない場合、本製品と ADSL モデムは必ず「スプリッター」で分岐してください。「スプリッター」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

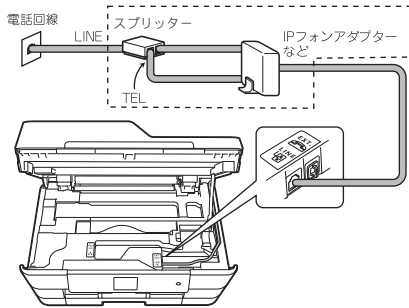
IP 電話などの IP 網をご利用の場合

(1) IP 電話をご利用の場合

回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。⇒38 ページ「電話 / ファクス回線種別を設定する」

(2) IP 網を利用してファクス通信を行う場合

契約しているプロバイダーの通信品質が保証されていることを確認してください。



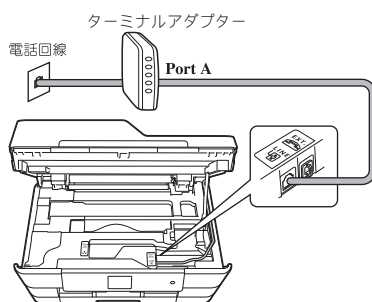
ISDN をご利用の場合

本製品を ISDN 回線のターミナルアダプターに接続するときは、以下の設定と確認を行ってください。

- 本製品：
回線種別を【プッシュ回線】に設定する
- ターミナルアダプター：
本製品を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるかを確認する

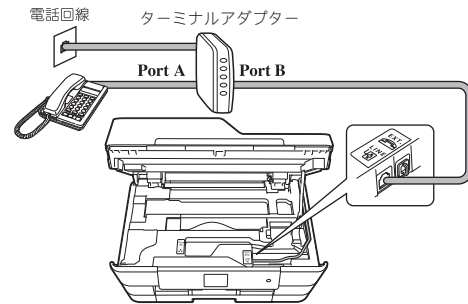
電話番号が1つの場合

本製品を、ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。



電話番号が2つの場合

本製品を、ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。2 回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。



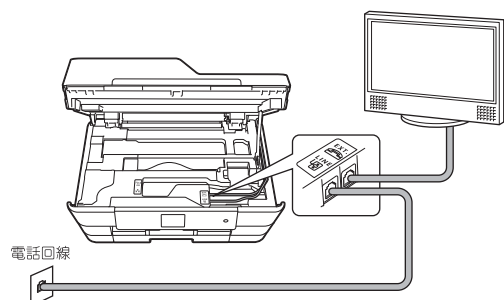
- 詳しい設定については、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプター側のデータ設定と、本製品側の設定が必要です。
⇒ユーザーズガイド 基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

お願い

- ISDN回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、【特別回線対応】で【光・ISDN】を設定してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「特別な回線に合わせて設定する」
- 本製品が使用できないときは、⇒ユーザーズガイド 基本編「故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）」をご覧ください。
また、ターミナルアダプターの設定を確認してください。ターミナルアダプターの設定の詳細は、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。また、製造メーカーにお問い合わせください。

デジタルテレビを接続する場合

本製品と CS チューナーやデジタルテレビを接続するときは、外付け電話接続端子に接続してください。



はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

構内交換機 (PBX)・ビジネスホンをご利用の場合

本製品を構内交換機などに接続する場合は、次のいずれかの方法で接続してください。

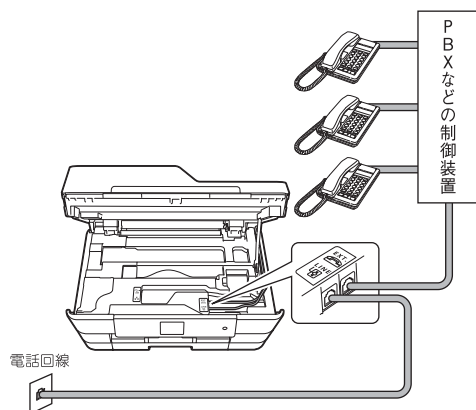
お願い

- 構内交換機、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 38 ページ「電話 / ファクス回線種別を設定する」
- 着信音が鳴っても本製品が自動応答しない場合、本製品の【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。
⇒ ユーザーズガイド 基本編「特別な回線に合わせて設定する」

 ビジネスホンとは
電話回線を3本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。

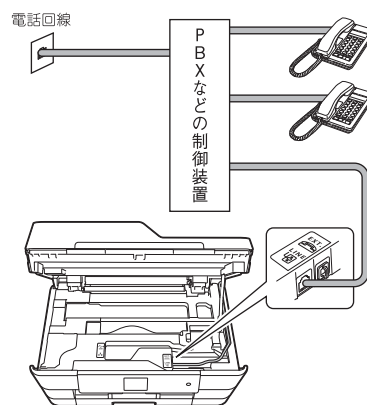
本製品の外付け電話としてビジネスホンに接続する

本製品の外付け電話接続端子に構内交換機 (PBX) などの制御装置を接続してください。



本製品を構内交換機 (PBX) の内線電話として使用する

構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。



- PBX などの制御装置がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「ナンバー・ディスプレイサービス」がご利用になれません。【特別回線対応】の設定を【PBX】に設定すると、本製品の【ナンバーディスプレイ】の設定は無効になります。
⇒ ユーザーズガイド 基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

第 3 章

コピー

いろいろなコピー	44
設定を変えてコピーするには	44
スタック/ソートコピーする	46
レイアウトコピーする	47
2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に並べて コピーする (N in 1 コピー)	47
カードの両面を 1 枚の A4 用紙にコピーする (ID カードコピー)	48
1 枚の原稿を 2 枚に分けてコピーする (分割コピー)	49
1 枚の原稿を複数枚の用紙に分けて拡大する (ポスターコピー)	49
原稿の傾きを補正してコピーする	50
両面コピーする	51
インクを節約してコピーする	52
コピー時の裏写りを抑える	53
ブックコピーする	53
コピーに文字を重ねる	54
原稿の地色を除去してコピーする	54
A3 用紙を使った便利なコピー	55

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

いろいろなコピー

設定を変えてコピーするには

待ち受け画面の  を押して、画面に表示される【設定変更】から、コピーの設定が変更できます。

例：用紙タイプ



(1) ADF 高速モード

複数ページの A4、B5 原稿を複数部コピーする場合、ADF（自動原稿送り装置）に原稿を横向き（原稿の長辺を ADF（自動原稿送り装置）に挿入）にセットすることで、高速にコピーをすることができます。
⇒ 20 ページ「原稿のセット」

- 【オン】
ADF 高速モードでコピーします。
- 【オフ】
通常のコピーを行う場合に選びます。

(2) コピー画質

コピーの画質を設定します。

- 【標準】
通常のコピーを行う場合に選びます。
 - 【高画質】
写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。
- ※1 部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。

(3) 用紙タイプ

使用する用紙に合わせて、用紙タイプを設定します。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム】

(4) 用紙サイズ

使用する用紙に合わせて、用紙サイズを設定します。
【A4／A3／B4／A5／B5／ハガキ／2L 判／L 判】

(5) 拡大 / 縮小	
倍率を変更してコピーします。 【等倍 100%】 【拡大】 • 【240% L判 ⇒ A4】 • 【204% ハガキ ⇒ A4】 • 【141% B5 ⇒ B4、A4 ⇒ A3】 • 【123% A4 ⇒ B4】 • 【115% B4 ⇒ A3、B5 ⇒ A4】 • 【113% L判 ⇒ ハガキ】^{*1} 【縮小】 • 【86% A3 ⇒ B4、A4 ⇒ B5】 • 【81% B4 ⇒ A4、B5 ⇒ A5】 • 【69% A3 ⇒ A4、B4 ⇒ B5、A4 ⇒ A5】 • 【46% A4 ⇒ ハガキ】 • 【40% A4 ⇒ L判】 【用紙に合わせる】^{*2} 【カスタム (25-400%)】^{*3}	拡大 / 縮小とレイアウトコピーは同時に設定できません。 ^{*1} L判タテ向きの写真 (127mm × 89mm) をハガキにフィットさせます。  ^{*2} 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。 【用紙に合わせる】は次のような制約があります。 • 原稿を読み取るときに3°以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。 • ADF 高速モード、ソートコピー、レイアウトコピー、両面コピー、裏写り除去コピー、ブックコピー、透かしコピー、地色除去コピーと同時に設定できません。 ^{*3} 画面に表示されているテンキーや操作パネル上のダイヤルボタンで倍率を入力し、【OK】を押します。
(6) コピー濃度	
コピーの濃度を調整します。5段階の調整ができます。	
(7) スタック / ソート	
⇒ 46 ページ「スタック / ソートコピーする」	
(8) レイアウト コピー	
⇒ 47 ページ「レイアウトコピーする」	
(9) レイアウト選択	
⇒ 47 ページ「レイアウトコピーする」	
(10) 傾き補正	
⇒ 50 ページ「原稿の傾きを補正してコピーする」	
(11) 両面コピー	
⇒ 51 ページ「両面コピーする」	
(12) 便利なコピー設定	
その他のいろいろなコピーができます。 • 【インク節約モード】⇒ 52 ページ「インクを節約してコピーする」 • 【裏写り除去コピー】⇒ 53 ページ「コピー時の裏写りを抑える」 • 【ブックコピー】⇒ 53 ページ「ブックコピーする」 • 【透かしコピー】⇒ 54 ページ「コピーに文字を重ねる」 • 【地色除去コピー】⇒ 54 ページ「原稿の地色を除去してコピーする」	
(13) 設定を保持する	
設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか？ / はい / いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。	
(14) 設定をリセットする	
設定をお買い上げ時の状態に戻します。	
(15) お気に入り登録	
設定変更をしたあとで、【お気に入り登録】を押すと、現在の設定がお気に入りとして登録できます。	

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

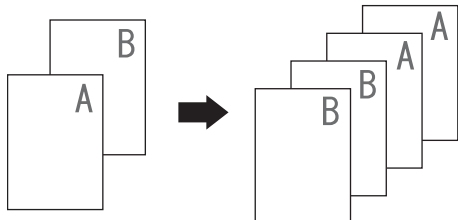
録
付

スタック / ソートコピーする

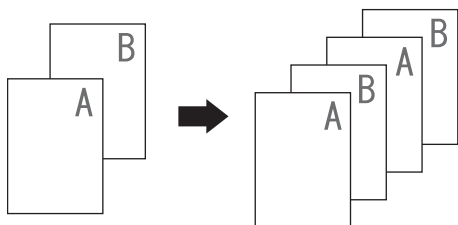
[スタック / ソート]

複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

- スタックコピー
ページごとにまとめて排出します。



- ソートコピー
一部ごとにまとめて排出します。



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【スタック / ソート】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【スタックコピー】または【ソートコピー】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときまたは原稿台ガラスに原稿をセットして【スタックコピー】を選んだときは、操作は終了です。コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットして【ソートコピー】を選んだときは、原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると画面に、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 9 に進みます。

9 【いいえ】を押す

レイアウトコピーする

【レイアウトコピー】

複数の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

- 2in1 (タテ長)



- 2in1 (ヨコ長)



- 2in1 (ID カード)



- 4in1 (タテ長)



- 4in1 (ヨコ長)



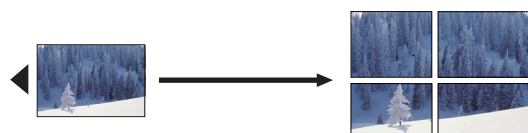
- 2 枚に分割



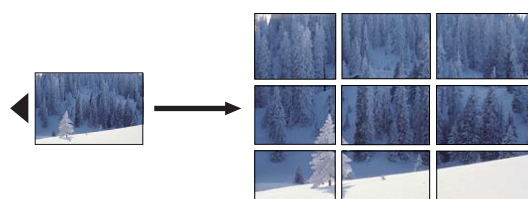
- ポスター (2x1)



- ポスター (2x2)



- ポスター (3x3)



2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に並べてコピーする (N in 1 コピー)

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーします。

使用できる用紙は、A3、B4、A4 サイズです。

1 原稿をセットする

⇒ユーザズガイド 基本編「原稿のセット」

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

※2in1 コピー、4in1 コピーは、複数部数でカラーコピーができません。モノクロでコピーするか複数回に分けてコピーしてください。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 レイアウトの種類を選ぶ

【2in1 (タテ長) / 2in1 (ヨコ長) / 4in1 (タテ長) / 4in1 (ヨコ長)】から選びます。

- 用紙サイズが A3 または B4 のときに、【2in1 (タテ長) / 2in1 (ヨコ長)】を選んだ場合⇒手順 7 へ
- その他の場合⇒手順 9 へ

7 【レイアウト選択】を押す

8 レイアウトタイプを選ぶ

- 用紙サイズが A3 のときは、【A3x2 ⇒ A3x1 / A4x2 ⇒ A3x1】から選びます。
- 用紙サイズが B4 のときは、【B4x2 ⇒ B4x1 / B5x2 ⇒ B4x1】から選びます。

9 【OK】を押す

10 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると【次の原稿がありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 次の原稿がある場合⇒手順 11 へ
- 次の原稿がない場合⇒【いいえ】を押して、操作は終了です。コピーが開始されます。

11 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

【4in1（タテ長）／4in1（ヨコ長）】を選択している場合は、以下の操作を行います。

- 次の原稿がある場合⇒この手順を繰り返します。
- 次の原稿がない場合⇒【いいえ】を押して、操作は終了です。コピーが開始されます。

カードの両面を1枚のA4用紙にコピーする（ID カードコピー）

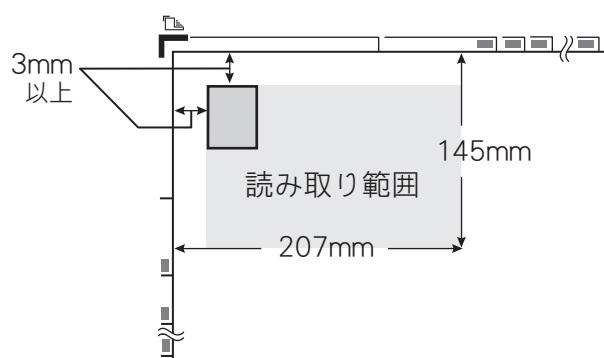
運転免許証のようなカードの両面を1枚のA4用紙片面に原寸のまま割り付けてコピーします。

 使用できる用紙は、A4 サイズのみです。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

原稿台ガラスの左上に、端から 3mm 以上空けて読み取り範囲内に原稿をセットしてください。



2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

※ID カードコピーは、複数部数でカラーコピーができません。モノクロでコピーするが複数回に分けてコピーしてください。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【2in1（ID カード）】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

8 【はい】を押し、原稿を裏返してセットし、【OK】を押す

1 枚の原稿を 2 枚に分けてコピーする
(分割コピー)

A3 サイズ 1 枚を、A4 サイズ 2 枚に分割してコピーします。なお、分割コピーは複数部数の指定はできません。

-  拡大 / 縮小されるわけではありません。
-  使用できる用紙は、A4 サイズのみです。

1 用紙が 2 枚以上セットされていることを確認する

2 原稿を原稿台ガラスにセットする
⇒ユーザズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3  を押す

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

6 【2 枚に分割】を選び、【OK】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

1 枚の原稿を複数枚の用紙に分けて拡大する (ポスターコピー)

原稿を自動的に拡大して、指定した枚数の用紙に分割してコピーします。貼り合わせに使用する「のりしろ」部分も計算されます。なお、ポスターコピーは複数部数の指定はできません。

-  用紙タイプに【OHP フィルム】は、設定できません。
-  使用できる用紙は、A3、A4 サイズです。

1 分割される枚数以上の用紙がセットされていることを確認する

2 原稿を原稿台ガラスにセットする
⇒ユーザズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3  を押す

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 レイアウトの種類を選ぶ
【ポスター (2x1) / ポスター (2x2) / ポスター (3x3)】から選びます。

- 用紙サイズが A3 のときに、【ポスター (2x2)】を選んだ場合⇒手順 **7** へ
- その他の場合⇒手順 **9** へ

7 【レイアウト選択】を押す

8 レイアウトタイプを選ぶ
【A3x1 ⇒ A3x4 / A4x1 ⇒ A3x4】から選びます。

9 【OK】を押す

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

10 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

すべてのコピーが終了するまで原稿はセットしたままにしてください。

原稿の傾きを補正してコピーする

【傾き補正】

原稿台ガラスに原稿をセットしてコピーするとき、原稿の傾きを自動的に補正します。

-  以下のような原稿をセットした場合は、傾き補正は機能しません。
 - B8 サイズよりも小さい原稿や B4 サイズより大きい原稿
 - 四角形ではない、不定形の原稿
 - 厚みのある原稿
-  読み込み時に原稿が 3° 以上傾いていた場合は、傾き補正は機能しません。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザズガイド 基本編 「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【傾き補正】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【自動】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

両面コピーする

【両面コピー】

原稿の片面を1枚ずつ読み取り、両面1枚にコピーできます。

ホチキスやクリップなどで留める側面（とじ辺）を設定することにより、うら面のコピーの向きを変えることができます。

	印刷の向き：縦（タテ長原稿）	印刷の向き：横（ヨコ長原稿）
長辺とじ原稿		
短辺とじ原稿		

❏ 両面コピーで使用する用紙は、A3、B4、A4、B5、A5 サイズの普通紙のみです。

❏ ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合は、あらかじめ両面コピーしたいすべての原稿をセットしてください（ただし1回にセットできるのは35枚までです）。2枚目以降がセットされていないと、原稿読み取りが終了したと認識され両面コピーが開始されてしまいます。

❏ 冊子を両面コピーする場合は、原稿台ガラスにセットしてください。

1 原稿をセットする

原稿が両面の場合は、片面ずつ順に原稿台にセットしてください。

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【両面コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 必要に応じて【あんしん設定】を選ぶ

紙詰まりや印刷汚れを軽減します。

- 【あんしん1】：印刷速度を落とします。
- 【あんしん2】：印刷速度を落とし、インク量を抑えます。

7 原稿の綴じ方を選ぶ

【オフ／印刷の向き：縦長辺とじ／印刷の向き：横長辺とじ／印刷の向き：縦短辺とじ／印刷の向き：横短辺とじ】から選びます。

原稿のセット方法の確認画面が表示されます。原稿のセット方法を確認して【OK】を押します。

8 ソートコピーをするときは、【スタック／ソート】、【ソートコピー】を順に押す

9 【OK】を押す

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

10 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。読み取りが開始されます。

原稿1枚目を印刷すると用紙はいったん排出されますが、2枚目をうら面に印刷するために再度吸い込まれます。うら面の印刷が終了するまで用紙に触れないでください。3枚目以降も同様にそれぞれうら面の印刷が終了するまでは用紙に触れないでください。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると【次のページをセットして【スキャン】を押してください
全てのページが終わったら【完了】を押してください／スキャン／完了】と表示されます。

11 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【スキャン】、【OK】を順に押す

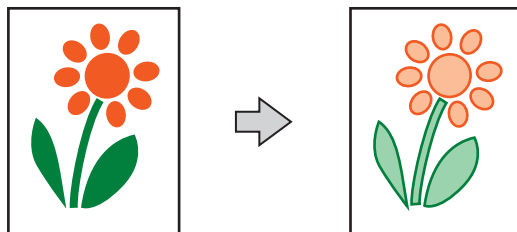
手順 8 で、ソートコピーを選択した場合は、原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 12 に進みます。

12 【完了】を押す

インクを節約してコピーする

【インク節約モード】

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。



「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



1 原稿をセットする

⇒ユーザズガイド 基本編「原稿のセット」

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【インク節約モード】を順に押し、【OK】を押す

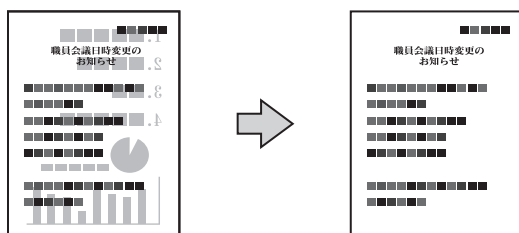
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

コピー時の裏写りを抑える

【裏写り除去コピー】

原稿の用紙が薄く、うら面に印字されている文字などが透けてコピーされてしまうようなときにお試しください。



「裏写り除去コピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【裏写り除去コピー】を順に押し、【OK】を押す

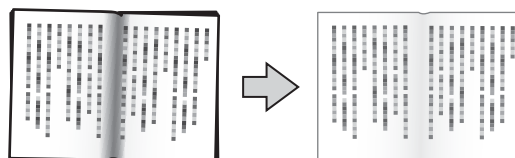
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ブックコピーする

【ブックコピー】

原稿台ガラスに本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。



お願い

■ ADF（自動原稿送り装置）を使用してブックコピーはできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【ブックコピー】を順に押し、【OK】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

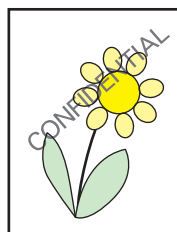
こんなときは

付録

コピーに文字を重ねる

【透かしコピー】

コピーと同時に、設定した透かし文字をコピー画像に追加できます。



テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：-45°
透過度：+2
色：黒

※ 右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 コピーを押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【透かしコピー】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 透かしの設定を行う

【テキスト／位置／サイズ／回転／透過度／色】の項目を設定します。
それぞれの設定値を選び、【OK】を押します。

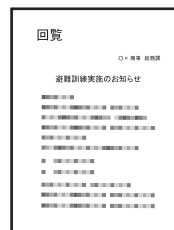
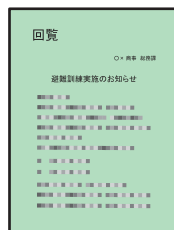
7 【OK】を押す

8 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

原稿の地色を除去してコピーする

【地色除去コピー】

カラーコピーを行う際に、原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。白地でない用紙を使った原稿をコピーするときに、背景に色を付けるためにインクが消費されるのを防ぎます。



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 コピーを押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【地色除去コピー】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 設定を選ぶ

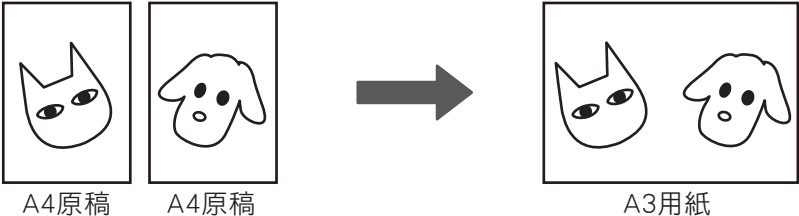
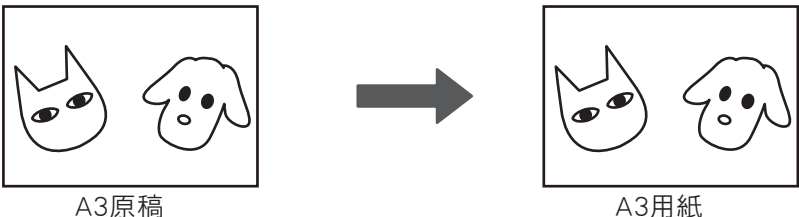
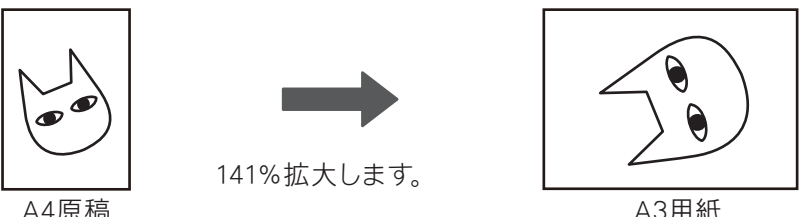
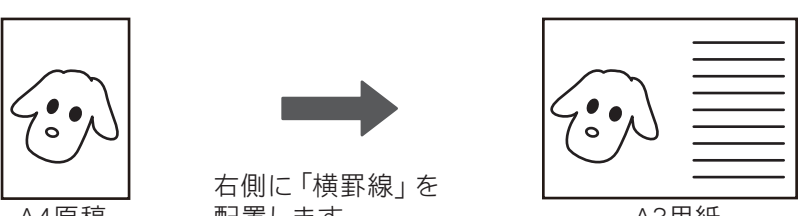
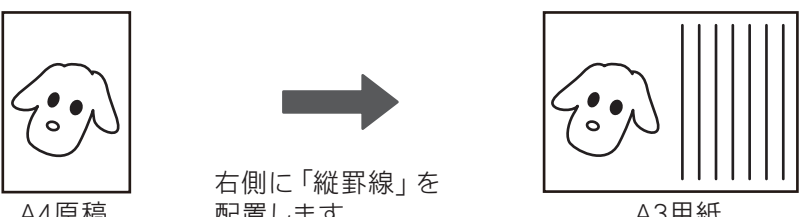
【弱／中／強】から選びます。

7 【OK】を押す

8 【カラー スタート】を押す

A3 用紙を使った便利なコピー

本製品には、A3 原稿から A4 用紙または A4 原稿から A3 用紙にコピーする場合、各種の設定が簡単にできるように、【便利な A3 コピー】というメニューが、待ち受け画面に用意されています。原稿と用紙をセットしてメニューを選ぶだけの簡単操作で、サイズを間違えて用紙を無駄にすることはありません。また、製品内蔵の罫線を自動的に配置するなど、実用的なメニューもあります。

A3 2in1 原稿2枚を用紙1枚にまとめます。	 A4原稿 A4原稿 → A3用紙
A3 等倍 A3原稿を等倍でコピーします。お買い上げ時の設定です。	 A3原稿 → A3用紙
A4 ⇒ A3 拡大 拡大率や用紙サイズ設定でもう迷いません。	 A4原稿 → 141% 拡大します。 A3用紙
A3 ⇒ A4 縮小 縮小率や用紙サイズ設定でもう迷いません。	 A3原稿 → 69% 縮小します。 A4用紙
A4 + ノート(横) 資料とレポート用紙を組み合わせる。	 A4原稿 → 右側に「横罫線」を配置します。 A3用紙
A4 + ノート(縦) 縦書きでもOK。趣味のサークルや授業の課題づくりに。横長原稿なら、下に横罫線が付くイメージです。	 A4原稿 → 右側に「縦罫線」を配置します。 A3用紙

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

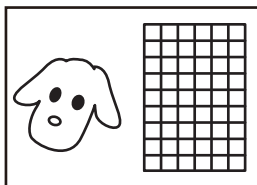
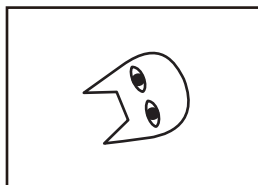
ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

A4 + 方眼 幼児向け学習プリントを手作りで。絵を見ながら、字や作文を楽しく練習。	 A4原稿 → 右側に「方眼罫」を配置します。  A3用紙
A4 + メモ 会議の議事録を走り書きしても大丈夫。	 A4原稿 → 左側に寄せてコピーし 右側を空けます。  A3用紙
A4 センター 注釈やアイデアを書き込む 余白がまわりに欲しい！	 A4原稿 → 原寸のまま用紙の 中央にコピーします。  A3用紙

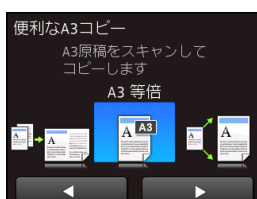
1 原稿をセットする
⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 ◀/▶ を押して画面を送り、 を押す

便利なA3コピーについての案内が表示されます。内容を確認して【OK】を押します。次回からこの画面を表示しない場合は、チェックボックスにチェックを付けて【OK】を押します。

3 便利なA3コピーメニューを選ぶ

◀/▶ を押して目的のA3コピーメニューのアイコンを中央に表示させた後、アイコンを押して選びます。



4 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

※下記のメニューは、複数部数でカラーコピーができません。モノクロでコピーするか複数回に分けてコピーしてください。
【A3 2in1】、【A4 + ノート (横)】、【A4 + ノート (縦)】、【A4 + 方眼】、【A4 + メモ】

5 【設定変更】を押して必要な設定を行い、【OK】を押す

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

原稿台ガラスに原稿をセットして、【A3 2in1】メニューを選択した場合、1枚目の原稿の読み取りが終わると【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。【はい】を押し、次の原稿をセットして【OK】を押します。

手差しトレイに用紙をセットして、複数部数の指定をした場合は、印刷完了後、画面に表示される手順に従って手差しトレイに用紙をセットし、【OK】を押します。

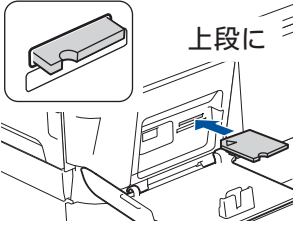
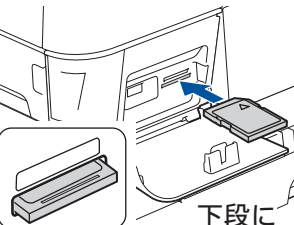
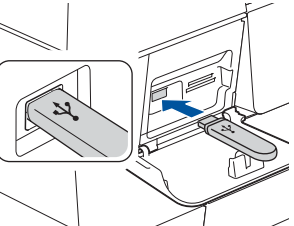
第 4 章

デジカメプリント

写真をプリントする	58
使用できるメモリーカードと USB フラッシュメモリー	58
設定を変えてプリントするには	59
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を 1 枚ずつまとめてプリントする	61
動画プリントについて	61
インデックスシートをプリントする	62
インデックスシートの写真の番号を指定してプリントする	63
多様な補正機能を使ってプリントする	64
色や明るさを補正する（お好み色補正）	64
画像の一部を切り取る（トリミング）	65
補正とトリミングを同時に行う（お好み色補正&トリミング）	66
証明写真プリントをする	67
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する	68
スライドショーの途中でプリントする	69
DPOF を使用してプリントするには	69
PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする	70
PictBridge とは	70
デジタルカメラで行う設定	70
写真をプリントする	70

写真をプリントする

使用できるメモリーカードと USB フラッシュメモリー

種類	セットする位置
メモリースティック デュオ™ (最大 128MB) メモリースティック PRO デュオ™ (最大 32GB)	 上段に
メモリースティック マイクロ™ (M2™) (最大 32GB)	
SD メモリーカード (最大 2GB) SDHC メモリーカード (最大 32GB) SDXC メモリーカード (最大 128GB) マルチメディアカード (最大 2GB) マルチメディアカード プラス (最大 4GB)	 下段に
miniSD カード (最大 2GB) microSD カード (最大 2GB) miniSDHC カード (最大 32GB) microSDHC カード (最大 32GB) マルチメディアカード モバイル (最大 1GB)	
USB フラッシュメモリー (最大 64GB)	

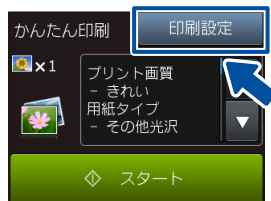
 画像ピクセルサイズが処理可能サイズ（横幅が 8192 ピクセル以内）を超えた場合は、印刷できません。

設定を変えてプリントするには

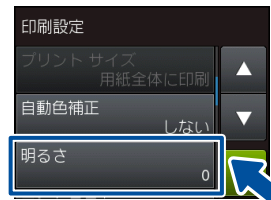
デジカメプリントの設定を確認する画面に表示される【印刷設定】から、プリントの設定が変更できます。

例：明るさ

【印刷設定】を押す



▲ / ▼を押して画面を送り、
【明るさ】を押す



設定値を選ぶ



(1) プリント画質

プリントする際の画質を設定します。

- 【標準】
速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
よりきれいにプリントする場合に選びます。

(2) 用紙タイプ

プリントする用紙の種類を選びます。

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】

(3) 用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを選びます。

【L 判／2L 判／ハガキ／A4／A3】

【A4】を選んだ場合は、プリントサイズ（レイアウト）を以下の設定から選びます。

8×10cm	9×13cm	10×15cm	13×18cm	15×20cm	用紙全体に印刷

(4) 自動色補正

自動で色や明るさを補正します。【する】または【しない】を選びます。

(5) 明るさ

プリントの仕上がりの明るさを調整することができます。5 段階の調整ができます。

(6) コントラスト

プリントの仕上がりのコントラストを調整することができます。5 段階の調整ができます。【+】はコントラストが強くなり、【-】はコントラストが弱くなります。

(7) 画質強調

(1) ▲/▼を押して画面を送り、【画質強調】を押す

(2) 更に【画質強調】を押して、【する】を押す

(3) 設定する項目を選ぶ

- 【ホワイトバランス】

画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。

- 【シャープネス】

画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。

- 【カラー調整】

画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(4) ◀/▶でレベルを調整し、【OK】を押す

(5) 手順 (3)、(4) を繰り返して、3つの項目を調整する

(6) 【OK】を押す

※画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像に対して有効に働きます。

メガピクセルクラスのカメラで撮影した100万画素以上の画像は【画質強調】を設定しないでください。

なお、画素数の多い画像に画質強調を行うと、処理に数十分かかる場合があります。

(8) 画像トリミング

プリント領域いっぱいに画像がプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。

画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も【しない】に設定してください。

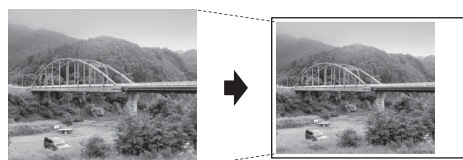
- 【する】

横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。



- 【しない】

画像を切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。



(9) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいにプリントします。【する】または【しない】を選びます。

※ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(10) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。

※動画は、【する】に設定しても日付はプリントされません。

(11) 設定を保持する

設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか？ / はい / いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。

(12) 設定をリセットする

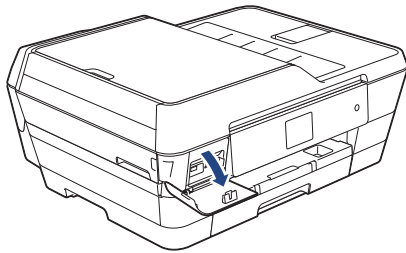
印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を1枚ずつまとめてプリントする

【全選択】

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの画像を1枚ずつまとめてプリントしたいときは、以下の手順で行います。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】を押す

4 【かんたん印刷】を押す



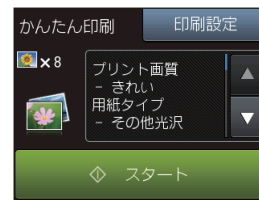
5 【全選択】を押す

【全ての写真選択枚数を1枚にしますか？
／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を押す

7 【OK】を押す

8 画面で設定を確認する



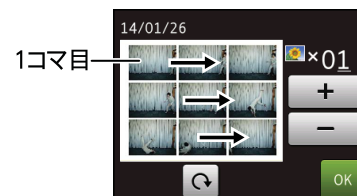
9 【スタート】を押す

動画プリントについて

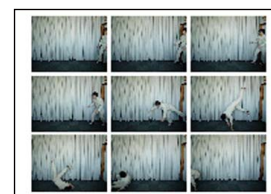
本製品は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されている動画を自動的に9分割して、1枚の用紙にプリントすることができます。



写真と共に保存されている動画も表示されます



印刷設定画面



出力例

❏ 本製品が対応している動画のフォーマットは、「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG です。ただし、1 ファイルのサイズが 1GB（撮影時間およそ 30 分）以上の AVI ファイル、2GB（撮影時間およそ 60 分）以上の MOV ファイルはプリントできません。

使用できないデータは、**?** と表示されます。

❏ 動画は日付プリントができません。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

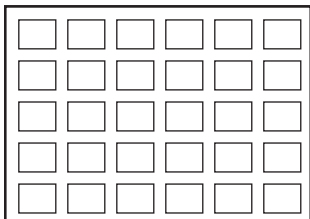
こんなときは

録
付

インデックスシートをプリントする

【インデックスシート】

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像を、一覧にしてプリントできます。A4サイズの用紙1ページ内に最大30個の画像がプリントされます。

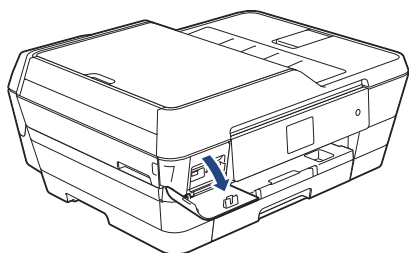


- ❏ インデックス番号が1から順に自動で割り振られます。パソコンで編集したファイル名は半角英数字で印字されます。全角文字は認識できません。
- ❏ インデックスシートをプリントする場合、用紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定値です。
- ❏ プリントされるのはJPEG（.JPG）および、MotionJPEGのAVI（.AVI）、MOV（.MOV）形式の画像です。
- ❏ インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

1 A4サイズ of 用紙をトレイにセットする

⇒ 12 ページ「用紙トレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く



3 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

4 【デジカメプリント】を押す

5 【インデックス】を選ぶ

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。



6 【インデックスシート】を押す

7 必要に応じて【印刷設定】を押し、用紙のタイプを変更する

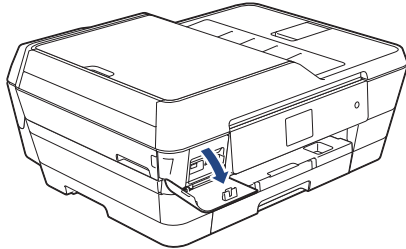
8 【スタート】を押す

インデックスシートの写真の番号を指定してプリントする

【番号指定プリント】

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】を押す

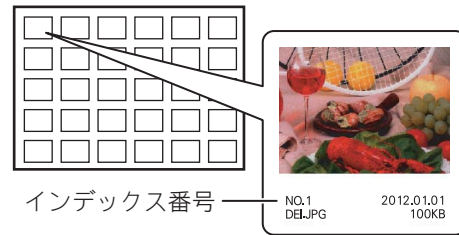
4 【インデックス】を選ぶ

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。



5 【番号指定プリント】を押す

6 画面に表示されているテンキーでプリントしたい画像のインデックス番号を入力し、【OK】を押す



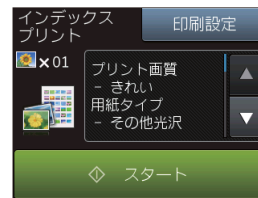
例1：1～5番をプリントしたいとき
「1-5」と入力する

例2：1、3、5番をプリントしたいとき
「1,3,5」と入力する

区切り記号も含めて12文字まで入力できます。

7 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

8 画面で設定を確認する



9 【スタート】を押す

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

多様な補正機能を使ってプリントする

[こだわり印刷]

色や明るさを補正する（お好み色補正）

本製品には、下記 10 種の写真補正機能があります。写真に合わせた補正で、悪条件のもとで撮影された写真などを自然で美しい色合いにプリントできます。

メニュー	解説	再補正 * の有無
自動色補正	人物と風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
肌色あかるさ補正	人物の肌を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
色あざやか補正	風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
赤目補正	フラッシュ撮影時の赤目を補正したいときに選びます。	あり
夜景補正	夜景を美しくプリントしたいときに使用します。	なし
逆光補正	逆光による影を、明るく補正してプリントします。	なし
ホワイトボード補正	ホワイトボードへの照明の映りこみなどを除去して、文字を読みやすくします。	なし
モノクロ	カラーで撮影した写真をモノクロでプリントしたいときに選びます。	なし
セピア	写真をセピア色でプリントしたいときに選びます。	なし
自動色補正 & 赤目補正	人物、風景と同時に赤目を補正したいときに選びます。	あり

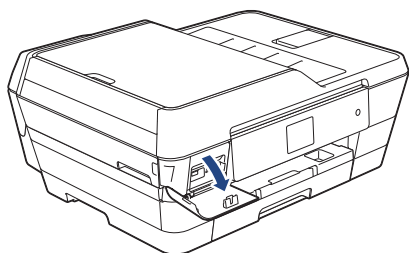
* 再補正とは、赤目の検出が一度でできなかったときに、再度「赤目検出」を試み、補正する機能です。

「こだわり印刷」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】を押す

4 【こだわり印刷】を選ぶ

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。



5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

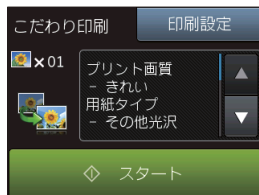
6 【お好み色補正】を選び、【OK】を押す

7 目的に合った補正メニューを選ぶ
 【自動色補正／肌色あかるさ補正／色あざやか補正／赤目補正／夜景補正／逆光補正／ホワイトボード補正／モノクロ／セピア／自動色補正＆赤目補正】から選びます。

8 補正後の画像を確認し、【OK】を押す

9 【+】／【-】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

10 画面で設定を確認する



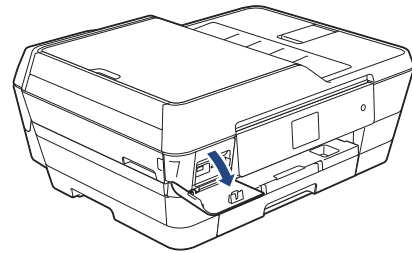
11 【スタート】を押す

画像の一部を切り取る（トリミング）

画像の中から必要な部分だけを切り取ってプリントできます。

画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】を押す

4 【こだわり印刷】を選ぶ

メニューが表示されていないときは、◀ / ▶を押して画面を送ります。



5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、◀ / ▶を押して、画面を送ります。

6 【トリミング】を選び、【OK】を押す

トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内がプリントされます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

7 枠の位置とサイズを選び、【OK】を押す

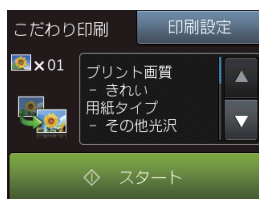


▲/▼/◀/▶ で移動します。
 で拡大、 で縮小します。
 を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

8 トリミングした画像を確認し、【OK】を押す

9 【+】 / 【-】 でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

10 画面で設定を確認する



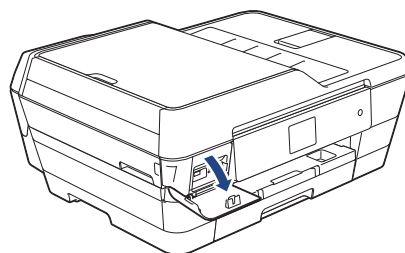
11 【スタート】を押す

**補正とトリミングを同時に行う
 (お好み色補正&トリミング)**

【お好み色補正】で画像を補正をしながら、同時に【トリミング】で画像を切り取ってプリントできます。

画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】を押す

4 【こだわり印刷】を押す

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。



5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

6 【お好み色補正】と【トリミング】を選び、【OK】を押す

7 目的に合った補正メニューを選ぶ

【自動色補正／肌色あかるさ補正／色あざやか補正／赤目補正／夜景補正／逆光補正／ホワイトボード補正／モノクロ／セピア／自動色補正&赤目補正】から選びます。

- 8 補正後の画像を確認し、【OK】を押す

- 9 枠の位置とサイズを選び、【OK】を押す



▲/▼/◀/▶で移動します。

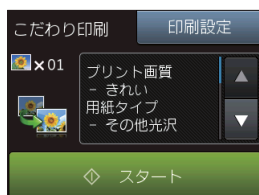
◻で拡大、◻で縮小します。

◻を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

- 10 トリミングした画像を確認し、【OK】を押す

- 11 【+】 / 【-】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

- 12 画面で設定を確認する

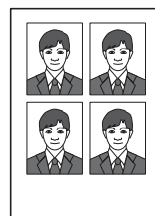


- 13 【スタート】を押す

証明写真プリントをする

【証明写真プリント】

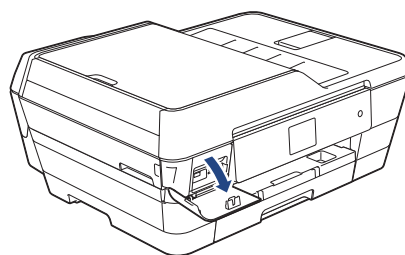
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーから画像を選び、履歴書やパスポートなどで必要とされる証明写真サイズにプリントすることができます。選べるサイズは4種類あり、1枚につき同じ画像4枚が割り付けられます。



お願い

- 証明写真プリントとトリミングを同時に行うことはできません。不要な部分は、パソコンやデジタルカメラなどであらかじめトリミングしてください。

- 1 メディアスロットカバーを開く



- 2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

- 3 【デジカメプリント】を押す

- 4 【証明写真プリント】を選ぶ

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。



はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは ◀ /

▶ を押して、画面を送ります。

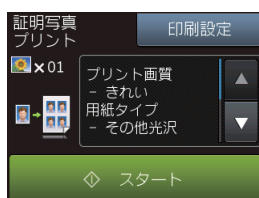
6 1 枚あたりの写真サイズを選ぶ

【30x24mm / 40x30mm / 45x35mm / 50x50mm】 から選びます。

7 選んだ画像を確認し、必要に応じて

◀ で写真の向きを変更して 【OK】 を押す

8 画面で設定を確認する



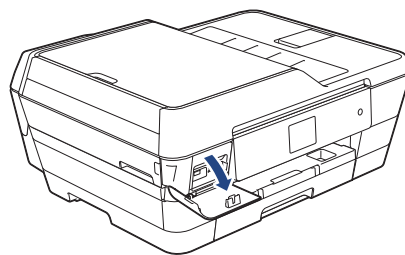
9 【スタート】 を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する

【スライドショー】

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を画面上で一定間隔に送り、順番に見ることができます。プリントしたい写真が表示されたときに画面を押すと、スライド表示中にプリントすることもできます。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】 を押す

4 【スライドショー】 を選ぶ

メニューが表示されていないときは、◀ /

▶ を押して画面を送ります。



5 【切り替え時間】 を押し、1 枚あたりの表示時間を選ぶ

【3 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 1 分 / 5 分】 から選びます。

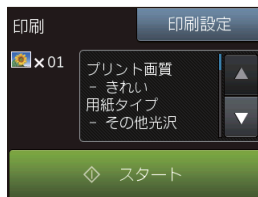
6 【開始】 を押す

スライドショーが始まります。

7 終了するときは [] を押す

スライドショーの途中でプリントする

- 1 スライド表示中、プリントしたい画像が表示されているときに、画面を押す
- 2 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する
- 3 画面で設定を確認する



- 4 【スタート】を押す

DPOF を使用してプリントするには

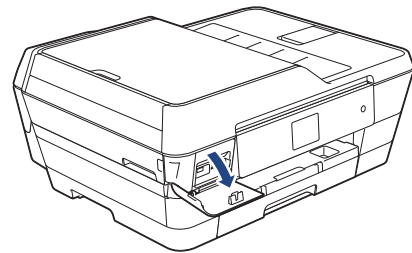
[DPOF]

DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット) *1 を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、以下の手順で操作してください。

*1 デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。

 DPOF から動画のプリントはできません。

- 1 メディアスロットカバーを開く



- 2 DPOF 設定済みのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

- 3 【DPOF】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

- 4 【印刷設定】を押す

- 5 【用紙サイズ】を押す

- 6 用紙サイズを選ぶ

他の設定項目も変更できます。ただし、プリント画質は変更できません。また、プリント枚数と日付も DPOF での設定が優先されるため変更できません。設定を変更したら、【OK】を押してください。

- 7 【スタート】を押す

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする

本製品は PictBridge に対応しています。PictBridge 対応のデジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridge とは

PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。

PictBridge に対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。



重要

■ PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が破損する恐れがあります。

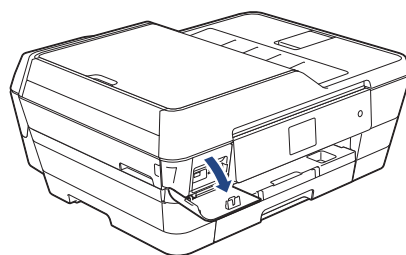
デジタルカメラで行う設定

本製品で PictBridge 機能を使う場合は、デジタルカメラで以下の設定ができます。設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	設定内容
用紙サイズ	A3、A4、L 判、2L 判、ハガキ
用紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOF プリント	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正	する、しない
日付印刷	する、しない

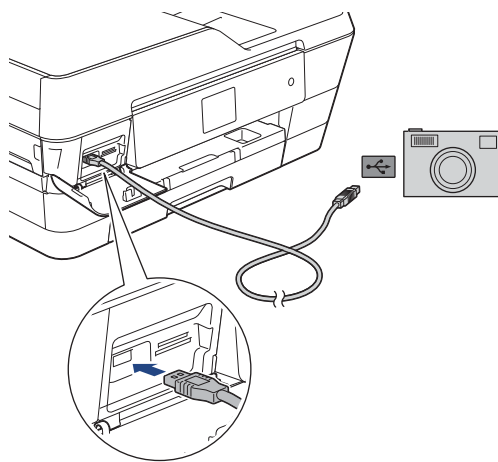
写真をプリントする

- 1 デジタルカメラの電源を切る
- 2 メディアスロットカバーを開く



- 3 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。



- 4 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

5 デジタルカメラからプリントを実行する

お願い

■ プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

6 デジタルカメラの電源を切り、USB ケーブルを抜く

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

Memo

第5章

ファクス

送信

ファクスの便利な送りかた	74
設定を変えてファクスするには	74
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る	76
相手先の受信音を確認してから送る	77
送るのをやめるときは	77
複数の相手先に同じ原稿を送る	78
送るのをやめるときは	79
内容を確認してから送る	80
時間を指定して送る	82
同じ相手への「タイマー送信」を1回の通信にまとめる	83
原稿をすぐに送る	84
相手の操作で原稿を送る	85
海外へ送る	86
ADF（自動原稿送り装置）から送る	86
原稿台ガラスから送る	86
パソコンからファクスを送る	88
自動再ダイヤルを解除する / 設定する	89
外線発信番号を設定する	90
ファクス誤送信防止機能を設定する （ダイヤル制限機能）	91
IP ファクスの設定をする（データコネクト設定）	92

受信

ファクスの見かた	93
受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信） / 印刷する	93
みるだけ受信を設定する	93
新着ファクスを見る	93
既読のファクスを再度見る	94
必要なファクスのみを印刷する	94
すべてのファクスを印刷する	94
不要なファクスのみを消去する	95
すべてのファクスを消去する	95
ファクスを自動的に印刷する （みるだけ受信を解除する）	96
受信したファクスが印刷できないときは （メモリー代行受信）	96
ファクスの便利な受けかた	97
電話に出ると自動的に受ける（親切受信）	97
親切受信を設定する	97

親切受信でファクスを受ける	97
自動的に縮小して受ける	98
本製品の操作で相手の原稿を受ける	99
ポーリング受信をする	99
複数の相手先からポーリング受信をする	100
順次ポーリング受信をやめるときは	101
本製品と接続している電話機の操作でファクスを受信する	102
リモート受信を設定する	102
リモート受信の操作	102
ファクスをメモリーで受信する	103
ファクスをメモリーで受信する	103
メモリー受信したファクスを印刷する	103
ファクスを転送する	104
受信したファクスをパソコンに送る （Windows® のみ）	105
メモリー受信の設定を変更する	106
メモリー受信をやめる	106

通信管理

通信状態を確かめる	107
送信待ちファクスを確認・中止する	107
通信管理レポートを印刷する	108
通信記録をすぐに確認したいとき	108
出力間隔を変更する	108
送信結果レポートを印刷する	109
すぐに印刷する	109
印刷するタイミングと内容を設定する	109
着信履歴リストを印刷する	110

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

ファクスの便利な送りかた

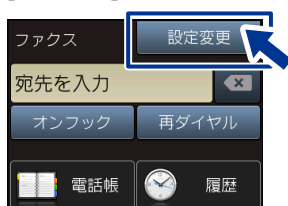
送信

設定を変えてファクスするには

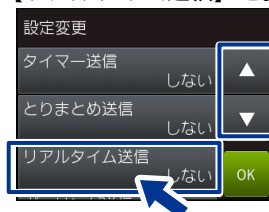
ファクス送信時、画面に表示されている【設定変更】から、ファクスを送るときの設定が変更できます。

例：リアルタイム送信

【設定変更】を押す



▲/▼で画面を送り、
【リアルタイム送信】を押す



【する】を押す



(1) ファクス画質

ファクス送信するときの画質を設定します。

- 【標準】
お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 【ファイン】
原稿の文字が小さいときに選びます。
- 【スーパーファイン】
原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 【写真】
原稿に写真が含まれているときに選びます。

※【標準】以外の設定で送信すると、標準に比べて送信時間がかかります。

※【写真】で送信しても、相手側のファクス機が標準モードで受信した場合は、画像が劣化します。

※【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【カラー設定】が【カラー】のときは【ファイン】で送信されます。

(2) 原稿濃度

ファクス送信するときの原稿濃度を設定します。

- 【自動】
読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 【濃く】
原稿が薄いときに選びます。
- 【薄く】
原稿が濃いときに選びます。

※原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなる場合があります。

※【ファクス画質】が【写真】のときや、【カラー設定】が【カラー】のときは【自動】で送信されます。

(3) ガラス面読取サイズ

原稿台ガラスからファクス送信するときの読み取りサイズを設定します。

【A4 / B4 / A3】

※ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合は、自動的にサイズを検知します。

(4) 同報送信

⇒ 78 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」

(5) みてから送信
⇒ 80 ページ「内容を確認してから送る」
(6) カラー設定
ファクス送信するときに、原稿をカラーまたはモノクロで送信するかどうかの設定をします。
(7) タイマー送信
⇒ 82 ページ「時間を指定して送る」
(8) とりまとめ送信
⇒ 83 ページ「同じ相手への「タイマー送信」を1回の通信にまとめる」
(9) リアルタイム送信
⇒ 84 ページ「原稿をすぐに送る」
(10) ポーリング送信
⇒ 85 ページ「相手の操作で原稿を送る」
(11) ポーリング受信
⇒ 99 ページ「本製品の操作で相手の原稿を受ける」
(12) 海外送信モード
⇒ 86 ページ「海外へ送る」
(13) 履歴
発信履歴や着信履歴からダイヤルするときに押します。
(14) 電話帳
すでに登録済みの電話帳のあて先を表示させたり、検索するときに押します。新たに電話帳登録することもできます。
(15) 設定を保持する
設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか？／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。
(16) 設定をリセットする
設定をお買い上げ時の状態に戻します。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
ファクス

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

【履歴】

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

 ナンバー・ディスプレイサービスをご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ユーザーズガイド 基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 を押す

3 【履歴】を押す

4 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

5 ファクスを送る相手先を選ぶ

相手先が表示されていないときは、▲/
▼を押して画面を送ります。

6 【送信先に設定】を押す

7 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 9 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 8 へ

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 9 に進みます。

9 【いいえ】を押す

ファクスが送られます。

相手先の受信音を確認してから送る

【手動送信】

相手の受信音を確認してからファクスを送ります。

 「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。(1回に送ることができるのは1枚のみです。)

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【オンフック】を押したあと、相手先のファクス番号を入力する

4 相手の受信音（ピーヒョロヒョロ音）を確認して、【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【ファクスしますか？／送信／受信】と表示されます。⇒手順⑤へ

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

送るのをやめるときは

1 【送信中】表示中にを押す

【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

ファクスの送信が中止されます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

複数の相手先に同じ原稿を送る

【同報送信】

1回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、番号入力・電話帳・検索などの方法から、合わせて最大250箇所まで指定できます。

お願い

■ 同報送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【同報送信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【番号追加】を押す

6 番号の入力方法を選ぶ

【番号追加 / 電話帳から選択 / 検索して選択】から選びます。

【番号追加】を選んだ場合

7 相手先のファクス番号を入力して、【OK】を押す

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順⑤へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑧へ

【電話帳から選択】を選んだ場合

7 リストから相手先を選んでチェックマークを付けて、【OK】を押す

 グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒115 ページ「グループダイヤルを登録する」

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順⑤へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑧へ

【検索して選択】を選んだ場合

7 電話帳に登録した名前の読みがな（先頭数文字で可）を入力して【OK】を押し、表示されたリストから相手先を選び、送信するファクス番号を選ぶ

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順⑤へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑧へ

8 送信する相手先を確認し、【OK】を押す

9 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 11 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 10 へ

10 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 11 に進みます。

11 【いいえ】を押す

すべての相手先に送り終わると、自動的に「同報送信レポート」が印刷されます。

送るのをやめるときは

1 ダイヤル中にを押す

【同報送信をキャンセルします 現在のあて先のみか 全ての送信先かを選択してください／XXX（現在の番号または電話帳に登録してある名前）／全ての同報送信】と表示されます。

2 目的のボタンを押す

現在送信中のジョブを中止する場合は、番号（または名前）が表示されているボタンを押します。

※中止をやめる場合は、を押します。

3 【はい】を押す

- すべての同報送信を中止した場合は、同報送信レポートを印刷したあと、待ち受け画面に戻ります。
- 送信中のジョブを中止した場合は、次の番号のダイヤルが始まり、画面に番号（または名前）が表示されます。

※中止をやめる場合は、【いいえ】を押します。

4 続けて中止する場合は 1 ～ 3 を繰り返す

 原稿読み取り中に【メモリがいっぱいです】と表示されたら、【中止する】またはを押して送信を中止するか、【読み取り分送信】を押して読み取られた分だけを送ります。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
ファックス

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

内容を確認してから送る

[みてから送信]

送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。

お願い

- みてから送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順 2 のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【みてから送信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【する】を押す

6 【OK】を押す

7 相手先のファクス番号を入力する

8 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、画面にこれから送るファクスの内容が表示されます。⇒手順 11 へ

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- ・ 送る原稿が1枚の場合⇒手順 10 へ
- ・ 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 10 に進みます。

10 【いいえ】を押す

画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。

11 画面で、ファクスの内容を確認する

ボタン	操作内容
▲/▼	縦方向に画面を送ります。
◀/▶	横方向に画面を送ります。
◀/▶	前のページ/次のページを表示します。
	90° ずつ右回転します。
	拡大/縮小表示します。
【スタート】	ファクス送信を開始します。

A) ファクスを送る場合

12 【スタート】を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

B) ファクス送信を中止する場合

12 を押す

画面に、【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

13 【はい】を押す

送信が中止されます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

時間を指定して送る

【タイマー送信】

24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。通信料の安い時間に送ることで、通信料を節約できます。タイマー送信は、50 件まで登録できます。

お願い

- タイマー送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 を押す

みただけ受信をしている場合は、手順 ② のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【タイマー送信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 更に【タイマー送信】を押して、【する】を押す

6 【指定時刻】を押す

7 画面に表示されているテンキーで送信時刻を入力し、【OK】を押す

送信時刻は、24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

8 【OK】を押す

9 ファクス番号を入力するか、【電話帳】または【履歴】から相手先を選ぶ

 とりまとめ送信 (⇒ 83 ページ) するとき、同じダイヤル方法で相手先を選んでください。

10 【スタート】を押す

ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか? / はい / いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 ⑫ へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 ⑪ へ

11 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 ⑫ に進みます。

12 【いいえ】を押して設定を終了する

同じ相手への「タイマー送信」を1回の通信にまとめる

【とりまとめ送信】

タイマー送信を複数設定している場合に、相手先の番号と予約時刻が同じものを、1回の通信でまとめて送るように設定できます。まとめて送ることで、通信料を節約できます。

この設定は、いったん設定すると以降は、タイマー送信設定されたファクスの中から相手先番号と予約時刻が同じものを、本製品が自動的に検出し、まとめて送信するようになります。

お願い

- とりまとめ送信でひとつにまとめることができるのは、同じダイヤル方法（直接ダイヤル / 電話帳から選択 / 履歴から選択 / お気に入りから選択）で設定された相手先に限ります。とりまとめをするつもりでタイマー送信を設定するときは、ダイヤル方法は統一してください。

1 を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順①のあとで、【ファクス送信】を押してください。

2 【設定変更】を押す

3 【とりまとめ送信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

4 【する】を押す

5 を押して設定を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

原稿をすぐに送る

【リアルタイム送信】

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。

メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。

-  リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。複数の相手先に1回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
-  ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイムで送信されます。
-  リアルタイム送信では、原稿を原稿台ガラスにセットした場合、相手が通話中であれば自動再ダイヤルを行いません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【リアルタイム送信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【する】を押す

- 【する】：
リアルタイム送信で送ります。
- 【しない】：
通常の送信で送ります。

6 【OK】を押す

7 相手先のファクス番号を入力する

8 【スタート】を押す

相手の操作で原稿を送る

【ポーリング送信】

本製品に原稿を登録しておく、と、ポーリング機能のある他のファクス機を使って、その原稿を自由に取り出すことができます。これを「ポーリング送信」といいます。

また、受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うこともできます。

お願い

■ ポーリング送信は、カラーでの送信はできません。モノクロで送るように設定してください。

- ☞ 相手側のファクス機にポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ☞ 機密ポーリング送信は、相手側のファクス機もブラザー製の場合のみ行えます。
- ☞ ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 を押す

みただけ受信をしている場合は、手順 ② のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【ポーリング送信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【標準】または【機密】を選ぶ

6 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで4桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

7 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 ⑨ へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 ⑧ へ

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 ⑨ に進みます。

9 【いいえ】を押す

☞ ポーリング送信が終了すると、自動的に「ポーリングレポート」が印刷され、送信結果を知らせてくれます。

☞ ポーリング送信をやめるときは、【メニュー】、【全てのメニュー】、【ファクス】、【通信待ち一覧】を押し、送信をやめるファクスを選び、【停止】を押します。
⇒107ページ「送信待ちファクスを確認・中止する」

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

海外へ送る

【海外送信モード】

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。

海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

ADF（自動原稿送り装置）から送る

綴じや切り貼りのないサイズが揃った原稿の場合、ADF（自動原稿送り装置）の使用をお勧めします。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」

2 を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【海外送信モード】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【する】を押す

6 【OK】を押す

7 相手先のファクス番号を入力する

8 【スタート】を押す

ファクスが送られます。
カラーで送信した場合は、相手につながってから原稿の読み取りが始まります。

原稿台ガラスから送る

綴じられた資料や本など、ADF（自動原稿送り装置）にセットできない原稿は、原稿台ガラスを使用してください。

 原稿が複数枚あるときはカラーで送ることができないため、モノクロで送信するか、複数回に分けて送信してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【海外送信モード】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【する】を押す

モノクロで送る場合

6 【カラー設定】を押す

7 【モノクロ】を押す

-  お買い上げ時の設定値である【モノクロ】を変更していない場合は、手順⑥、⑦のカラー設定を行う必要はありません。
-  画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒74ページ「設定を変えてファクスするには」

8 【OK】を押す**9 相手先のファクス番号を入力する****10 【スタート】を押す**

原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 **12** へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 **11** へ

11 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 **12** に進みます。

12 【いいえ】を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

カラーで送る場合**6 【カラー設定】を押す****7 【カラー】を押す****8 【OK】を押す****9 相手先のファクス番号を入力する****10 【スタート】を押す**

画面に【カラーファクスを1枚のみ送信します 複数枚送信したいときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットし直してください／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されます。

11 【はい（カラー送信）】を押す

【いいえ】を押すと、原稿台ガラスからは送ることができません。

操作は終了です。ファクスが送られます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

パソコンからファクスを送る

[PC-FAX 送信]

パソコンで作成した書類を、印刷することなく、本製品を経由してそのままファクスとして送ることができます。

⇒詳しくは、ユーザズガイド パソコン活用編をご覧ください。

- 1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選ぶ
- 3 プリンターの選択で [Brother PC-FAX v.X] を選び [印刷] をクリックする



PC-FAX 送信画面が表示されます。

- 4 画面に表示されているテンキーでファクス番号を入力する



- 5  を押して、番号を確定する
- 6 [送信] をクリックする

ファクスが送信されます。

自動再ダイヤルを解除する / 設定する

本製品は、相手が通話中などの理由でファクス送信できなかったときに、人の手で送信操作を繰り返さなくても自動で再ダイヤルするように設定されています。しかし、重要な書類を送信する場合など、送信結果を把握したいときは、自動再ダイヤルを解除することができます。この設定値は、次に設定変更するまで有効です。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【ファクス自動再ダイヤル】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

解除した状態から再度設定する場合は、ここで【オン】を選んでください。

- 【オン】：
相手が通信中でも、3回まで自動的に再ダイヤルして送信を試みます。
- 【オフ】：
自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信結果レポートが印刷されます。

4 を押して設定を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

外線発信番号を設定する

構内交換機（PBX）などを利用している電話回線の環境において、外線発信するときに必要な外線（識別）番号をあらかじめ登録しておくことができます。外線番号を押してからダイヤルしたり、外線番号を付けて電話帳に登録したりする必要がなくなります。

お願い

■ 電話回線をご利用の環境が、外線番号を必要としない場合は登録しないでください。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、 【外線番号】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【オン】を押す

- 【オン】：
ダイヤル時、外線番号を常に頭に付けて発信します。
- 【オフ】：
外線番号機能を利用しません。

4 【外線番号】を押す

5 画面に表示されているテンキーで外線（識別）番号を入力し、【OK】を押す

【0】～【9】、【*】、【#】、【!】を使って最大5桁まで登録できます。

- 【!】は、単独でしか使用できません。（他の数字、記号と組み合わせることはできません。）
- ダイヤル10PPS、ダイヤル20PPS回線をご利用の場合は【*】、【#】が登録できません。

6 を押して設定を終了する

 PC ファクス送信時は PC-FAX の外線番号の設定が優先されます。

ファクス誤送信防止機能を設定する（ダイヤル制限機能）

ファクス送信を禁止したり、間違った相手にファクスを送信しないようファクス番号の2度入力でのダイヤルした番号の確認を強制したりできます。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【ダイヤル制限機能】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 制限したい発信動作を選ぶ

- 【直接入力】：
操作パネル上のダイヤルボタンから直接ダイヤルして送信する場合です。
- 【電話帳】：
本製品の電話帳に登録した番号を選んで送信する場合です。
- 【お気に入り】：
登録したお気に入りから送信する場合です。

4 制限内容を選ぶ

- 【2度入力】：
ファクス番号の再入力が求められ、1度目に入力した番号と一致した場合のみ、ファクス送信されます。1度目とは異なった番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。
- 【オン】：
ファクス送信を禁止します。
- 【オフ】：
制限せず通常のファクス送信を行います。

5 必要に応じて、手順③、④を繰り返し、制限したい発信動作についてすべて設定する

6 を押して設定を終了する

IP ファクスの設定をする（データコネクト設定）

データコネクトとは、NTT のフレッツ 光ネクストのご契約をされている場合に利用できるサービスです。次世代ネットワーク（NGN）で IP ファクスを使用する場合に設定します。（モノクロファクスのみ）

 データコネクトとは、お使いの市外局番（「03」など）から始まる電話番号を利用して、セキュリティ性が高く安定した帯域確保型データ通信を実現する NTT のフレッツ 光ネクストのサービスです。送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続していれば、データコネクトで IP ファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。

 「データコネクト」「フレッツ 光ネクスト」は、NTT 東日本 /NTT 西日本のサービスです。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、 【データコネクト設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【IP ファクス】を押す

4 送信動作を選ぶ

- 【専用】：
ファクス送信が IP ファクスのみとなります。ただし、手動送信およびポーリング送信の場合は、通常のファクス送信になります。
- 【優先】：
相手先が IP ファクスに対応しているかを自動的に確認し、対応していない場合には通常のファクス送信を行います。
- 【オフ】：
通常のファクス送信のみとなります。

5 【送信速度】を押す

6 光ネクストのご契約内容に合わせて 通信速度を選ぶ

- 【自動】：
本製品が回線にアクセスして判断します。
- 【標準】：64kbps
- 【高速】：512kbps
- 【最高速】：1000kbps

7 を押して設定を終了する

ファクスの見かた

受信

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信） / 印刷する

【みるだけ受信】

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。このとき、ファクスはメモリーに記憶し、保存します。受信したファクスを画面で見るには、みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定してください。受信したファクスを印刷するようにしたい場合は、【しない（受信したら印刷）】に設定してください。お買い上げ時は、【しない（受信したら印刷）】に設定されています。

お願い

- みるだけ受信と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。ファクスを本製品で確認することができなくなるためご注意ください。
- みるだけ受信を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。画面で確認できない場合は、印刷されていないかどうかを確認してください。

みるだけ受信を設定する

- 1 【メニュー】を押す
- 2 **【みるだけ受信】（1）**を押す
ボタンには現在の状態が表示されています。



- 3 **【する（画面で確認）】**を押す

【みるだけ受信を【する（画面で確認）】にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 4 **【はい】**を押す

【受信したファクスはメモリーに保存され画面で確認できます 印刷はされませんがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 5 メッセージを確認して、**【はい】**を押す

- 6 を押して設定を終了する

新着ファクスを見る

みるだけ受信設定時には、ファクスを受信すると、待ち受け画面に、新着を知らせるメッセージが表示されます。

- 1 **【確認】**を押す



- 2 **確認したいファクスを選んで押す**

目的のファクスが表示されていないときは、▲／▼を押して画面を送ります。

新着ファクスには、左側に新着マーク（青色）が表示されます。



はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

3 下表を参考にして操作を行う



ボタン	操作内容
▲/▼	縦方向に画面を送ります。
◀/▶	横方向に画面を送ります。
🔍/🔍	拡大 / 縮小表示します。
📄/📄	前のページ/次のページを表示します。
🔄	90° ずつ右回転します。
🗑️	ファクスをメモリーから消去します。 ⇒ 95 ページ「不要なファクスのみを消去する」
🖨️	ファクスを印刷します。 ⇒ 94 ページ「必要なファクスのみを印刷する」

- 📝 受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。
- 📝 メモリーに保存できるファクスは 99 件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

既読のファクスを再度見る

- 1  を押す
- 2 【受信ファクス】を押す
- 3 確認したいファクスを選ぶ
目的のファクスが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
既読ファクスには、左側に既読マーク（灰色）が表示されます。
- 4 新着ファクスを見るときと同様に画面を操作して内容を確認する

必要なファクスのみを印刷する

- 1 印刷したいファクスが画面に表示された状態で  を押す
 - 見ているファクスが1ページだけであればすぐに印刷されます。③に進んでください。
 - 見ているファクスが複数ページあるときは、②に進んでください。
 - 2 次のいずれかを行って、ファクスを印刷する
 - すべてのページを印刷する場合は、【全てのページをプリント】を押して、③に進みます。
 - 見ているページのみを印刷する場合は、【表示ページのみプリント】を押して、④に進みます。
 - 見ているページ以降すべてを印刷する場合は、【表示ページ以降プリント】を押して、④に進みます。
 - 3 ファクスを消去する場合は【はい】を、メモリーに残す場合は【いいえ】を押す
 - 4  を押して操作を終了する
- ### すべてのファクスを印刷する
- みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとまとめて印刷できます。
- 1  を押す
 - 2 【受信ファクス】を押す
受信ファクスの一覧が表示されます。
 - 3 【印刷 / 消去】を押す
 - 4 【全て印刷（新着ファクス）】または【全て印刷（既読ファクス）】を押す
【全て印刷（新着ファクス）】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。
 - 5  を押して操作を終了する

不要なファクスのみを消去する

- 1 消去したいファクスが画面に表示された状態で、を押す

【全てのページを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 2 【はい】を押す

ファクスのデータが消去されます。

- 3 を押して操作を終了する

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて消去できます。

- 1 を押す

- 2 【受信ファクス】を押す

受信ファクスの一覧が表示されます。

- 3 【印刷 / 消去】を押す

- 4 【全て消去（新着ファクス）】または【全て消去（既読ファクス）】を押す

【全て消去（新着ファクス）】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 5 【はい】を押す

表示されているファクス一覧のデータがすべて消去されます。

- 6 を押して操作を終了する

ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）

【みるだけ受信】

【みるだけ受信】を【しない（受信したら印刷）】に設定すると、みるだけ受信が解除され、以降受信するファクスは自動的に印刷されます。

お願い

- みるだけ受信を解除すると、メモリーに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたいデータがある場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、すべてのファクスデータを印刷しておくこともできます。
⇒ 94 ページ「必要なファクスのみを印刷する」
⇒ 94 ページ「すべてのファクスを印刷する」

1 【メニュー】を押す

2 【みるだけ受信】（1）を押す

ボタンには現在の状態が表示されています。



3 【しない（受信したら印刷）】を押す

【みるだけ受信をしないにすると今後受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。
【いいえ】を押すと、みるだけ受信の解除をキャンセルします。

4 【はい】を押す

【メモリ受信】を設定している場合またはメモリー内にファクスデータがない場合：操作は終了です。⇒手順 7 へ

5 【全て消去】または【全て印刷してから消去】を押す

【全て消去】を押すと、【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。⇒手順 6 へ

【全て印刷してから消去】を押すと、受信ファクスが印刷され、メモリーから消去されます。みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると自動的に印刷します。ここで操作は終了です。

6 【はい】を押す

みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると本製品で自動的に印刷します。

7 を押して設定を終了する

受信したファクスが印刷できないときは（メモリー代行受信）

【みるだけ受信】を【しない（受信したら印刷）】にして、受信ファクスを印刷するように設定していても、以下の場合は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。

- 用紙がなくなったとき
- インクがなくなったとき
- 用紙が詰まったとき
- 間違ったサイズ of 用紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。

※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

※メモリー代行受信できるのは約 400 枚です。

ファクスの便利な受けかた

電話に出ると自動的に受ける（親切受信）

【親切受信】

本製品と接続している電話機で電話に出たときにファクスであれば、受話器を持ったまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信できます。本製品を手動で操作する必要がないため、離れた場所で電話に出たときなどに便利です。

親切受信を設定する

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【親切受信】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 【する】を押す
- 4 を押して設定を終了する

親切受信でファクスを受ける

- 1 着信音が鳴ったら、電話に出る
ファクスであれば、「ポーポー」と音が聞こえます。
- 2 そのまま 7 秒待つ
約 7 秒後に、自動的にファクスを受信します。
- 3 画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

お願い

■ 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、親切受信の設定を【しない】にしてください。相手側から発せられる音や外部からの雑音が、ファクス信号音と似ているために起きる現象です。頻繁に起きる場合は、【しない】にすることをお勧めします。

-  ファクスの受信が始まったら受話器を置いてください。
-  本製品にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポーポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、手動で受信してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話に出てから受ける」
-  回線の状態により、「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しない場合があります。このようなときは、手動で受信してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話に出てから受ける」
-  親切受信は、電話に出たあと、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、電話に出たまま手動で受信してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話に出てから受ける」

自動的に縮小して受ける

【自動縮小】

用紙トレイにセットしてある用紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信します。

 自動縮小を【する】に設定しても、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、複数枚の用紙に分割して印刷されます。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【自動縮小】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【する】または【しない】を押す

- 【する】：
自動縮小受信します。用紙トレイにセットしてある用紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されます。
- 【しない】：
自動縮小受信しません。用紙トレイにセットしてある用紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

4 を押して設定を終了する

本製品の操作で相手の原稿を受ける

【ポーリング受信】

本製品から操作して、相手側のファクス機にセットされた原稿を受けます。これを「ポーリング受信」といいます。

ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。ポーリング受信をする時刻を指定したり、パスワードが設定されている「機密ポーリング受信」も行えます。

- ☞ 相手側のファクス機にポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ☞ 機密ポーリング受信は、相手側のファクス機もブラザー製の場合のみ行えます。
- ☞ ポーリング受信のときは、モノクロで受信されます。(カラーでの受信はできません。)
- ☞ ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。
- ☞ 相手側のファクス機がポーリング送信の準備をしていないときは、受信できません。

ポーリング受信をする

1 を押す

みただけ受信をしている場合は、手順①のあとで、【ファクス送信】を押してください。

2 【設定変更】を押す

3 【ポーリング受信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

4 設定を選ぶ

- 【標準】：
通常のポーリング受信を行う場合に選びます。⇒手順⑥へ
- 【機密】：
パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
ポーリング受信を行いません。

5 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで4桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

【タイマー】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、【OK】を押す

時刻は24時間制で入力します。

午後3時5分の場合は、「1505」と入力します。

6 相手先のファクス番号を入力する

7 【スタート】を押す

- ☞ 本製品では、各種のファクス情報サービスを利用できます。ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声聞こえるもの）とポーリング方式（ピーと音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。
- ☞ ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前に【*】を入力してください。
- ☞ タイマーポーリング受信をやめるときは、
 【メニュー】、【全てのメニュー】、【ファクス】、【通信待ち一覧】を押し、受信しないファクスを選び、【停止】を押します。
⇒ 107 ページ「送信待ちファクスを確認・中止する」

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
メモ

ファクス

電話帳

転送・機能
リモコン機能

こんなときは

付録

複数の相手先からポーリング受信をする

複数の相手先からポーリング受信をすることを「順次ポーリング」といいます。

順次ポーリングでは、1回の操作で、複数の相手先のファクス機にセットされた原稿を受けることができます。

1 を押す

みただけ受信をしている場合は、手順①のあとで、【ファクス送信】を押してください。

2 【設定変更】を押す

3 【同報送信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

4 【番号追加】を押す

5 番号の入力方法を選ぶ

【番号追加 / 電話帳から選択 / 検索して選択】から選びます。

【番号追加】を選んだ場合

6 相手先のファクス番号を入力して、【OK】を押す

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順④へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑦へ

【電話帳から選択】を選んだ場合

6 リストから相手先を選んでチェックマークを付けて、【OK】を押す

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順④へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑦へ

【検索して選択】を選んだ場合

6 電話帳に登録した名前の読みがな（先頭数文字で可）を入力して【OK】を押し、表示されたリストから相手先を選び、送信するファクス番号を選ぶ

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順④へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑦へ

7 送信する相手先を確認し、【OK】を押す

8 【設定変更】を押す

9 【ポーリング受信】を押す

10 設定を選ぶ

- 【標準】：
通常のポーリング受信を行う場合に選びます。⇒手順⑫へ
- 【機密】：
パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
ポーリング受信を行いません。

11 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで4桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

【タイマー】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、【OK】を押す

時刻は24時間制で入力します。

午後3時5分の場合は、「1505」と入力します。

12 【スタート】を押す

すべての相手先からの受信が終わると、自動的に「順次ポーリングレポート」が印刷されます。

順次ポーリング受信をやめるときは

1 ダイアル中にを押す

【順次ポーリングをキャンセルします 現在のあて先か全ての送信先かを選択してください／ XXX（現在の番号または電話帳に登録してある名前）／全ての順次ポーリング】と表示されます。

2 目的のボタンを押す

現在送信中のジョブを中止する場合は、番号（または名前）が表示されているボタンを押します。

※中止をやめる場合は、を押します。

3 【はい】を押す

- すべての順次ポーリングを中止した場合は、順次ポーリングレポートを印刷したあと、待ち受け画面に戻ります。
- 送信中のジョブを中止した場合は、次の番号のダイヤルが始まり、画面に番号（または名前）が表示されます。

※中止をやめる場合は、【いいえ】を押します。

4 続けて中止する場合は ① ～ ③ を繰り返す

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

本製品と接続している電話機の操作でファクスを受信する

【リモート受信】

親切受信の設定が【しない】の場合や、親切受信がうまくはたらかない場合は、本製品と接続している電話機から本製品を操作してファクスを受信できます。これを「リモート受信」といいます。

リモート受信を設定する

リモート受信を使用するときは、リモート受信設定を【する】にします。また、リモート起動番号を変更することもできます。

- 1  【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【リモート受信】、【リモート受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

- 3 【する】を押す

リモート起動番号が表示されます。

 リモート起動番号とは、本製品の外付け電話端子に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用する番号です。

 リモート起動番号を変更するときは、【起動番号】を押して、1桁目は「#」のままで、下2桁の数字部分を変更してください。3桁すべてを数字に変更すると、本製品と接続している電話機から特定の相手に電話がかけられなくなります。

- 4  を押して設定を終了する

リモート受信の操作

- 1 着信音が鳴ったら本製品と接続している電話機の受話器をとる
- 2 本製品と接続している電話機の受話器を持ったまま、「#」「5」「1」を押す
「#51」は、リモート起動番号です。
- 3 画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

ファクスの受信が始まります。

お願い

■ ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定されている環境でリモート受信を行うときは、電話機のトーンボタンを押して、トーン（プッシュ）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。

ファクスをメモリーで受信する

【メモリ受信】

メモリー受信を設定すると、受信したファクスを本製品のメモリーに保存したり別のファクスやパソコンなどに転送することができます。

メモリー受信には次の設定があり、1つのみ選ぶことができます。2つ以上の項目は同時に設定できません。

- ファクス転送⇒ 104 ページ「ファクスを転送する」
- 電話呼び出し⇒ 121 ページ「ファクスが届いたことを電話で知らせる」
- メモリ保持のみ⇒ 103 ページ「ファクスをメモリーで受信する」
- PC ファクス受信⇒ 105 ページ「受信したファクスをパソコンに送る（Windows® のみ）」
- ファクス クラウド転送
⇒詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。）
- オフ⇒ 106 ページ「メモリー受信をやめる」

ファクスをメモリーで受信する

受信したファクスデータを本製品のメモリーに保存するとともに、自動的に印刷されます。

 【メモリ受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。

 保存されたファクスデータは画面で確認できます。ただし、みるだけ受信が設定されていないときは、一時的にみるだけ受信に変更する必要があります。

1  【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【メモリ保持のみ】を押す

4  を押して設定を終了する

 メモリー受信は最大 400 枚まで受信できます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。

メモリー受信したファクスを印刷する

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1  【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【ファクス出力】を順に押す

3 【OK】を押す

メモリーに蓄積されていたファクスメッセージが印刷されます。
印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

4  を押して設定を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

ファクスを転送する

受信したファクスを別のファクス機に転送することができます。

ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

-  【ファクス転送】の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
-  【ファクス転送】を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
-  「みるだけ受信」と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。
【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【ファクス転送】を押す

4 画面に表示されているテンキーで転送先のファクス番号を入力し、【OK】を押す

-  すでに転送先のファクス番号が登録されているときは、登録済みのファクス番号が表示されます。

転送先を変更する場合は  を押して登録済みの番号を消去してから、入力し直します。

- みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定している場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順 6 へ
- みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 5 へ

5 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

6 を押して設定を終了する

受信したファクスをパソコンに送る (Windows® のみ)

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

 カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【PC ファクス受信】を押す

4 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

5 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選び、【OK】を押す

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。

ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

 このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

- みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定している場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順 7 へ
- みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 6 へ

6 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

7 を押して設定を終了する

 手順 6 で【本体でも印刷する】を設定しておくと、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

メモリー受信の設定を変更する

メモリー受信の設定を変更する場合、印刷や転送状況に応じて、異なるメッセージが表示されます。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリー受信】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 変更する設定を選ぶ

【オフ/ファクス転送/電話呼び出し/メモリー保持のみ/PCファクス受信/ファクスクラウド転送】から選びます。

受信ファクスの印刷や転送状況により、異なるメッセージが表示されます。

(A) 受信したファクスがすべて印刷されている場合

【ファクスを消去しますか？/はい/いいえ】と表示されます。

- 【はい】を押すと、メモリーからすべてのファクスメッセージが消去され、メモリー受信の設定が変更されます。
- 【いいえ】を押すと、設定は変更されません。

(B) メモリー内に印刷されていないファクスがある場合

【全てのファクスをプリントしますか？/はい/いいえ】と表示されます。

- 【はい】を押すと、メモリー内のすべてのファクスメッセージが印刷後消去され、メモリー受信の設定が変更されます。
- 【いいえ】を押すと、設定は変更されません。

(C) 未転送のファクスがある場合

メモリー受信の設定を【PCファクス受信】に変更した場合に、未転送のファクスがあるときは、【<USB>】またはネットワークに接続されているパソコン名を選び、【OK】を押します。

メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスをPCに転送しますか？/はい/いいえ】と表示されます。

- 【はい】を押した場合、メモリーに保存されたファクスは、変更前のパソコンに転送されます。
- 【いいえ】を押した場合、設定は変更されません。

4 を押して設定を終了する

メモリー受信をやめる

いったん設定したメモリー受信をやめ、通常のファクス受信方法に戻す場合は、次の手順で行います。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリー受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

みるだけ受信の設定により、以下のメッセージが表示されることがあります。

- 【ファクス転送】、【PCファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定しているときに、未転送のファクスがある場合：【全てのファクスをプリントしますか？/はい/いいえ】と表示されます。
- 上記以外の設定にしている場合：【ファクスを消去しますか？/はい/いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

メモリーからすべてのファクスメッセージが消去（または印刷後消去）されます。メモリー受信の設定が解除されます。

5 を押して設定を終了する

通信状態を確かめる

通信管理

送信待ちファクスを確認・中止する

【通信待ち一覧】

ファクスを送りたい相手が通信中などの場合、本製品は通信待機します。待機しているこれらの通信を確認したり、確認後、送信を中止したりできます。

1  **【メニュー】** を押す

2 **【全てのメニュー】、【ファクス】、【通信待ち一覧】** を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

保留されている通信の一覧が表示されます。

- ・ 確認を終了するとき⇒手順 **5** へ
- ・ 送信をやめたいとき⇒手順 **3** へ

3 **送信をやめるファクスを選び、【停止】** を押す

【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 **【はい】** を押す

送信が中止されます。

5  を押して設定を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

通信管理レポートを印刷する

【通信管理レポート】

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。通信管理レポートは、モノクロで印刷されます。

 A4 より小さなサイズの用紙は使用できません。

通信記録をすぐに確認したいとき

定期的に印刷されるのを待たずに、通信記録がすぐに見たいときは次の方法で印刷してください。

- 1 用紙を用紙トレイにセットする
⇒ 12 ページ「用紙トレイにセットする」
- 2  【メニュー】を押す
- 3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【通信管理レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

- 4 【OK】を押す

通信管理レポートが印刷されます。この方法で印刷しても本製品のメモリーから通信記録は消去されません。

- 5 印刷が終了したら、 を押す

出力間隔を変更する

- 1  【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【レポート設定】、【通信管理レポート】、【通信管理レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

- 3 印刷間隔を選ぶ
【レポート出力しない / 50 件ごと / 6 時間ごと / 12 時間ごと / 24 時間ごと / 2 日ごと / 7 日ごと】から選びます。

A) 【レポート出力しない / 50 件ごと】を選んだ場合

- (1)  を押して設定を終了する

B) 【6 時間ごと / 12 時間ごと / 24 時間ごと / 2 日ごと】を選んだ場合

- (1) 【印刷時刻指定】を押して、時間を 24 時間制で入力し、【OK】を押す
- (2)  を押して設定を終了する

C) 【7 日ごと】を選んだ場合

- (1) 【印刷時刻指定】を押して、時間を 24 時間制で入力し、【OK】を押す
- (2) 【曜日指定】を押して、曜日を選ぶ
- (3)  を押して設定を終了する

 通信記録は、印刷されると本製品のメモリーから消去されます。

送信結果レポートを印刷する

【送信結果レポート】

送信結果を印刷します。送信結果レポートは、モノクロで印刷されます。

 A4 より小さなサイズの下紙は使用できません。

すぐに印刷する

- 1 用紙を用紙トレイにセットする
⇒ 12 ページ「用紙トレイにセットする」
- 2  【メニュー】を押す
- 3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【送信結果レポート】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 4 【OK】を押す
- 5 印刷が終了したら、 を押す

印刷するタイミングと内容を設定する

- 1  【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【レポート設定】、【送信結果レポート】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 設定を選ぶ
 - 【オン】：
ファクス送信後に、毎回送信結果レポートを印刷します。
 - 【オン+イメージ】：
ファクス送信後に、毎回送信結果レポートと1ページ目の画像を印刷します。
 - 【オフ】：
A3、B4 サイズの原稿を送信した際に相手側のファクス機の機能に合わせてサイズが縮小されたとき、または送信エラーのときに送信結果レポートを印刷します。
 - 【オフ+イメージ】：
A3、B4 サイズの原稿を送信した際に相手側のファクス機の機能に合わせてサイズが縮小されたとき、または送信エラーがあるときに送信結果レポートと送信したファクスの1ページ目を印刷します。
 - 【オフ2】：
送信エラーがあるときだけ、送信結果レポートを印刷します。
 - 【オフ2+イメージ】：
送信エラーがあるときだけ、送信結果レポートと送信したファクスの1ページ目を印刷します。

 カラーで送信した場合や【リアルタイム送信】した場合には、送信結果レポートに画像は印刷されません。

- 4  を押して設定を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

着信履歴リストを印刷する

【着信履歴リスト】

着信履歴を印刷します。着信履歴リストは、モノクロで印刷されます。

 A4 より小さなサイズの下紙は使用できません。

- 1 用紙を用紙トレイにセットする
⇒ 12 ページ「用紙トレイにセットする」
- 2  【メニュー】を押す
- 3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【着信履歴リスト】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 4 【OK】を押す
- 5 印刷が終了したら、 を押す

第 6 章

電話帳

電話帳を利用する	112
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	112
発信履歴や着信履歴を削除する	113
電話帳の内容を変更する	114
電話帳の内容を削除する	114
こんなときは～電話番号に登録するとき～	114
グループダイヤルに登録する	115
グループダイヤルに登録されている相手先を 変更する	116
グループダイヤルを削除する	116
パソコンを使って電話帳に登録する	116

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

電話帳を利用する

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示される発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。

- 📞 ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
- 📞 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。
- 📞 記録できる件数は、発信履歴、着信履歴とも最新の 30 件です。

- 1  を押す
- 2 【履歴】を押す
- 3 【発信履歴】または【着信履歴】を押す
- 4 電話帳に登録したい番号を選ぶ
- 5 【設定】を押す
- 6 【電話帳に登録】を押す
- 7 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、【OK】を押す



名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 134 ページ「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)

- 8 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認する

読みがなは、電話帳検索に使われます。



- 読みがなを編集する場合⇒手順 9 へ
- 読みがなを編集しない場合⇒手順 10 へ

- 9 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで編集して、【OK】を押す
- 10 【宛先 1】に番号が入力されていることを確認する

変更したい場合は、【宛先 1】を押し、番号を変更して【OK】を押します。
必要に応じてこの相手先の 2 つ目の番号も登録できます。【宛先 2】を押して番号を入力し、【OK】を押します。

- 11 【OK】を押す
- 12  を押して登録を終了する

発信履歴や着信履歴を削除する

- 1  を押す
- 2 【履歴】 を押す
- 3 【発信履歴】 または 【着信履歴】 を押す
- 4 削除する相手先を選ぶ
- 5 【設定】 を押す
- 6 【消去】 を押す

【消去しますか？／はい／いいえ】 と表示されます。
- 7 【はい】 を押す

選んだ番号が消去されます。
- 8  を押して操作を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

電話帳の内容を変更する

[電話帳]

- 1  を押す
- 2 【電話帳】、【設定】、【変更】を順に押す
- 3 変更したい相手先を選ぶ
- 4 変更したい項目を選ぶ
- 5 名前や電話番号を入力し直し、【OK】を押す
- 6 複数の項目を変更する場合は、手順 4、5 を繰り返す
- 7 【OK】を押す
- 8  を押して操作を終了する

変更した内容が反映されます。

電話帳の内容を削除する

- 1  を押す
- 2 【電話帳】、【設定】、【消去】を順に押す
- 3 消去したい相手先を選んでチェックマークを付け、【OK】を押す
- 4 【はい】を押す
- 5  を押して操作を終了する

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

選んだ番号が削除されます。

こんなときは～電話番号を登録するとき～

- (A) 「186」または「184」を付ける場合
同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。
例)
○ 186 XXX XXX XXXX
(市外局番) (市内局番) (相手先番号)
× 186 XXX XXXX
(市内局番) (相手先番号)
- (B) 構内交換機 (PBX) で “0” 発信の場合
“0” のあとにポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入れてください。
- (C) 国際電話の場合
国番号のあとにポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入れてください。
• 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
010+ 国番号 + ポーズ + 市外局番 + 電話番号
• 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合
(国際電話サービス会社指定の番号) +010+ 国番号 + ポーズ + 市外局番 + 電話番号
※入力したポーズは「p」と表示されます。

グループダイヤルを登録する

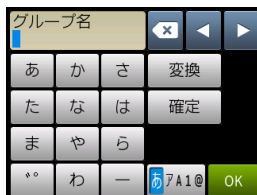
【グループ登録】

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。このグループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ 78 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するとき 사용합니다。グループは、6 つまで登録できます。グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録できません。

お願い

- グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
- 電話帳にファクス番号を間違えて登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、正しい番号であるかどうかをよく確認してください。

- 1  を押す
- 2 【電話帳】、【設定】、【グループ登録】を順に押す
- 3 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示するグループ名を入力し、【OK】を押す



名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 134 ページ「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。（最大 16 文字）

- 4 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認する

読みがなは、電話帳検索に使われます。



- 読みがなを編集する場合⇒手順 5 へ
- 読みがなを編集しない場合⇒手順 6 へ

- 5 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで編集して、【OK】を押す
- 6 【追加/消去】を押して、グループに登録する相手先を選んでチェックマークを付ける
- 7 登録する番号をすべて選び終わったら、【OK】を押す
- 8 登録内容を確認し、【OK】を押す
- 9  を押して登録を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

グループダイヤルに登録されている相手先を変更する

- 1  を押す
- 2 【電話帳】、【設定】、【変更】を順に押す
- 3 登録内容を変更したいグループを選ぶ
- 4 【追加／消去】を押す
キーが表示されていないときは、▲／▼を押して画面を送ります。
- 5 追加または削除する相手先を選び、【OK】を押す
追加したい相手を押してチェックマークを付けます。
グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。
- 6 変更内容を確認し、【OK】を押す
変更内容が反映されます。
- 7  を押して操作を終了する

グループダイヤルを削除する

- 1  を押す
- 2 【電話帳】、【設定】、【消去】を順に押す
- 3 削除するグループダイヤルを選んでチェックマークを付け、【OK】を押す
【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。
- 4 【はい】を押す
- 5  を押して操作を終了する

パソコンを使って電話帳に登録する

【リモートセットアップ】

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録／編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。

「リモートセットアップ」の使用方法について詳しくは、ユーザズガイド パソコン活用編をご覧ください。

第 7 章

転送・リモコン機能

外出先から本製品を操作する	118
暗証番号を設定する	118
暗証番号をリセットするときは	118
外出先から本製品を操作する	119
外出先からの操作	119
リモコンコード	120
外出先に転送する	121
ファクスが届いたことを電話で知らせる	121
電話呼び出しをやめる	121

外出先から本製品を操作する

外出先から本製品を操作できます。
電話回線のトーン信号を使って「リモコンコード」を入力し、本製品を操作します。

暗証番号を設定する

【暗証番号】

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3桁の数字または記号と*）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

お願い

- 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

- 1  【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【暗証番号】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 画面に表示されているテンキーで暗証番号を入力し、【OK】を押す
[0] ～ [9]、[*]、[#] で、頭の3桁を設定します。4桁目は強制的に「*」が付きます。
暗証番号「123 *」の場合は、[1]、[2]、[3] と押し、【OK】を押します。

-  暗証番号の4桁目の「*」は変更できません。
-  いったん設定した暗証番号を変えるときは、手順 ③ で、以前の番号に上書きします。

- 4  を押して設定を終了する

暗証番号をリセットするときは

- 1  【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【暗証番号】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3  を長押しする
- 4 【OK】を押す
暗証番号が設定されていないお買い上げ時の状態に戻ります。
- 5  を押す

外出先から本製品を操作する

お願い

- リモコンアクセスをするときは、暗証番号の入力が必要です。あらかじめ暗証番号を設定してください。
⇒ 118 ページ「暗証番号を設定する」
- ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

- ☞ 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティー装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
- ☞ 携帯電話の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

外出先からの操作

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。

1 外出先から本製品に電話する

プッシュ回線に接続されている電話機やファクス機、またはトーン信号が送出できる電話機やファクス機からダイヤルします。

2 本製品が応答し、無音状態になったら、暗証番号（末尾*を含む4桁）を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポー」：
ファクスメッセージが記憶されています。
- 無音：
ファクスメッセージが記憶されていません。
その後、「ピピッ」と鳴ったら、手順 ③に進みます。

3 リモコンコードを入力する

⇒ 120 ページ「リモコンコード」

例) 外付け留守電モードに変更する場合は「9」「8」「1」を押します。

4 終了するときは「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が1回聞こえます。
正しく受け付けられなかったときは、「ピピッ」という音が聞こえます。操作をやり直してください。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリンター

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

《第 7 章 転送・リモコン機能》

リモコンコード

コード	操作内容	
設定		
951	【メモリ受信】を【オフ】にする。(電話呼び出しやファクス転送の設定も解除されます。) ※受信データがメモリーに残っている場合は、メモリー受信を【オフ】にすることはできません。	
952	ファクス転送を設定する。(転送先のファクス番号が登録されていないときは設定できません。)	
954	ファクス転送先を設定する。	「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を 2 回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に【ファクス転送】になります。
956	【メモリ受信】を有効にする。(【メモリ保持のみ】となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になります。)	
メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す。	「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を 2 回押して受話器を置く。
971	ファクスが記憶されているかを確認する。	記憶されているとき：「ピー」という音がする。 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする。
受信モード変更		
981	外付け留守電モードにする。	
982	自動切換えモードにする。	
983	ファクス専用モードにする。	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する。	

-  外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、【メモリ受信】を【メモリ保持のみ】に設定する必要があります。
⇒ 103 ページ「ファクスをメモリーで受信する」
-  リモコンアクセス機能を使用する場合には、暗証番号の入力が必要です。受信モードによって、暗証番号を入力するタイミングが異なります。
⇒ ユーザーズガイド 基本編「受信モード / 着信回数の設定」
- ファクス専用モードの場合
応答後、約 4 秒間無音になるとき、またはファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態のときに暗証番号を入力します。
 - 自動切換えモードの場合
応答後、約 4 秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。
 - 外付け留守電モードの場合
本製品と接続している留守番電話が応答後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに暗証番号を入力します。
- ※本製品と接続している留守番電話に応答メッセージを録音する際に、あらかじめ 4 ～ 5 秒無音状態を入れておいてください。

外出先に転送する

ファクスが届いたことを電話で知らせる

【電話呼び出し】

ファクスを受信すると、登録した電話番号に電話をかけてファクスが届いたことを知らせます。
そのあと、外出先のファクス機からリモコンアクセス機能を利用して、ファクスを取り出すことができます。
⇒ 119 ページ「外出先からの操作」

- ☞ 電話呼び出し先として設定した電話が通話中の場合は、呼び出しされません。
- ☞ 通信管理レポートや発信履歴に呼び出しの履歴は残りません。
- ☞ 呼び出し先の電話番号は、外出先から変更できません。
- ☞ 【電話呼び出し】を設定しても、本製品がカラーファクスを受信すると、呼び出し動作を行いません。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、 【受信設定】、【メモリ受信】を順に 押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【電話呼び出し】を押す

☞ すでに呼び出し先の電話番号が登録されている場合は、登録済みの電話番号が表示されます。

電話番号を変更する場合は  を押して
いったん消去し、入力し直します。

⇒ 手順 4 へ

変更しない場合は【OK】を押します。

⇒ 手順 5 へ

4 画面に表示されているテンキーで呼 び出し先の電話番号を入力し、 【OK】を押す

5 を押して設定を終了する

電話呼び出しをやめる

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、 【受信設定】、【メモリ受信】を順に 押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

4 を押して設定を終了する

電話呼び出しが解除されます。

Memo

第 8 章

こんなときは

本章では、主に日常のお手入れについて説明しています。本製品の使いかた、機能の設定 / 解除方法については、⇒ 136 ページ「機能一覧」でご確認いただき、目的に応じたページまたはマニュアルをお読みください。

日常のお手入れ

本製品が汚れたら	124
タッチパネルを清掃する	124
本製品の外側を清掃する	124
排紙ローラーを清掃する	125
本体内部を清掃する	126
インクがなくなったときは	128
インクカートリッジを交換する	129
インクカートリッジを捨てるときは	130
インク残量を確認する	130
印刷品質が良くないときは	131
定期メンテナンスについて	131
プリントヘッドをクリーニングする	131
用紙送り量を補正する	131

困ったときは

こんなときは	132
本製品の設定内容や機能を確認する	132

本製品が汚れたら

日常のお手入れ

本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

タッチパネルを清掃する

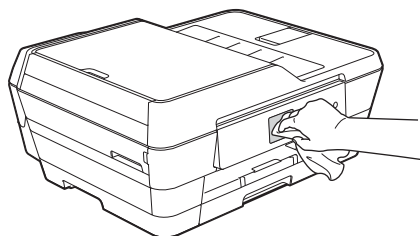
重要

- 液体の洗浄剤は使用しないでください。タッチパネルの故障の原因となります。

お願い

- タッチパネルを清掃するときは、誤作動を避けるため本製品の電源をオフにしてください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽く拭いてください。

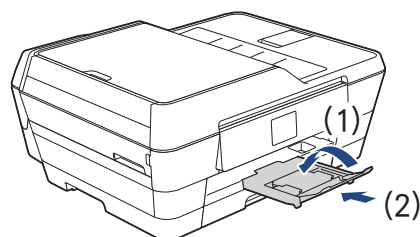


本製品の外側を清掃する

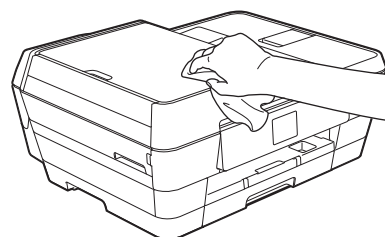
警告

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。火災や感電の原因になるおそれがあります。

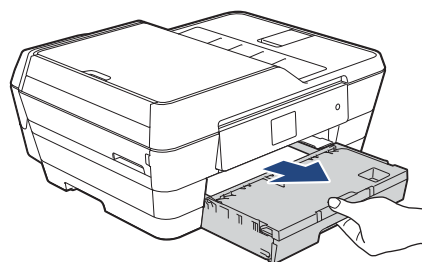
- 1 用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納する (2)



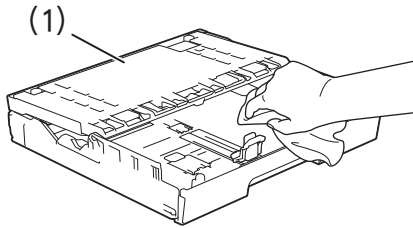
- 2 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で本体を軽く拭く



- 3 用紙トレイを引き出す



- 4** トレイカバー (1) を開けて用紙トレイから用紙を取り除き、用紙トレイの内側、外側を軽く拭く



- 5** トレイカバーを閉じて、用紙トレイを元に戻す

用紙トレイをゆっくりと確実に本体に戻します。

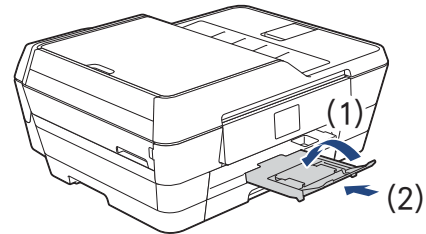
トレイを勢いよく押し込むと、紙づまりの原因になります。

排紙ローラーを清掃する

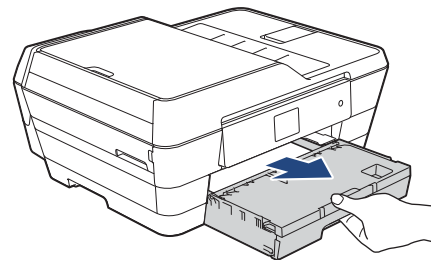
排紙ローラーが汚れていると、用紙が排出されなかったり、自動両面印刷ができなくなったりします。

-  排紙ローラーを拭いたあとは、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

- 1** 電源プラグをコンセントから抜く
- 2** 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る
- 3** 用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納する (2)



- 4** 用紙トレイを引き出す



はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

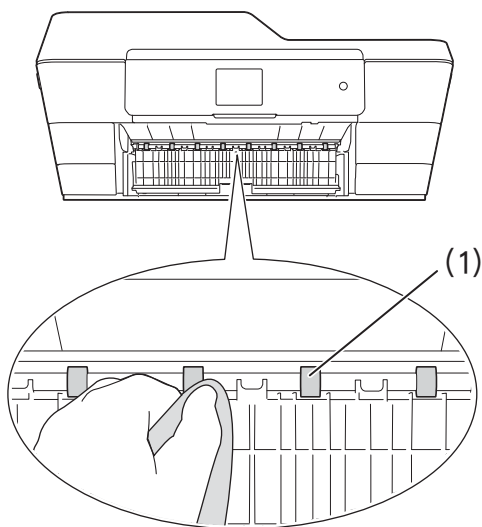
電話帳

転送・
リモコン機能

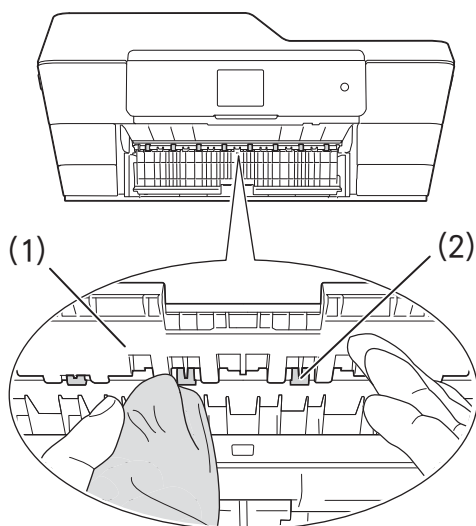
こんなときは

付録

5 排紙ローラー (1) を拭く



6 フラップ (1) を手前に持ち上げて
排紙ローラー (2) の裏側を拭く



7 用紙トレイをゆっくりと確実に本体
に戻す

8 電源プラグをコンセントに差し込む

本体内部を清掃する

用紙のうら面が汚れる場合は、本製品内部で用紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れていることが考えられます。

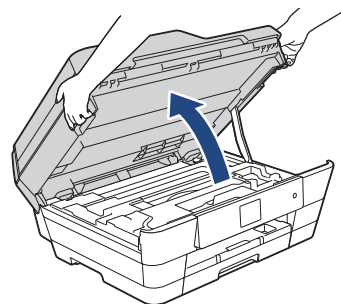
！ 警告

- 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 両手で本体カバーを開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。

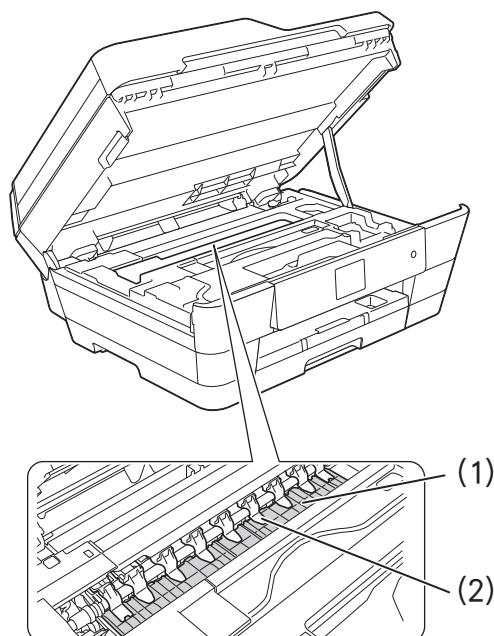


3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテン (1) を軽く拭く

インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でいねいに拭き取ってください。

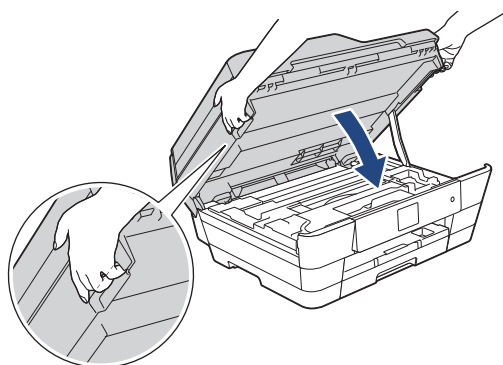
重要

■ ツメ (2) (9箇所) を触らないでください。本製品が損傷する恐れがあります。



4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉める

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。



5 電源プラグをコンセントに差し込む

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。

インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

• インクの残りが少なくなったとき：【まもなくインク切れ】

• インクがなくなったとき：【印刷できません インク交換】

 【モノクロ片面印刷のみ可能】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。

- パソコンから印刷をする場合は、印刷設定時、用紙種類を [普通紙]、カラーを [モノクロ] に設定する必要があります。
- コピーの場合は用紙タイプが【普通紙】に、ファックスの場合は用紙タイプが【普通紙】または【インクジェット紙】に設定されている必要があります。

 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません インク交換】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

！ 注意

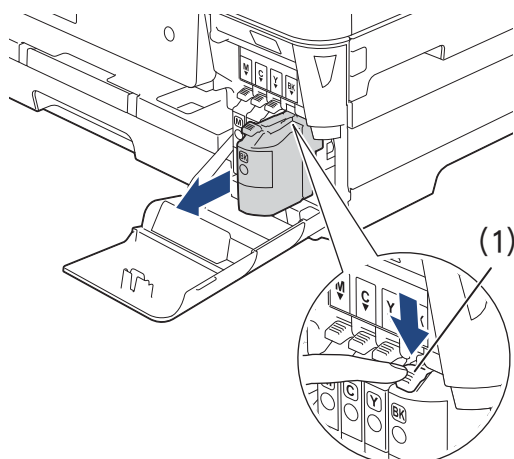
- 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

重要

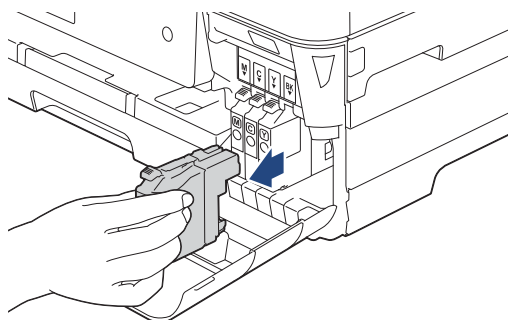
- インクカートリッジの取り付け、取り外しを繰り返さないでください。インクカートリッジからインクが漏れることがあります。
- 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
- インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる恐れがあります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

1 インクカバーを開く

2 なくなった色のリリースレバー (1) を押し下げる

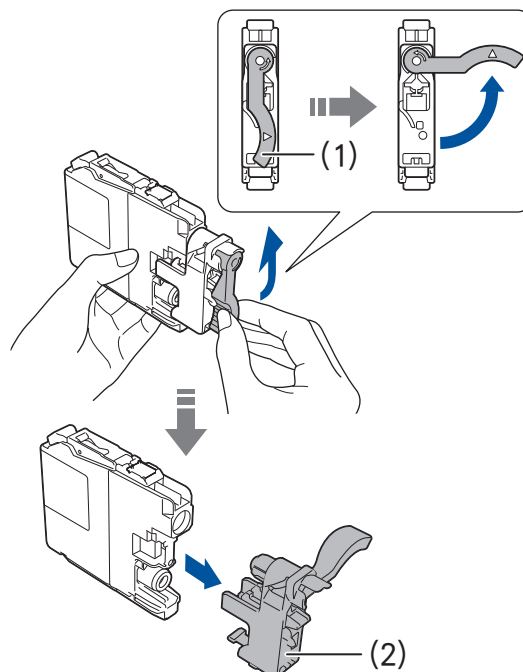


3 インクカートリッジを取り出す



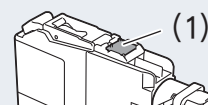
4 新しいインクカートリッジを準備する

緑色の取っ手 (1) を図のように回して封印を開放し、オレンジ色の保護カバー (2) を引き抜きます。



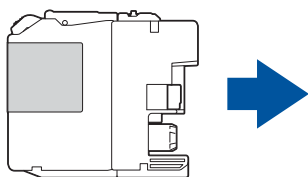
重要

- インクカートリッジの基板 (1) に触れないでください。本製品がインクカートリッジを検知できなくなる恐れがあります。

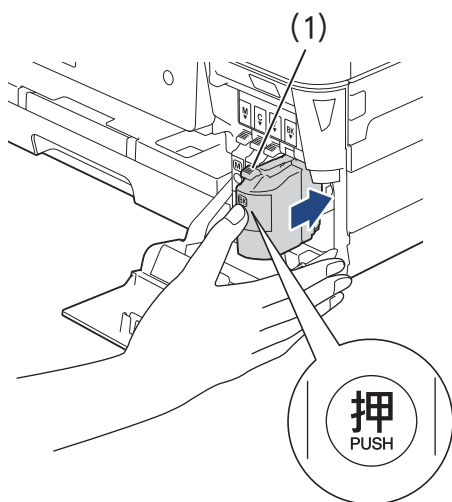


5 新しいインクカートリッジを取り付ける

インクカートリッジのラベルに、挿入方向を示す矢印とインク色が印刷されています。



リリースレバー (1) が上がるまで、「押」の部分を押込みます。



6 インクカバーを閉じる

インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか／(交換したインク色)／はい／いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

7 【はい】を押す

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。(インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。)

また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。

⇒ユーザーズガイド 基本編「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

インク残量を確認する

【インク残量】

以下の手順でインク残量を確認できます。

1 待ち受け画面の (1) を押す



(1)

ボタンには現在のインク残量の目安が表示されています。

2 【インク残量】を押す

インク残量が表示されます。

 インク残量が減ったり、インクカートリッジに問題がある場合は、次のようなアイコンが表示されます。

 (インク残量が少ない)

 (インクカートリッジが空)

 (インクカートリッジに問題がある)

3 を押して確認を終了する

印刷品質が良くないときは

白紙のまま印刷される、印刷がかすれる、薄い、印刷面に白い筋が入る、違う色になるなど、印刷品質が良くないときは、状況に応じて以下の操作を行ってください。

定期メンテナンスについて

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品は、自動で定期的にプリントヘッドをクリーニングします。目詰まりを防ぎ、長く快適にご利用ください。

プリントヘッドをクリーニングする

【ヘッドクリーニング】

印刷品質が良くないと感じたら、自動クリーニングを待たずに、下記の手順でプリントヘッドをクリーニングすることもできます。1回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを5回行っても問題が解決しない場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

 ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

- 1  を押す
- 2 【ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決】を押す
- 3 クリーニングする色を選ぶ
【ブラック／カラー／全色】から選びます。
- 4 【スタート】を押す

ヘッドクリーニングが開始されます。

用紙送り量を補正する

【用紙送り量の補正】

用紙送り量を補正し、印刷面に出る規則的な筋を減らすことができます。

- 1 用紙を用紙トレイにセットする
⇒ 12 ページ「用紙トレイにセットする」
- 2  を押す
- 3 【印刷品質のチェックと改善 - かすれ、スジ、ずれの改善】を押す
- 4 【用紙送り量の補正 - 周期スジの改善】を押す
- 5 【次へ】を押し、画面の指示に従って設定を行う
- 6 【スタート】を押す
「用紙送り量チェックシート」が印刷されます。
- 7 印刷されたチェックシートの (A) ～ (E) パターンで、最も筋が目立たない番号を選び、【OK】を押す

こんなときは

困ったときは

本製品の設定内容や機能を確認する

【レポート印刷】

1 用紙を用紙トレイにセットする

⇒ 12 ページ「用紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す

3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

4 印刷したいレポートを選ぶ

- 【送信結果レポート】：
⇒ 109 ページ「送信結果レポートを印刷する」
- 【電話帳リスト】：
電話帳に登録されている内容を印刷します。電話帳リストは、モノクロで印刷されます。
- 【通信管理レポート】：
⇒ 108 ページ「通信管理レポートを印刷する」
- 【設定内容リスト】：
本製品の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
本製品のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【無線 LAN レポート】：
無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。
- 【着信履歴リスト】：
⇒ 110 ページ「着信履歴リストを印刷する」

5 【OK】を押す

選んだレポートが印刷されます。

第 9 章

付録

文字の入力方法	134
入力画面例	134
ひらがな / カタカナの文字の割り当て	134
機能ボタンの使いかた	135
入力制限（入力できる文字の種類や文字数）	135
入力例	135
機能一覧	136
メニューボタン	136
全てのメニューボタン	137
インクボタン	144
Wi-Fi 設定ボタン	144
お気に入りボタン	144
ファクスボタン	145
コピーボタン	147
スキャンボタン	149
デジカメプリントボタン	151
クラウドボタン	153
便利な A3 コピーボタン	153
仕様	154
使用環境	160
用語解説	161
索引	163

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

文字の入力方法

発信元登録、電話帳の登録などでは、タッチパネルの画面に表示されるキーボードを使って文字を入力します。入力できる文字は、メニューによって異なります。

入力画面例

● ひらがな / 漢字入力画面



ひらがなキー ひらがな入力
(変換可能)

● カタカナ入力画面



カタカナキー カタカナ入力
(変換不可)

● アルファベット入力画面



大/小文字
切り替え アルファベット入力
アルファベットキー

● 数字入力画面



テンキー 数字入力

● 記号入力画面



記号キー 記号入力

ひらがな / カタカナの文字の割り当て

● ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【あ】	あいうえお あいうえお	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよやゆよ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん
【な】	なにぬねの	【ゝ 〃】	(濁点、半濁点)
【は】	はひふへほ	【ー】	ー

● カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ア】	アイウエオ アイウエオ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨヤユヨ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトッ	【ワ】	ワヲン
【ナ】	ナニヌネノ	【ゝ 〃】	(濁点、半濁点)
【ハ】	ハヒフヘホ	【ー】	ー

機能ボタンの使いかた

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
	文字を消去します。
	カーソルを左に戻します。
	カーソルを右に移動します。 同じボタンで続けて入力する場合には、  を押します。
【変換】	ひらがなを漢字に変換します。
【確定】	入力した文字を確定します。
	大文字と小文字を切り替えます。
【スペース】	スペースを挿入します。
【あア A1@】 【A1@】	入力できる文字の種類を切り替えます。 押すたびに カタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな、または、数字→記号→アルファベット の順で切り替わります。

 変換範囲を変更することはできません。

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○ ^{*1}	20
読み仮名	×	○	○	16
名前 ^{*2}	○	○	○	10

^{*1} 電話帳での電話番号入力時は、0～9、「*」、「#」、ポーズ（約3秒の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは【ポーズ】で入力します。入力したポーズは画面に「p」で表示されます。

発信元登録での電話番号入力時は0～9、「+」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。

^{*2} 発信元登録では、16文字まで入力できます。

 漢字はJIS第一水準および第二水準に対応しています。

入力例

例：タッチパネルを使って、「鈴木エリ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
【さ】を3回押す	す
 を1回押す	す
【さ】を3回押す	すす
【ゝ】を1回押す	すず
【か】を2回押す	すずき
【変換】を1回押す	スズキ すずき 鈴木 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
【あアA1@】を1回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
【ア】を4回押す	鈴木エ
【ラ】を2回押す	鈴木エリ

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

機能一覧

操作パネル上のボタンを押して設定できる内容や機能は次のとおりです。画面のメッセージに従って操作してください。

メニューボタン

待ち受け画面の  【メニュー】 を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
メンテナンス	印刷品質のチェックと改善 - かすれ、スジ、ずれの改善	印刷品質のチェックと改善 - かすれ、白スジの改善	⇒基本編
		罫線ずれの補正 - 罫線ずれ、文字ぶれ改善	⇒基本編
		用紙送り量の補正 - 周期スジの改善	インクボタン () 参照 ⇒144ページ
	ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色 インクボタン () 参照 ⇒144ページ
	詰まった紙片の除去 - 繰り返す紙詰まりの解決	詰まった紙片を取り除きます。	— ⇒基本編
	インク残量	インク残量を表示します。	— インクボタン () 参照 ⇒144ページ
Wi-Fi	TCP/IP	TCP/IP プロトコルの設定を行います。	— ⇒ネットワーク編
	接続アシスタント	付属の CD-ROM を使用して無線 LAN 設定を行います。	—
	無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	— ⇒かんたん設置ガイド
	WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	—
	WPS (PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティの設定を行います。	— ⇒ネットワーク編
	無線状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	—
	MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。	—
みるだけ受信	ファクスの受信方法を表示します。押すとみるだけ受信にする / しないを設定できます。	する (画面で確認) / しない (受信したら印刷)	⇒ 93 ページ
用紙タイプ (現在の用紙の種類を表示)	用紙トレイにセットした用紙の種類を設定します。また、その設定値が表示されます。	普通紙 ／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム	⇒基本編
用紙サイズ (現在の用紙のサイズを表示)	用紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。また、その設定値が表示されます。	A4 ／A3／B5／B4／A5／ハガキ／2L 判／L 判	⇒基本編

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
全てのメニュー	本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューを表示します。	—	⇒137ページ

全てのメニューボタン

待ち受け画面の  【メニュー】、【全てのメニュー】を押して表示される画面で、次の設定ができます。

● 基本設定

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
基本設定	メンテナンス	印刷品質のチェックと改善 - かすれ、スジ、ずれの改善	印刷テストを行います。	印刷品質のチェックと改善 - かすれ、白スジの改善 ⇒基本編
			罫線ずれの補正 - 罫線ずれ、文字ぶれ改善	⇒基本編
			用紙送り量の補正 - 周期スジの改善	インクボタン () 参照 ⇒144ページ
		ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色 インクボタン () 参照 ⇒144ページ
		詰まった紙片の除去 - 繰り返す紙詰まりの解決	詰まった紙片を取り除きます。	— ⇒基本編
	用紙	インク残量	インク残量を表示します。	— インクボタン () 参照 ⇒144ページ
		用紙タイプ	用紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。	普通紙 ／インクジェット紙／プラザ BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム メニューボタン参照 ⇒136ページ
		用紙サイズ	用紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。	A4 ／A3／B5／B4／A5／ハガキ／2L 判／L 判 メニューボタン参照 ⇒136ページ
		静音モード	印刷時に発生する音を軽減するかどうかを設定します。	オン／ オフ ⇒29 ページ
		音量	着信音量	切／小／ 中 ／大
			ボタン確認音量	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。 切／ 小 ／中／大 ⇒26 ページ
			スピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。 切／小／ 中 ／大
	画面の設定	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	明るく ／標準／暗く ⇒27 ページ
		照明ダウンタイマー	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	切／10 秒／20 秒／ 30 秒

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

《第9章 付録》

機能	設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
基本設定	キーボード設定 (英字入力)	キーボードの設定を行います。	QWERTY 入力 ／かなめくり入力	⇒ 27 ページ
	スリープモード	スリープ状態にするまでの時間を設定します。	1 分／ 2 分／ 3 分／ 5 分 ／ 10 分 ／ 30 分／ 60 分	⇒ 28 ページ
	パスワード 設定	セキュリティ機能ロックのパスワードを設定します。	－	⇒ 34 ページ
	セキュリティ機能ロック ⇒ オン	セキュリティ機能ロックのオン/オフを切り替えます。	－	

● お気に入り設定

機能	設定項目	機能説明	参照
お気に入り設定	(お気に入りボタンを選択)	お気に入り名の編集や消去をします。	⇒ 30 ページ
		お気に入り名の編集	
		消去	

● ファクス

機能	設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
ファクス	受信設定	受信モード	FAX= ファクス専用 ／ F/T= 自動切換え／留守=外付け留守電／TEL=電話	⇒ 基本編
		呼出ベル回数	0 ～ 10（初期設定は 4 ）	⇒ 基本編
		再呼出ベル回数	8 ／ 15／ 20	⇒ 基本編
		みるだけ受信	する（画面で確認）／ しない（受信したら印刷）	⇒ 93 ページ
		親切受信	する／ しない	⇒ 97 ページ
		リモート受信	する／ しない	⇒ 102 ページ
		自動縮小	する ／ しない	⇒ 98 ページ

ファクス

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照	
ファクス	受信設定	メモリ受信	ファクスのメモリー受信の内容を設定します。	オフ ／ファクス転送／電話呼び出し／メモリ保持のみ／PCファクス受信／ファクスクラウド転送 ※みただけ受信が設定されていない状態で、ファクス転送、PCファクス受信を選択した場合は、本体で印刷する／しないを設定します。	⇒103ページ ⇒121ページ	
		レポート設定	送信結果レポート	ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。	オン／オン＋イメージ／オフ／ オフ＋イメージ ／オフ2／オフ2＋イメージ	⇒109ページ
	通信管理レポート		通信管理レポートの出力間隔を設定します。	レポート出力しない／ 50件ごと ／6時間ごと／12時間ごと／24時間ごと／2日ごと／7日ごと	⇒108ページ	
				印刷時刻指定（初期設定は 00:00 ）		
				曜日指定		月曜日ごと ／火曜日ごと／水曜日ごと／木曜日ごと／金曜日ごと／土曜日ごと／日曜日ごと
	ファクス出力		みただけ受信をしていない場合にのみ、メモリーに記憶されているファクスデータをすべて印刷します。印刷後、データは消去されます。	－	⇒103ページ	
	暗証番号		外出先から本製品を操作するための暗証番号を設定します。	－ － － *	⇒118ページ	
	ダイヤル制限機能	直接入力	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。送る状況によって、別々の設定ができます。	2度入力／オン／ オフ	⇒91ページ	
		電話帳				
		お気に入り				
	通信待ち一覧		送信待ちデータなどの設定を確認したり送信をやめたりできます。	－	⇒107ページ	
	ナンバーディスプレイ		ナンバー・ディスプレイサービスを使用する/しないを設定します。	あり（本製品に表示）／あり（外付け電話に表示）／ なし	⇒基本編	
	データコネクタ設定	IPファクス	IPファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。	専用／優先／ オフ	⇒92ページ	
送信速度		IPファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。	自動 ／標準／高速／最高速			

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

《第 9 章 付録》

● ネットワーク

本製品をネットワーク環境で使用する場合は、ユーザズガイド ネットワーク編をご覧ください。

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定)
ネットワーク	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。 Auto / Static / RARP / BOOTP / DHCP
			IP アドレス	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			サブネット マスク	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			ノード名	BRNxxxxxxxxxxx (x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字)
			WINS 設定	Auto / Static
			WINS サーバー	—
			DNS サーバー	—
			APIPA	オン / オフ
			IPv6	オン / オフ
		イーサネット		Auto / 100B-FD / 100B-HD / 10B-FD / 10B-HD
		有線 LAN 状態		アクティブ 100B-FD / アク ティブ100B-HD / アクティブ 10B-FD / アクティブ10B-HD / 未接続 / 有線 LAN オフ
		MAC アドレス		—
	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	Auto / Static / RARP / BOOTP / DHCP
			IP アドレス	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			サブネット マスク	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			ノード名	BRWxxxxxxxxxxx (x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字)
			WINS 設定	Auto / Static
			WINS サーバー	—
			DNS サーバー	—
			APIPA	オン / オフ
			IPv6	オン / オフ
		接続アシスタント		—

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定)	
ネットワーク	無線 LAN	無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	－	
		WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	－	
		WPS (PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティの設定を行います。	－	
		無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	－
			電波状態	無線 LAN の電波状態を 4 段階 (強い／普通／弱い／なし) で表示します。	－
			SSID	接続先の無線 LAN の SSID (ネットワーク名) を表示します。	(32 文字まで表示)
			通信モード	無線LANの通信モードを表示します。	－
	MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－	
	Wi-Fi Direct	プッシュボタン接続	ボタンを押すだけで簡単に Wi-Fi Direct® ネットワーク接続ができます。	－	
		PIN コード接続	WPS (PIN 方式) で簡単に Wi-Fi Direct® ネットワーク接続ができます。	－	
		手動接続	手動で Wi-Fi Direct® ネットワーク接続ができます。	－	
		グループ オーナー	本製品をグループオーナーに設定できます。	オン／オフ	
		デバイス情報	デバイス名	デバイス名を表示します。	－
			SSID	グループオーナーの SSID (ネットワーク名) を表示します。(自分の SSID) ／ (接続相手の SSID) ／ 未接続	－
			IP アドレス	本製品の IP アドレスを表示します。	－
		接続情報	接続状態	接続状態を表示します。	－
			電波状態	電波状態を 4 段階 (強い／普通／弱い／なし) で表示します。	－
		インターフェース有効		Wi-Fi Direct® 接続の有効 / 無効を設定します。	オン／ オフ
	Web 接続設定	プロキシ設定	プロキシ経由接続	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。	オン／ オフ
			アドレス	プロキシサーバーのアドレスを設定します。	－
			ポート	プロキシサーバーのポート番号を設定します。	(8080)
			ユーザー名	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。	－
			パスワード	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。	－
		有線／無線切替え		有線LAN／無線LANを切り替えます。	有線 LAN ／ 無線 LAN
	ネットワーク設定リセット		ネットワークの設定 (有線・無線とも) をすべて初期値に戻します。	－	

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照
設定 メニュー	送信結果レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	⇒ 109 ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録されている内容を印刷します。	⇒ 132 ページ
	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 件分の結果を印刷します。	⇒ 108 ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	⇒ 132 ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作しているネットワーク接続 (有線 LAN または無線 LAN) の設定内容を印刷します。	⇒ 132 ページ
	無線 LAN レポート	無線 LAN の現在の接続状況を印刷します。	⇒ 132 ページ
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	⇒ 110 ページ

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	参照
製品 情報	シリアル No.	本製品のシリアルナンバーを表示します。	⇒基本編
	ファームウェアバージョン Mainバージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します。	⇒基本編

● 初期設定

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
初期設定	日時設定	日付	－ (2016.01.01)	⇒ 24 ページ
		時刻	－ (00:00)	
		タイムゾーン	－ (UTC + 09:00)	
	発信元登録	ファクスに印刷される発信元のファクス番号と名前を設定します。	ファクス：－ 名前：－	⇒基本編
	回線種別設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ回線／ダイヤル 10PPS／ダイヤル 20PPS ／自動設定	⇒ 38 ページ
	ファクス自動再ダイヤル	ファクス送信ができなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。	オン／オフ	⇒ 89 ページ
	ダイヤルトーン設定	ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。	検知する／検知しない	⇒基本編
	外線番号	構内交換機 (PBX) などを使用している場合に、ファクス番号の頭にダイヤルする必要のある識別番号をあらかじめ設定しておくことができます。	オン／オフ	⇒ 90 ページ
	特別回線対応	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	一般／PBX／光・ISDN	⇒基本編
	安心通信モード	安心通信モードに設定します。	高速／標準／安心 (VoIP)	⇒基本編
	工場出荷時 設定リセット	機能設定リセット	－	⇒基本編
		ネットワーク設定リセット	－	
		電話帳 & ファクスリセット	－	
		全設定リセット	－	
	表示言語設定	画面に表示される言語を設定できます。This Setting allows you to change LCD Language to English.	日本語／英語	⇒ 27 ページ

● サービス (エラーが発生したときにのみ表示されます)

機能	設定項目	機能説明	参照
サービス	ファクス転送	ファクスが印刷できない場合に、待機中のファクスデータを別のファクス機に転送することができます。	⇒基本編
	レポート転送	ファクスが印刷できない場合に、通信管理レポートを別のファクス機で印刷することができます。	⇒基本編

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
ファクス

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

インクボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、インクに関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
インク残量	インク残量を表示します。	—	⇒ 130 ページ
印刷品質のチェックと改善 - かすれ, スジ, ずれの改善	印刷テストを行います。	印刷品質のチェックと改善 - かすれ, 白スジの改善	⇒ 基本編
		罫線ずれの補正 - 罫線ずれ, 文字ぶれ改善	⇒ 基本編
		用紙送り量の補正 - 周期スジの改善	⇒ 131 ページ
ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック/カラー/全色	⇒ 131 ページ
詰まった紙片の除去 - 繰り返す紙詰まりの解決	詰まった紙片を取り除きます。	—	⇒ 基本編

Wi-Fi 設定ボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、無線 LAN の設定ができます。

設定項目	機能説明	参照
無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	⇒ かんたん 設置ガイド
PC を使って設定する	パソコンから無線 LAN を設定します。	
WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	
WPS (PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティの設定を行います。	⇒ ネット ワーク編

お気に入りボタン

待ち受け画面の【お気に入り】を押して表示される画面で、よく使う機能や設定を「お気に入り」として登録することができます。⇒ 30 ページ「お気に入りを登録する」

ファクスボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、ファクスの送受信、閲覧および関連する各種の設定ができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
ファクス送信*1	オンフック	受話器を置いたままダイヤルします。押すと電話回線につながります。			—
	再ダイヤル (ポーズ)	直前に送信した相手先をダイヤルします。電話番号を入力し始めると、再ダイヤルから、ポーズボタンに変わります。			—
	電話帳	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	 (検索)		—
			設定	電話帳登録／グループ登録／変更／消去	⇒基本編 ⇒114ページ
			送信先に設定		⇒基本編
	履歴	発信 / 着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に登録されている場合、その名前も表示)	送信先に設定		⇒76ページ
			設定	電話帳に登録／消去	⇒112ページ
	ファクス画質	送信時の画質を一時的に設定します。	標準 / ファイン / スーパーファイン / 写真		⇒74ページ
	原稿濃度	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	自動 / 濃く / 薄く		⇒74ページ
	ガラス面読取サイズ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	A4 / B4 / A3		⇒74ページ
	同報送信	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	番号追加	番号追加	⇒78ページ
				電話帳から選択	
				検索して選択	
	みてから送信	画面でファクスの内容を確認してから送信します。	する / しない		⇒80ページ
	カラー設定	相手にモノクロ / カラーのどちらで送るかを設定します。	モノクロ / カラー		⇒75ページ
	タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	タイマー送信	する / しない	⇒82ページ
			指定時刻	— (現在時刻を表示)	
	とりまとめ送信	タイマー送信で同じ相手に同じ時刻に送信する原稿がある場合、まとめて送信するように設定します。	する / しない		⇒83ページ
	リアルタイム送信	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	する / しない		⇒84ページ
	ポーリング送信	ポーリング通信でファクスを送信するときに設定します。	標準 / 機密 / しない		⇒85ページ
	ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときに設定します。	標準 / 機密 / タイマー / しない		⇒99ページ
	海外送信モード	海外にファクスを送るときに設定します。	する / しない		⇒86ページ

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

《第9章 付録》

設定項目			機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
ファクス送信 *1	設定変更	履歴	発信 / 着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に登録されている場合、その名前も表示)	送信先に設定		⇒ 76 ページ
		設定		電話帳に登録／消去	⇒112ページ	
		電話帳	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	 (検索)		—
				設定	電話帳登録／グループ登録／変更／消去	⇒基本編 ⇒114ページ
				送信先に設定		⇒基本編
		設定を保持する	変更した以下の設定を保持できます。 ファクス画質・原稿濃度・ガラス面読取サイズ・みてから送信・リアルタイム送信・カラー設定			⇒ 75 ページ
		設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。			⇒ 75 ページ
	お気に入り登録		ファクスに関する下記の設定を名前を付けて登録しておくことができます。 送信先・ファクス画質・原稿濃度・ガラス面読取サイズ・同報送信・みてから送信・カラー設定・リアルタイム送信・海外送信モード			—
	受信ファクス *1			受信したファクスの一覧を表示します。画面で閲覧ができます。		⇒ 94 ページ
				印刷／消去	全て印刷 (新着ファクス)／全て印刷 (既読ファクス)／全て消去 (新着ファクス)／全て消去 (既読ファクス)	
電話帳 *1			電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	 (検索)		—
				設定	電話帳登録／グループ登録／変更／消去	⇒基本編 ⇒114ページ
				送信先に設定		⇒基本編
履歴 *1			発信 / 着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に登録されている場合、その名前も表示)	送信先に設定		⇒ 76 ページ
				設定	電話帳に登録／消去	⇒112ページ

^{*1} みるだけ受信をするように設定しているときにのみ表示されるメニューです。みるだけ受信をしない場合は、



のあと、【ファクス送信】の次階層のメニューが直接表示されます。

コピーボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、コピーおよび関連する各種の設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字: 初期設定値)	参照
ADF 高速モード	ADF (自動原稿送り装置) から A4 サイズの原稿を横向きに読み取ります。	オン/ オフ	⇒ 44 ページ
コピー画質	印刷品質に合わせて設定します。	標準 / 高画質	⇒ 44 ページ
用紙タイプ	用紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。	普通紙 / インクジェット紙 / ブラザー BP71 光沢 / その他光沢 / OHP フィルム	⇒ 44 ページ
用紙サイズ	用紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。	A4 / A3 / B4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L 判 / L 判	⇒ 44 ページ
拡大 / 縮小	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	等倍 100% —	⇒ 45 ページ
		拡大 240% L 判 ⇒ A4 204% ハガキ ⇒ A4 141% B5 ⇒ B4、A4 ⇒ A3 123% A4 ⇒ B4 115% B4 ⇒ A3、B5 ⇒ A4 113% L 判 ⇒ ハガキ	
		縮小 86% A3 ⇒ B4、A4 ⇒ B5 81% B4 ⇒ A4、B5 ⇒ A5 69% A3 ⇒ A4、B4 ⇒ B5、A4 ⇒ A5 46% A4 ⇒ ハガキ 40% A4 ⇒ L 判	
		用紙に合わせる —	
		カスタム (25-400%) 25 - 400 (100)	
コピー濃度	濃度を調整します。	- 2 / - 1 / 0 / + 1 / + 2	⇒ 45 ページ
スタック / ソート	複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。	スタックコピー / ソートコピー	⇒ 46 ページ
レイアウト コピー	複数枚の原稿を1枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	オフ (1in1) / 2in1 (タテ長) / 2in1 (ヨコ長) / 2in1 (ID カード) / 4in1 (タテ長) / 4in1 (ヨコ長) / 2 枚に分割 / ポスター (2x1) / ポスター (2x2) / ポスター (3x3)	⇒ 47 ページ
レイアウト 選択	A3 または B4 サイズの用紙をセットし、【レイアウトコピー】で 2 in1 または【ポスター (2x2)】を選択した場合に設定します。	B4 サイズで 2in1 選択時 B4x2 ⇒ B4x1 / B5x2 ⇒ B4x1 A3 サイズで 2in1 選択時 A3x2 ⇒ A3x1 / A4x2 ⇒ A3x1 A3 サイズで ポスター (2x2) 選択時 A3x1 ⇒ A3x4 / A4x1 ⇒ A3x4	⇒ 47 ページ
傾き補正	原稿台ガラスに原稿をセットしてコピーするときに、原稿の傾きを自動的に補正します。	自動/ オフ	⇒ 50 ページ
両面コピー	両面コピーします。とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。	オフ / 印刷の向き: 縦長辺とじ / 印刷の向き: 横長辺とじ / 印刷の向き: 縦短辺とじ / 印刷の向き: 横短辺とじ	⇒ 51 ページ
		あんしん設定 オフ / あんしん 1 / あんしん 2	

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

《第9章 付録》

設定変更

設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照	
便利なコピー設定	オフ	便利なコピー設定を使用しません。	－		－	
	インク節約モード	文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。	－		⇒ 52 ページ	
	裏写り除去コピー	コピー時の裏写りを軽減します。	－		⇒ 53 ページ	
	ブックコピー	本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。	－		⇒ 53 ページ	
	透かしコピー	コピー画像に5種類のテキストの中から1つを選んで、好みの位置、角度、濃度、色で重ねることができます。	テキスト	CONFIDENTIAL / 重要 / COPY / 社外秘 / 至急		⇒ 54 ページ
			位置	A / B / C / D / E / F / G / H / I / 全面		
			サイズ	小 / 中 / 大		
			回転	-90° / -45° / 0° / 45° / 90°		
			透過度	-2 / -1 / 0 / +1 / +2		
			色	黒 / 緑 / 青 / 紫 / 赤 / オレンジ / 黄		
	地色除去コピー	カラーコピーを行う際に、原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。	弱 / 中 / 強		⇒ 54 ページ	
設定を保持する	以下のコピー機能を好みの設定で初期値として登録することができます。 ADF 高速モード・コピー画質・拡大 / 縮小・コピー濃度・レイアウトコピー・傾き補正・両面コピー・インク節約モード・裏写り除去コピー・ブックコピー・透かしコピー・地色除去コピー			⇒ 45 ページ		
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。			⇒ 45 ページ		
お気に入り登録	以下のコピーの機能を好みの設定で、名前を付けて登録しておくことができます。 ADF 高速モード・コピー画質・用紙タイプ・用紙サイズ・拡大 / 縮小・コピー濃度・スタック / ソート・レイアウトコピー・レイアウト選択・傾き補正・両面コピー・インク節約モード・裏写り除去コピー・ブックコピー・透かしコピー・地色除去コピー			⇒ 45 ページ		

スキャンボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、スキャンおよび関連する各種の設定ができます。スキャンの種類を選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、ファイルの保存条件が変更できます。スキャンファイルの設定変更については、次ページをご覧ください。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
OCR	スキャンした画像をテキストに変換してパソコンに保存します。	PC 選択	⇒パソコン活用編
ファイル	スキャンした画像をパソコンの指定したフォルダーに保存します。	PC 選択	
イメージ	スキャンした画像をパソコンに保存します。	PC 選択	
メディア	スキャンした画像をメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	—	
E メール添付	スキャンした画像を添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	PC 選択	
FTP サーバー	スキャンしたデータを指定した FTP サーバーに保存します。	プロファイル名選択	
ネットワーク	スキャンしたデータをネットワーク上のパソコンに保存します。	プロファイル名選択	
Web サービス ^{*1}	スキャンした画像を Web サービススキャンで使うことができます。	スキャン	
		電子メール用にスキャン	
		FAX 用にスキャン	
		印刷用にスキャン	

^{*1} Web サービス機能をインストールした場合に表示されます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

《第9章 付録》

スキャンの種類を選んだあと、保存するファイルの以下の設定内容を変更および確認することができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	スキャンの種類						
				OCR	ファイル	イメージ	メタデータ	メール添付	FTPサーバー	ネットワーク
設定変更	本体から設定する ^{*1}	スキャンの設定を本体から変更できます。	オフ (パソコンから設定) / オン	○	○	○		○		
	ADF 高速モード ^{*2}	ADF (自動原稿送り装置) から A4 や B5 サイズの原稿を横向きに読み取ります。	オン / オフ	○	○	○	○	○	○	○
	カラー設定 ^{*2}	カラーを設定します。	カラー / モノクロ	○						
			カラー / モノクロ		○	○	○	○	○	○
	解像度 ^{*2*3}	解像度を設定します。	100 dpi / 200 dpi / 300 dpi / 600 dpi	○	○	○		○		
			100 dpi / 200 dpi / 300 dpi / 600 dpi / 自動				○		○	○
	ファイル形式 ^{*2*4}	ファイル形式を設定します。	Text / HTML / RTF	○						
			PDF / JPEG / TIFF		○	○	○	○	○	○
	スキャンサイズ ^{*2}	スキャンする原稿のサイズを設定します。	A4 / A3 / B4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L 判 / L 判 / 名刺 (90x60mm)	○	○	○	○	○	○	○
	ADF 長尺原稿モード	ADF (自動原稿送り装置) にセットした原稿サイズでスキャンします。	オン / オフ				○		○	○
	ファイル名	ファイル名を設定します。					○		○	○
	おまかせ一括スキャン	複数の原稿を一度にスキャンします。	オン / オフ				○			
	地色除去 ^{*2}	原稿の地色 (用紙色または背景色) を消して読み取ります。	オフ / 弱 / 中 / 強		○	○	○	○	○	○
ユーザー名	ユーザー名を設定します。							○	○	
設定を保持する	以下の設定を好みの値で保持します。 ADF 高速モード・カラー設定・解像度・ファイル形式・スキャンサイズ・ADF 長尺原稿モード・おまかせ一括スキャン・地色除去					○				
設定をリセットする	設定値をお買い上げ時の状態に戻します。					○				
お気に入り登録	PC 名をお気に入りに登録できます。		○	○	○		○			
	以下の設定を好みの値でお気に入りに登録できます。 ADF 高速モード・カラー設定・解像度・ファイル形式・スキャンサイズ・ADF 長尺原稿モード・ファイル名・おまかせ一括スキャン・地色除去					○				
	プロファイル名をお気に入りに登録できます。							○	○	

^{*1} 接続されているパソコンに、付属のアプリケーションソフト ControlCenter がインストールされていない場合は表示されません。

^{*2} OCR、ファイル、イメージ、Eメール添付では、【本体から設定する】で【オン】に設定した場合にのみ選択できます。

^{*3} 選択できる設定値は、スキャンの種類によって異なります。

^{*4} 【カラー設定】で選んだカラーにより保存できるファイル形式に制限があります。灰色表示される形式は選べません。

デジカメプリントボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、画像の閲覧、プリントおよび関連する各種の設定ができます。

デジカメプリントのメニューを選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、より細かいプリント条件が【印刷設定】メニューから変更できます。【印刷設定】メニューについては、次ページをご覧ください。

設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
インデックス	インデックスシートの印刷または番号を指定して写真のプリントをします。	インデックスシート		⇒ 62 ページ
		番号指定プリント		⇒ 63 ページ
かんたん印刷	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を簡単な操作でプリントします。	(サムネイル)		⇒ 基本編
		全選択	写真のプリント枚数をすべて1枚に設定します。 設定後自動色補正を行うとすべての写真を一括で補正できます。	⇒ 61 ページ
こだわり印刷	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を個別に補正したりトリミングを行ったりしながらプリントします。	(サムネイル)	お好み色補正	自動色補正 肌色あかるさ補正 ^{*1} 色あざやか補正 ^{*1} 赤目補正 ^{*1} 夜景補正 ^{*1} 逆光補正 ^{*1} ホワイトボード補正 モノクロ セピア 自動色補正 & 赤目補正 ⇒ 64 ページ
			トリミング	— ⇒ 65 ページ
証明写真プリント	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を証明写真用のサイズで複数並べてプリントします。	(サムネイル)	写真サイズ	30x24mm / 40x30mm / 45x35mm / 50x50mm ⇒ 67 ページ
スライドショー	スライド表示の写真1枚あたりの表示時間の設定ができます。	切り替え時間		3 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 1 分 / 5 分 ⇒ 68 ページ

^{*1} 画像を補正した結果を基点に±1色調の変更ができます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

《第9章 付録》

プリント前に表示される確認画面で【印刷設定】を押すと、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	デジカメプリントの種類						
				インデックス		かんたん印刷	こだわり印刷		証明写真プリント	スライド表示中のプリント
				インデックスシート	番号指定プリント		お好み色補正	トリミング		
印刷設定	プリント画質 ^{*1}	プリント時の画質を設定します。	標準／ きれい		○	○	○	○	○	○
	用紙タイプ	用紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ その他光沢		○	○	○	○	○	○
			普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ その他光沢	○						
	用紙サイズ	用紙のサイズを設定します。	L判 ／2L判／ハガキ／A4／A3 ^{*2}		○	○	○	○	○	○
	プリントサイズ	用紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	8x10cm／9x13cm／10x15cm／13x18cm／15x20cm／ 用紙全体に印刷		○	○	○	○		○
	自動色補正 ^{*1}	自動で色や明るさを補正します。	する／ しない			○				○
	画像補正 ^{*1}	自動で色や赤目を補正します。	しない ／自動色補正／赤目補正／自動色補正 & 赤目補正						○	
	明るさ	プリントの明るさを調整します。	－2／－1／ 0 ／＋1／＋2		○	○		○		○
	コントラスト	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	－2／－1／ 0 ／＋1／＋2		○	○		○		○
	画質強調	<ホワイトバランス> 画像の白色部分の色合いを調整します。	する：－2／－1／ 0 ／＋1／＋2 しない		○	○		○		○
		<シャープネス> 画像の輪郭部分のシャープさを調整します。			○	○		○		○
		<カラー調整> 画像のカラー全体の濃度を調整します。			○	○		○		○
	画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかどうかを設定します。	する／ しない		○	○	○	○		○
	ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかどうかを設定します。	する／ しない		○	○	○	○		○
	日付印刷 ^{*1}	日付印刷をするかどうかを設定します。	する／ しない		○	○	○	○		○
	設定を保持する	変更した設定を保持します。	－		○	○	○	○		○
	設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－		○	○	○	○		○

^{*1} DPOF 印刷の場合は表示されません。

^{*2} 証明写真プリントの場合は、A3 サイズは表示されません。

クラウドボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。

詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://support.brother.co.jp/>）からダウンロードできます。）

便利な A3 コピーボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、A3 原稿や A3 用紙を使ったいろいろなコピーができます。

設定項目	機能説明	参照
A3 2in1	A4 原稿 2 枚を A3 用紙 1 枚に並べてコピーします。	⇒ 55 ページ
A3 等倍	A3 原稿 1 枚を等倍（100%）でコピーします。	
A4 ⇒ A3 拡大	A4 原稿 1 枚を A3 用紙 1 枚に拡大（141%）してコピーします。	
A3 ⇒ A4 縮小	A3 原稿 1 枚を A4 用紙 1 枚に縮小（69%）してコピーします。	
A4 + ノート（横）	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側に横罫線を配置します。	
A4 + ノート（縦）	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側に縦罫線を配置します。	
A4 + 方眼	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側に方眼罫を配置します。	
A4 + メモ	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側いっぱいを空白にします。	
A4 センター	A4 原稿 1 枚を原寸で A3 用紙の中央にコピーします。	

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

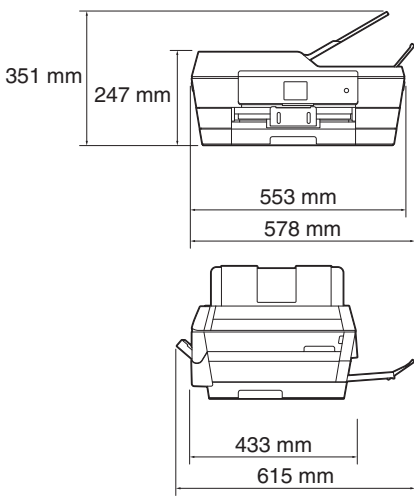
転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

仕様

基本設定

記録方式	インクジェット式
メモリー容量	128MB
LCD（液晶ディスプレイ）	2.7型 TFTカラー LCD（6.8cm/67.5mm TFT Color LCD）
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力 ^{*1}	コピー時：約28W ^{*2} 稼働準備時：約5W ^{*3} スリープモード時：約1.5W ^{*3} 電源OFF時：約0.04W ^{*3*4}
外形寸法	
製品重量	14.3kg
※インクカートリッジを含む	
稼働音（音圧レベル）	動作時：約50dB（A） ^{*5}
稼働音（音響レベル） ^{*6}	コピー時（モノクロ）： 6.26B（A） コピー時（カラー）： 6.21B（A） スタンバイ時： 3.03B（A）
温度	動作保証温度： 10～35℃ 最高印刷品質保証温度： 20～33℃
湿度	動作保証湿度： 20～80% 最高印刷品質保証湿度： 20～80%
※結露なきこと	
ADF（自動原稿送り装置）	35枚（用紙坪量：80g/m ² 、A4）
積載枚数	
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時 幅：最大297mm 長さ：最大431.8mm ADF（自動原稿送り装置）使用時 幅：148mm～297mm 長さ：148mm～431.8mm

^{*1} 全モード USB 接続時。消費電力値は使用環境、部品磨耗などにより若干異なることがあります。

^{*2} ADF 使用、片面印字、画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターン

^{*3} IEC 62301 Edition 2.0 による測定値。

^{*4} ヘッドクリーニングなどのために定期的に電源 OFF が解除されます。必要な処理終了後は再度電源 OFF 状態となります。

^{*5} お使いの機能により数値は変わります。

^{*6} 表示 A 特性音響パワーレベル LwAd が 6.30B（A）を超える画像機器の場合、事務所とは別室に設置することをお勧めします。

印刷用紙

給紙	用紙トレイ ■用紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙^{*1}、OHPフィルム^{*1 *2} ■用紙サイズ^{*3}： 《横方向》 A4、USレター、エグゼクティブ、B5（JIS） 《縦方向》 A3、レジャー、B4（JIS）、リーガル、A5、A6、インデックスカード、L判、2L判、ハガキ、往復ハガキ、DL封筒、Com-10、角形2号封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 用紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒10ページ「使用できる用紙」 ■最大用紙容量：250枚（80g/m² 普通紙） 手差しトレイ ■用紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙^{*1}、OHPフィルム^{*1 *2}、封筒 ■用紙サイズ^{*3}： 《横方向》 A4、USレター、エグゼクティブ、B5（JIS） 《縦方向》 A3、レジャー、B4（JIS）、リーガル、A5、A6、インデックスカード、L判、2L判、ハガキ、往復ハガキ、DL封筒、Com-10、角形2号封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 用紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒10ページ「使用できる用紙」 ■最大用紙容量：1枚
排紙	最大50枚（80g/m ² 普通紙）（用紙は印刷面を上にして排出されます。）

^{*1} 光沢紙や OHP フィルムを使用する場合は、出力紙の汚れを避けるために、速やかに排紙トレイから出力紙を取り除いてください。

^{*2} OHP フィルムは、インクジェット印刷に推奨のものをご使用ください。

^{*3} 用紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 10 ページ「使用できる用紙」

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

ファクス

型式	ITU-T Super Group3
通信速度	最大33,600bps（自動フォールバック機能付き）
最大有効読取幅	原稿台ガラス使用時：288mm（A3原稿読み取り時） ADF（自動原稿送り装置）使用時：288mm（A3原稿読み取り時）
最大有効記録幅	291mm
ハーフトーン	モノクロ：8ビット（256階調） カラー：24ビット（一色につき8ビット/256階調）
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査（モノクロ時） - 標準：3.85本/mm - ファイン/写真：7.7本/mm - スーパーファイン：15.4本/mm 副走査（カラー時） - 標準：7.7本/mm - ファイン：7.7本/mm 「写真」「スーパーファイン」なし
電話帳	100件×2番号
グループ登録	最大6件
同報送信	250件（200件（電話帳）/50件（ダイヤルボタン））
自動再ダイヤル	3回/5分
メモリー送信 ^{*1}	最大400枚
メモリー代行受信 ^{*1}	最大400枚

^{*1} A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本/mm）で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。また、メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

コピー

カラー/モノクロ	対応/対応
コピー読み取り幅	291mm（A3原稿読み取り時）
連続複写枚数	スタック/ソート 最大99枚
拡大縮小	25～400（%）
解像度	最大1200dpi×2400dpi
自動両面コピー	- 用紙タイプ：普通紙 - 用紙サイズ：A3、B4（JIS）、A4、B5（JIS）、A5

デジカメプリント

互換性のあるメディア ^{*1}		• メモリースティック デュオ™ (16MB－128MB) • メモリースティック PROデュオ™ (256MB－32GB) • メモリースティック マイクロ™ (M2™) (256MB－32GB) (アダプターが必要です。) • マルチメディアカード (32MB－2GB) • マルチメディアカード プラス (128MB－4GB) • マルチメディアカード モバイル (64MB－1GB) (アダプターが必要です。) • SDメモリーカード (16MB－2GB) • miniSDカード (16MB－2GB) (アダプターが必要です。) • microSDカード (16MB－2GB) (アダプターが必要です。) • SDHCメモリーカード (4GB－32GB) • miniSDHCカード (4GB－32GB) (アダプターが必要です。) • microSDHCカード (4GB－32GB) (アダプターが必要です。) • SDXCメモリーカード (48GB－128GB) • USBフラッシュメモリー ^{*2}
解像度		最大1200dpi×6000dpi
拡張ファイル	メディア ファイル フォーマット	DPOF形式 (ver.1.0、ver.1.1)、 Exif形式/DCF形式 (ver. 2.1まで)
	対応画 ファイル フォーマット	写真プリント：JPEG ^{*3} 、AVI ^{*4} 、MOV ^{*4} メディア保存：JPEG、PDF (カラー) TIFF、PDF (モノクロ)
ふちなし印刷用紙		A3、A4、ハガキ、L判、2L判 ^{*5}

^{*1} メモリーカード、アダプター、USB フラッシュメモリードライブは含まれません。

^{*2} USB2.0 規格
16MB ～ 64GB の USB マスストレージ規格
サポートフォーマット：FAT12/FAT16/FAT32/exFAT

^{*3} プログレッシブ JPEG フォーマットには対応していません。

^{*4} モーション JPEG のみです。

^{*5} 用紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 10 ページ「使用できる用紙」

 本製品は、著作権保護機能には対応していません。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

スキャナー

カラー / モノクロ	対応/対応
TWAIN 対応	あり (Windows® XP ^{*1} /Windows Vista® /Windows® 7/Windows® 8) (Mac OS X v10.8.5、10.9.x、10.10.x)
WIA 対応	あり (Windows® XP ^{*1} /Windows Vista® /Windows® 7/Windows® 8)
ICA 対応	あり (Mac OS X v10.8.5、10.9.x、10.10.x)
カラー階調	入力：48ビット 出力：24ビット
グレースケール	入力：16ビット 出力：8ビット
解像度	最大19200×19200dpi (補間) ^{*2} 最大2400×2400dpi (原稿台ガラス) 最大2400×1200dpi (ADF (自動原稿送り装置))
最大原稿読み取り幅	原稿台ガラス使用時 幅：293mm 長さ：427.8mm ADF (自動原稿送り装置) 使用時 幅：293mm 長さ：427.8mm

^{*1} Windows® XP Home Edition、Windows® XP Professional、Windows® XP Professional x64 Edition を含みます。

^{*2} WIA ドライバー (Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 対応) では、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。(「Scanner Utility」を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。)

プリンター

解像度	最大1200×6000dpi
最大印刷幅 ^{*1}	291mm [297mm (ふちなし印刷) ^{*2}]
ふちなし印刷用紙 ^{*3}	A3、レジャー、A4、USレター、A6、ポストカード、インデックスカード、ハガキ、L判、2L判
自動両面印刷	- 用紙タイプ：普通紙 - 用紙サイズ：A3、レジャー、B4 (JIS)、リーガル、A4、USレター、エグゼクティブ、B5 (JIS)、A5、ハガキ

^{*1} A3 用紙を印刷した場合。

^{*2} ふちなし印刷を設定した場合。

^{*3} 用紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 10 ページ「使用できる用紙」

インターフェイス

USB ^{*1*2}	5.0m以下のUSB2.0ケーブルをご使用ください。
LAN ^{*3}	カテゴリー 5以上の非シールドツイストペアケーブル（UTP）をご使用ください。
無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n（インフラストラクチャ通信、アドホック通信） IEEE 802.11g/n（Wi-Fi Direct [®] 接続）

^{*1} 本製品は、USB2.0 ハイスピードインターフェイスに対応しています。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続することができます。

^{*2} サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

^{*3} ネットワークの仕様について詳しくは、「ネットワーク（LAN）」（⇒ 159 ページ）をご覧ください。または「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

ネットワーク（LAN）

 ネットワークの仕様について詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PC-FAX 送信機能、PC-FAX 受信機能（Windows[®] のみ）、リモートセットアップ機能を使用することができます。また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティ BAdmin Light^{*1} も使用できます。

^{*1} 高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://support.brother.co.jp/>）から、Brother BAdmin Professional ユーティリティの最新バージョンをダウンロードして使用してください。（Windows[®] のみ）

無線セキュリティ	SSID（最大32桁まで）、WEP 64/128 bit、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES）
無線セットアップサポート ユーティリティ	AOSS [™] 対応
	WPS 対応

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

OS		インターフェイス			プロセッサ	必要なディスク容量	
		USB *2	10/100Base-TX (イーサネット)	無線 LAN IEEE802.11b/g/n		ドライバー	その他のソフトウェア (ドライバーを含む)
Windows®	Windows® XP Home *1 Windows® XP Professional *1	プリント PC-FAX *3 スキャン リムーバブルディスク (USB 接続時) *4 ネットワークメディアアクセス (LAN 接続時) *4			32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) のプロセッサ	150MB	1GB
	Windows Vista® *1					500MB	1.3GB
	Windows® 7 *1 Windows® 8 *1 Windows® 8.1*1					650MB	
	Windows Server® 2003 Windows Server® 2003 R2 Windows Server® 2008	なし	プリント	64 ビット (x64) のプロセッサ	50MB	なし	
	Windows Server® 2008 R2 Windows Server® 2012 Windows Server® 2012 R2						
	Macintosh	OS X v10.8.5 OS X v10.9.x OS X v10.10.x	プリント PC-FAX 送信 *3 スキャン リムーバブルディスク (USB 接続時) *4 ネットワークメディアアクセス (LAN 接続時) *4			Intel® プロセッサ	80MB

^{*1} WIA は、最大 1200 × 1200dpi の解像度に対応していますが、[Scanner Utility] を使用すれば、最大 19200 × 19200dpi の解像度に対応できます。

^{*2} サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

^{*3} PC-FAX はモノクロのみ対応しています。

^{*4} リムーバブルディスクおよびネットワークメディアアクセスはメモリーカードアクセスの機能です。

- 最新のドライバーは <http://support.brother.co.jp/> からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

用語解説

=あ=

● アプリケーションソフトウェア

ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● インクジェット

専用のインクをプリントヘッドのノズルから用紙に吹き付けて印刷する方式です。

● インターフェイス

パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● ウィザード

Windows®などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● オプション機能

標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

=か=

● 回線種別

電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● 画質強調

解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● 機密ポーリング

受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけがファクスを受け取れる機能です。

● 原稿台ガラス

コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

=さ=

● 親切受信

ファクスを着信したときに間違えて電話をとってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● スプリッター

ADSL環境で必要な機器の1つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

=た=

● ターミナルアダプター

ISDN回線で必要な機器の1つです。パソコンや電話機をISDN回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● タスクバー

Windows®の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● デバイス

ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● デュアルアクセス

1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● 同報送信

同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

● とりまとめ送信

メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめて送る機能です。

=な=

● ナンバー・ディスプレイ

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。(有料)

=は=

● ファクス転送

受信したファクスメッセージを、指定したファクス機に転送する機能です。

● プリンタードライバ

パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● ポーリング通信

受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● ポスターコピー

1枚の原稿を分割し、複数の用紙に拡大コピーします。

=ま=

● メモリー送信

ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● メモリー受信

受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● メモリー代行受信

用紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。用紙をセットすると印刷されます。

=ら=

● リアルタイム送信

メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● リモートセットアップ

本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス

外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン (ログイン)

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

= 数字 =

● 2 枚に分割

A3 サイズ 1 枚の原稿を原寸のまま、A4 サイズ 2 枚の用紙に分けてコピーする機能です。

● 2in1

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙にコピーする機能です。

● 4in1

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙にコピーする機能です。

= A to Z =

● ADF (自動原稿送り装置)

Automatic Document Feeder の略。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線 (アナログ回線) で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン (Cyan)、マゼンタ (Magenta)、イエロー (Yellow)、黒 (Black) によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑 (RGB) による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青 (シアン)、赤紫 (マゼンタ)、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ (,) を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● IP 電話

インターネットで使われている IP (インターネット・プロトコル) 技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● OS

Operating System (オペレーティングシステム) の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX (構内交換機)

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer (パーソナルコンピュータ) の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定できます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus (ユニバーサルシリアルバス) の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard (vcf 形式)

電子メールで個人情報やり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 で標準サポートされています。

索引

数字

0 発信	90
2in1 (ID カード) コピー	48
2in1 コピー	47
4in1 コピー	47

英字

ADF 高速モード	20
ADF 高速モード (コピー)	44
ADSL 接続	40
CPU	160
DPOF	69
E メール添付	149
ID カードコピー	48
IP ファクス	92
ISDN 接続	41
Macintosh	160
microSD カード	58
miniSD カード	58
OCR	149
OS	160
PBX	114
PC ファクス受信	105
PictBridge	70
SD メモリーカード	58
USB フラッシュメモリー	58
USB フラッシュメモリー差し込み口	58
Wi-Fi 設定ボタンの機能	144
Windows®	160

あ行

赤目補正	64
明るさ (画面)	27
明るさ (デジカメプリント)	59
暗証番号	118
色あざやか補正	64
いろいろなコピー	44
インクカートリッジの交換	129
インク残量チェック	130
インク節約モード	52
インクボタンの機能	144
印刷音の軽減	29
印刷が汚い	131
印刷範囲	12
インデックスプリント	62
薄い (コピー / 印刷)	131
裏写り除去コピー	53
お気に入り登録	30
お気に入りの呼び出し	32
お手入れ	124
音量設定	26

か行

海外送信	86
外出先からの操作	118
外出先に転送	121
回線種別の設定	38
外線発信	90
外線番号	90
拡大 / 縮小	45
画質が悪い	131
画質強調	60
かすれる (コピー / 印刷)	131
画像トリミング	60
画像の一部をプリントする	65
傾き補正	50
画面の設定	27
カラー調整	60
キーボード設定	27
機能一覧	136
逆光補正	64
クラウドボタンの機能	153
クリーニング (プリントヘッド)	131
グループダイヤル	115
原稿の読み取り範囲	20
言語選択	27
構内交換機 (PBX)	42
こだわり印刷	64, 151
コピー	
画質	44
設定変更	44
濃度	45
コピーボタンの機能	147
コントラスト	59

さ行

再ダイヤル	89
地色除去コピー	54
自動色補正	64
自動印刷する (ファクス)	96
自動再ダイヤル	89
自動縮小受信	98
シャープネス	60
写真補正	64
写真をトリミングする	65
写真をプリントする	58
写真をプリントする (PictBridge)	70
手動送信	77
仕様	154
使用環境	160
消去 (ファクスをメモリーから)	106
証明写真プリント	67
照明ダウンタイマー	27
親切受信	97
透かしコピー	54

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

《第9章 付録》

スキャンボタンの機能	149
スタックコピー	46
スピーカー音量	26
スライドショー	68
スリープモード	28
静音モード	29
清掃	124
セキュリティ機能ロック	34
設定内容リスト	132
セットできる用紙	10
セピア色でプリント	64
送信結果レポート	109
送信の中止	77, 79, 107
送信待ちファクス	107
ソートコピー	46

た行

タイマー送信	82
タイムゾーン	24
ダイヤル回線	38
ダイヤル制限機能	91
ダウタイマー (照明)	27
タッチパネル操作	8
着信音量	26
着信履歴	76
着信履歴から電話帳に登録	112
着信履歴からファクスを送る	76
着信履歴リスト	110
通信管理レポート	108
定期メンテナンス	131
データコネクト	92
テキストデータ変換	149
手差しトレイにセット	17
デジカメプリント	58
デジカメプリントボタンの機能	151
デジタルテレビ接続	41
電話がかけられない	38
電話帳	112
削除	114
パソコンから登録	116
変更	114
履歴から登録	112
電話帳リスト	132
電話呼び出し	121
同報送信	78
同報送信の中止	79
時計セット	24
とりまとめ送信	83
トリミング	65

な行

入力方法	134
ネットワーク設定リスト	132

は行

廃棄 (インクカートリッジ)	130
排紙ローラーの清掃	125

白紙 (コピー / 印刷)	131
パソコンからファクスを送る	88
パソコンで電話帳に登録	116
肌色あかるさ補正	64
発信履歴	76
発信履歴から電話帳に登録	112
発信履歴からファクスを送る	76
番号指定プリント	63
ひかり電話接続	40
ビジネスホン	42
日付印刷	60
表示言語設定	27
ファクス	
印刷	93, 103
画質	74
原稿濃度	74
受信	97
消去	95
設定変更	74
送信	74
転送	104, 105, 121
メモリーで受信する	103
ファクス誤送信防止	91
ファクス送受信テスト	21
ファクスボタンの機能	145
フォルダー保存	149
ふちなし印刷	60
ブックコピー	53
プッシュ回線	38
プラテン清掃	126
プリント画質	59
プリントサイズ	59
プリントヘッド	131
分割コピー	49
ヘッドクリーニング	131
便利な A3 コピーボタンの機能	153
便利な A3 コピー	55
便利なコピー設定	45
ポーリング受信	99
ポーリング送信	85
ポスターコピー	49
ボタン確認音量	26
ホワイトバランス	60
ホワイトボード補正	64

ま行

まとめてプリント	61
マルチメディアカード	58
みてから送信	80
みただけ受信	93, 96
無線 LAN レポート	132
メディア保存	149
メニューボタンの機能	137
メモリー	160
メモリーカード差し込み口	58
メモリー受信	103, 121
メモリー受信したファクスを印刷する	103
メモリー代行受信	96
メンテナンス	124
文字の入力方法	134

モノクロプリント 64

や行

夜景補正 64
 ユーザー切り替え 37
 用語解説 161
 用紙 10
 用紙送り量補正 131
 用紙サイズ（コピー） 44
 用紙サイズ（デジカメプリント） 59
 用紙タイプ（コピー） 44
 用紙タイプ（デジカメプリント） 59
 用紙トレイにセット 12
 用紙のセット
 手差しトレイ 17
 用紙トレイ 12
 汚れ（本製品） 124
 読み取り範囲 20

ら行

リアルタイム送信 84
 リダイヤル 89
 リモート受信 102
 リモコンアクセス 119
 リモコンコード 120
 両面コピー 51
 履歴削除 113
 レイアウトコピー 47
 レポート印刷 132

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

brother